学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア　学則変更（収容定員変更）の内容

琉球大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき５名の恒久定員増を、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した２名の臨時定員増を、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき５名の臨時定員増を、平成 27 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した５名の臨時定員増を、さらに、平成 29 年度を期限とする２名の入学定員について、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を実施した。

そして、平成 31 年度を期限とする 12 名の入学定員については、令和２年度から６年度にかけても同数、令和７年度においては 11 名の入学定員増を実施した。さらに、令和８年度は「経済財政運営と改革の基本方針 2024」に基づき 10 名の入学定員増を実施し、令和８年度限りであった医学部入学定員の臨時的な増員の枠組みについては、令和９年度末まで１年間延長されることとなった。

これを踏まえて、令和９年度の入学定員を、今回の定員増を行わなかった場合の 100 名から 110 名に変更する。

これにあわせて、収容定員についても今回の入学定員増を踏まえ、定員増を行わなかった場合の 682 名から 692 名に変更する。

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性

沖縄県は、沖縄本島 135 万人、宮古島、石垣島に各 5 万人、久米島に 7 千人、その他 10 数島に 380～4,100 人、総人口約 146 万人の島嶼地域である。その島嶼環境における沖縄県の医療にとって、医師の不足や専門医の地域偏在化は深刻な健康・生活問題となっている。

昭和 56 年の琉球大学医学部開設から令和 4 年まで、毎年琉球大学医学部出身者の約 50～60%が沖縄県の医療に係わり、地域医療に貢献する医師の育成という医学部の理念を実践している。しかしながら、本県においても、都市部を除く地域においては、医師の不足や診療科偏在が深刻な問題であり、島嶼環境に即応した医療人の育成と言う点では、未だ不十分である。この問題の解決には、離島・へき地医療者の医学・医療の知識、技術の維持のため、先進的知識・技術の修得を継続して行う生涯教育が必要であり、かつ、医療者の労働・生活環境の改善に対応した施策を行うことが重要である。

県内唯一の医育機関である本学医学部は、離島・へき地での医師の充足を目的に平成 21 年度より、沖縄県の修学資金援助をうけて、地域枠学生の受入を開始し、段階的に増員して現在各学年 17 名の学生を推薦入試で受け入れている。そして、学部教育においては、地域医療の基礎となるオールラウンドの医療知識・技術が身につけられるよう、琉球大学病院各診療科、おきなわクリニカルシミュレーションセンター、沖縄県立病院の特徴を生かしつつ連携下に地域医療実習などを通して、総合診療や専門的技術の重要性を指導している。

令和 5 年度からは地域枠学生向けの新カリキュラムとして、地域医療コースを設定し 1～3 年生で地域医療に求められる総合力、多職種との協働をテーマとしたアクティブラーニングを取り入れた授業や地域の医療機関での実習を行っている。5,6 年生のクリニカルクラークシッ

プの時期には、実際に北部や離島の医療機関で長期間滞在し、臨床実習することで、地域医療の実践を学べるようにしている。

このように、医学部の卒前・卒後教育の改革、地域枠の導入を行って、離島・へき地での医師の充実を図るためのプログラムを構築している。しかしながら、沖縄県における医師の地域偏在・診療科偏在の問題は依然として深刻であるため、本申請において定員増を行ない、地域枠定員を維持する。

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

地域医療に関する卒前教育は、医学部医学教育企画室、琉球大学病院地域・国際医療部、および沖縄県地域医療支援センターが連携して**資料１**のとおり行っている。1 年次に行う医学概論Ｂ（地域医療）、外来患者付添い実習、プライマリ・ケア演習Ⅰにはじまり、2 年次の地域医療/プライマリ・ケア、病院・福祉施設体験実習、プライマリ・ケア演習Ⅱ、3 年次の離島地域病院実習（県内離島、北部地域の県立病院・診療所での実習）、プライマリ・ケア演習Ⅲ、4 年次の沖縄県福祉保健所施設見学実習、救急車同乗実習、6 年次の離島・へき地での臨床実習まで、幅広い学年に渡って地域医療に関する講義・実習を導入している。さらに、問題解決型の講義・実習を学年縦断的に実施している。加えて、地域枠の学生に対しては、学年縦断的に実施する講義・実習への参加を促している。

定員変更後も、現在の教育方針を継続していく予定である。そして、琉球大学病院が中心となって関係医療機関、医師会、市町村、保健所等を含む行政機関、沖縄県地域医療支援センターと医学教育企画室が連携し、地域医療を含む医学教育の改革および地域枠学生の教育を行う予定である。

琉球大学医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的とした、沖縄県(地域枠)キャリア形成卒前支援プランを運用する。

エ　その他

（１）卒後研修での取り組み

地域枠医師の臨床研修、専門研修及び指定医療機関における勤務等のキャリアのあり方を示すことにより、沖縄県内における医師の偏在解消と地域枠医師のキャリア形成の両立を図る沖縄県地域枠キャリア形成プログラムを運用している。

①初期臨床研修医に対して

・琉球大学病院と地域における第一線の病院及び保健所・診療所等との連携を綿密に図り、相互に個々の病院の個性や特徴を生かしつつ、「医師として必要な基本的臨床能力（プライマリ・ケア）を身につけ、全人的で科学的根拠に基づいた医療を実践していく」ことを目的とした人材育成を行っている

・オリエンテーションにおいて BLS 講習会を行う

・2 年間を通じて救急現場/外来/病棟等で主要な症候、病態、 疾患に対する初期対応がで

きるようになるための知識、技能、態度を身に付けるための共通カリキュラムを行っている。

・2 年次は離島・へき地を含めた地域医療研修を実施する。

②専攻医・専門医に対して

・沖縄県地域枠キャリア形成プログラムにそって、専門医取得を支援する。

・専門医取得後は、指定医療機関や連携施設でのサブスペシャリティ研修を支援する。

③医師の派遣・紹介の取組み

・地域枠医師キャリア形成支援プログラムに沿って、琉球大学病院に設置されている沖縄県地域医療支援センターを中心として、琉球大学医学部・診療科及び県内の各拠点病院と連携し、離島・へき地における医師の充足状況、並びに地域枠医師の希望及び指定医療機関の意向を勘案して派遣を支援する。

④臨床研修指導医養成セミナー

県内の臨床研修病院や連携施設の医師を対象とした、臨床研修指導医養成セミナーを毎年開催し、県内で活躍する指導医を輩出している。

⑤女性医師定着策

ア）職場環境の改善・整備

・大学内に、院内保育所を設置している。

・男性医師の理解を深め、男女協働参画の意識を高める FD を随時実施している。

・職場再復帰のための生涯教育・研修を、琉球大学病院キャリア形成支援センターや沖縄県地域医療支援センターが支援する。

イ）「琉球大学医学部女性医療人の会」の設立および女性医師支援事業の開始。

・沖縄県医師会の「沖縄県女性医師の会」と連携した「琉球大学医学部女性医療人の会」を設立した。女性医師支援の啓発シンポジウムを開催し、復帰医師支援研修プログラムを開始している。

（2）入学者選抜段階における取組の推進

沖縄県の特色である島嶼環境に即応した医療人の育成を図る。これまで琉球大学医学部開設以来、多くの医師を輩出してきたが、沖縄県の離島・へき地医療従事医師の希望者は少なく、引き続き離島・へき地医療への充実を図る予定である。

① 地域を指定した入学者選抜（地域枠および離島・北部枠）

地域枠

募集人員 ：１４名程度（沖縄県に居住し、離島北部地域を除く沖縄県内の高等学校を卒業した者）

募集年度 ： 平成２７年度～

離島・北部枠

募集人員 ：３名程度（沖縄県に居住し、沖縄県の離島・北部地域の高等学校を卒業した者）

募集年度 ： 平成２７年度～

②入学者選抜方方法

推薦入試により、「地域枠」（１４名程度）、「離島・北部枠」（３名程度）の２つのカ

テゴリーに区分し、選抜する。

③地域枠および離島・北部枠学生のアドミッションポリシー

●沖縄県の地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人

●地域の要請が高い診療科を選択し、診療科偏在の是正に貢献できる人

●生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人

●自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかり意識できる人

●学習意欲の維持並びに自己学習ができる人

●主体性を持って多様な人々と協働して学ぶことができる人

地域枠学生においては、琉球大学医学部地域枠学生の地域枠および離島・北部枠のアドミッションポリシーを意識・自覚した学生を選抜し、卒前教育において、医学教育企画室ならびに沖縄県地域医療支援センターが中心となり、卒後における自己の地域医療貢献のライフスタイル像を身につけさせ、卒後も、沖縄県地域医療支援センターが中心となり、常に自己啓発・生涯学習しながら医療実践する医師を育成する。

〔参考：医学部医学科令和８年度入学定員〕

事　項	一般選抜		推薦入学Ⅱ	計	第２年次編入学
	(前期日程)	(後期日程)			
医学部医学科	７０人	２３人	１７人	１１０人	５人

④地元高等学校に対する取組

・高校生を対象としたオープンキャンパスを実施し、琉球大学医学部のアドミッションポリシー、医学部カリキュラム、教育・研究・診療環境、地域医療教育を説明し、在校生による医学部生活紹介、受験心得等の説明を行い、また卒業生からは、卒業後の初期臨床、進路、専門医になるための紹介等を行い、進路相談に応じている。

・高校生や保護者、高校・予備校の関係者を対象とした地域枠制度説明会を毎年開催し、地域枠制度の特色、入試概要、卒業後の進路等に関する説明や地域枠学生による学生生活の紹介を行っている。

・県内高等学校長等との懇談会を年１回開催し、意見交換を行い、優秀な学生の入試受験を呼びかけている。

・県内高校の希望を受け、入試説明会を行っている。

資料１

琉球大学医学部医学科における地域医療に関する学部教育カリキュラムの概要（着色は地域枠学生を中心としたプログラム）

学年	形態	科目名	期間	場所	教育内容
1年次	講義	医学概論Ｂ（地域医療）	1回	琉球大学医学部教育棟	学生の地域医療に対するイメージを事前アンケートで調査し、それに基づいて様々な地域医療への関わりについてインタラクティブな講義を行い、地域医療に対する関心を刺激する。
	実習	外来患者付添い実習	1日	琉球大学病院	患者としての目線で医療や福祉の現場を見せることにより、将来の学習の動機づけを行う。
	実習	プライマリ・ケア演習Ⅰ（地域医療コース）	8日	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	地域枠学生を対象に地域医療で経験する頻度の高い症候について、低学年次から演習形式で学び、身につけるべき考え方を身につける。グループワークや実際の問診や診察を取り入れて能動的学びの場とする。
1～6	講義 実習	離島・北部医療体験（地域枠学生中心）	3日～5日	沖縄県立･公立の離島・北部地域の病院・診療所	事前学習会にて地域医療に必要な技能・態度に関する講義を行い、現地で実際に体験するとともに、振り返り・レポートにてさらに学びを深める。
2年次	講義	地域医療／プライマリ・ケア	9回	琉球大学医学部教育棟	地域医療・プライマリ・ケアに関する講義を行い、その位置づけとプライマリ・ケア医の役割を認識する。地域医療に対する関心を維持する。
	実習	病院・福祉施設　体験学習	2日	実習協力病院・協力施設	幅広い医療・福祉の現場（療養型施設及び国立ハンセン病療養所）を見学し、社会と健康・疾病との関係や地域医療について理解する。
	実習	プライマリ・ケア演習Ⅱ（地域医療コース）	8日	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	令和6年度から開始。地域枠学生を対象に地域医療に関する演習を行う。PBL形式による症例を通じた能動的学びの機会を設け、主要症候へのアプローチ、多職種連携、マインドフルネスといった幅広い話題を取り上げるポストコロナ事業で連携している佐賀大学教員にも授業担当していただく。
3年次	実習	離島地域病院実習	5日	沖縄県立･公立の離島・北部地域の病院	離島・北部地域の病院で実習を行い、疾病と生活環境の関わりを理解し、地域住民の心理・社会的背景を知る。
	講義 演習 実習	プライマリ・ケア演習3（地域医療コース）	3カ月	琉球大学医学部教育棟, おきなわクリニカルシミュレーションセンター, 実習協力病院・協力施設	令和7年度から開始。地域医療コース学生を対象に、PBL形式を通して症例の基礎医学・臨床医学の知識の統合をはかり、さらに地域医療機関などでの実習を通して多職種連携や患者の声に耳を傾けることで学びを得る
4年次	実習	沖縄県福祉保健所施設見学実習	1日	沖縄県福祉保健所	福祉保健所施設等を見学実習し、疫学と予防医学を含め、環境との関わりを学ぶ。
	実習及びワークショップ	佐賀大学との合同ワークショップ	2日	佐賀大学	佐賀大学の地域医療の現場での実習を行い、両校の地域枠学生同士によるワークショップを実施する
	実習	救急車同乗実習	1日	那覇市内消防署　他県内10消防本部	救急車に同乗し、救急活動の実際を体験的に知る。
5～6年次	実習	佐賀大学との臨床実習交換留学（選択クリニカルクラークシップ）	2週間	佐賀大学・琉球大学病院、沖縄県立中部病院	両校の学生がお互いの地域医療の現場で学ぶ臨床実習の場を設ける。 参加型臨床実習において佐賀大学 - 琉球大学間で2名ずつの交換留学を行い、現地地域医療を経験する。
6年次	実習	離島・へき地でのクリニカル・クラークシップ（選択）	2～4週間	離島・へき地の県立病院、診療所	離島・へき地診療所において診療参加型の実習を行い、離島・へき地における地域医療への理解を深め、地域医療に対するモチベーションを高める。

令和９年度
医学部入学定員増員計画

琉大戦略第４号
令和８年８月１９日

文部科学省高等教育局長　殿

国立大学法人琉球大学
学長　喜納　育江

「地域の医師確保等の観点からの令和９年度医学部入学定員の増加について（令和８年８月７日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

責任者連絡先	職名・氏名	西普天間キャンパス事務部学務課長　眞喜志　睦
	TEL	098-894-5507
	E-mail	098-894-5531

大学名	国公私立
琉球大学	国立

1．現在（令和８年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	5	0	694

（収容定員計算用）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
（ア）入学定員	112	112	112	112	111	110	669
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	117	117	117	117	116	110	694

2．本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和９年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	5	0	625

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	100	100	100	100	100	100	600
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	105	105	105	105	105	100	625
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

3．令和９年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	5	0	635

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	110	100	100	100	100	100	610
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	115	105	105	105	105	100	635
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数	**10**

（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	**10**
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	
計	**10**

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	10

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	沖縄県	10
大学所在地以外の都道府県		
計		10

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R7地域枠定員（※1）	R7貸与者数（※2）	R8地域枠定員（※1）	R8貸与者数（※2）	R7とR8の貸与者数のうち多い方の数
沖縄県	11	17	10	17	17
					0
					0
					0
					0
					0
計	11	17	10	17	17

（※1）臨時定員分のみご記入ください。

（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和９年度地域の医師確保のための入学定員増について

１．大学が講ずる措置

１－１．地域枠学生の選抜

①**令和７年度に実施した**地域枠学生（令和８年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	一般枠との併願	備考
学校推薦型選抜Ⅱ	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	17	10	高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。 ○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目） ・国　（国） ・地歴：（地総，地探）（歴総，日探）（歴総，世探）（地総／歴総／公共） ・公民：（「公，倫）（公，政・経）から１ ・数　（数Ⅰ・数Ａ）（数Ⅱ・数Ｂ・数Ｃ） ・理　（物理，化学，生物から２） ・外　（英（リスニングを含む）） ・情　（情報Ⅰ） ○個別学力検査等 ・小論文	次の（１）～（６）に該当する者 （１）　沖縄県の高等学校等（＊）在学中に沖縄県に居住し，令和５年４月１日以降に沖縄県の高等学校等を卒業した者及び令和７年３月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けた者 （２）　沖縄県内離島地域（石垣市，宮古島市，久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村，今帰仁村，本部町，名護市，宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者 （３）　沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり，かつ沖縄県が貸与する地域医療従事医師確保修学資金の受給を確約できる者 （４）　人物，学力ともに優れ，健康で，高等学校等における全体の学習成績の状況が４．３以上の者 （５）合格した場合は，入学することを確約できる者 （６）　入学後は、沖縄県（地域枠）キャリア形成卒前プランの適用を受け、医師免許取得後は、沖縄県地域枠キャリア形成プログラムに従うことを確約できる者	有	①内科、②小児科、③外科、④産婦人科、⑤救急科、⑥総合診療【以上①－⑥を推奨診療科としている】、⑦皮膚科、⑧精神科、⑨整形外科、⑩眼科、⑪耳鼻咽喉科、⑫泌尿器科、⑬脳神経外科、⑭放射線科、⑮麻酔科、⑯病理科	H21以前	併願可（選択制）	
合計			17	10							

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②**令和８年度に実施する**地域枠学生（令和９年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	一般枠との併願	備考
学校推薦型選抜Ⅱ	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	17	10	高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。 ○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目） ・国　（国） ・地歴：（地総，地探）（歴総，日探）（歴総，世探）（地総／歴総／公共） ・公民：（「公，倫）（公，政・経）から１ ・数　（数Ⅰ・数Ａ）（数Ⅱ・数Ｂ・数Ｃ） ・理　（物理，化学，生物から２） ・外　（英（リスニングを含む）） ・情　（情報Ⅰ） ○個別学力検査等 ・小論文	次の（１）～（６）に該当する者 （１）　沖縄県の高等学校等（＊）在学中に沖縄県に居住し，令和５年４月１日以降に沖縄県の高等学校等を卒業した者及び令和７年３月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けた者 （２）　沖縄県内離島地域（石垣市，宮古島市，久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村，今帰仁村，本部町，名護市，宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者 （３）　沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり，かつ沖縄県が貸与する地域医療従事医師確保修学資金の受給を確約できる者 （４）　人物，学力ともに優れ，健康で，高等学校等における全体の学習成績の状況が４．３以上の者 （５）合格した場合は，入学することを確約できる者 （６）　入学後は，沖縄県（地域枠）キャリア形成卒前プランの適用を受け，医師免許取得後は，沖縄県地域枠キャリア形成プログラムに従うことを確約できる者	有	①内科、②小児科、③外科、④産婦人科、⑤救急科、⑥総合診療【以上①－⑥を推奨診療科としている】、⑦皮膚科、⑧精神科、⑨整形外科、⑩眼科、⑪耳鼻咽喉科、⑫泌尿器科、⑬脳神経外科、⑭放射線科、⑮麻酔科、⑯病理科	H21以前	併願可（選択制）	
合計			17	10							

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

１－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和９年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

令和5年度から医学科内に一般コースと地域医療コースを設置した。地域枠の入学者は地域医療コースに振り分けられ、地域医療で必要とされるプライマリ・ケアについて一、二、三年次にプライマリ・ケア演習Ⅰ～Ⅲとして学修する機会を設けた。また、地域医療コース学生に必修とするコース科目の導入や、参加型臨床実習での地域医療コース学生向けの離島病院枠の設置を行った。その他、一般コースと共通する科目として１年次に行う医学概論Ｂ（地域医療）、外来患者付添い実習にはじまり、２年次の療養型施設及び国立ハンセン病療養所訪問見学実習、３年次の離島地域病院実習（県内離島、北部地域の県立病院・診療所での実習）、６年次の離島・へき地での参加型臨床実習まで、全学年に渡って、地域医療に関する講義、実習を導入している。	（参考：記入例） 1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和９年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成21年度から地域枠による増員を開始し、全学年に渡って地域医療に関する講義・実習を導入するとともに、地域枠の学生に対しては他県の離島・へき地を訪問する機会を設けてきた。令和7年度までに248名の地域枠学生を確保し、そのうち142名が現在医師国家試験に合格して地域医療に貢献している。	（参考：記入例） 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和８年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1	医学概論Ｂ	全員	必修	必修	講義	1	H21以前
1	外来患者付添い実習	全員	必修	必修	実習	1	H23
1	プライマリ・ケア演習Ⅰ	地域枠学生	必修	選択なし	実習	2	R5
2	地域医療/プライマリ・ケア	全員	必修	必修	講義	9時間	H21以前
2	体験学習(療養型施設及び国立ハンセン病療養所訪問見学実習)	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
2	プライマリ・ケア演習Ⅱ	地域枠学生	必修	選択なし	実習	1	R6
3	離島地域病院実習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
3	プライマリ・ケア演習Ⅲ	地域枠学生	必修	選択なし	実習	12	R7
4	衛生学・公衆衛生学	全員	必修	必修	講義	58時間	H21以前
4	救急車同乗実習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
5，6	臨床実習（離島・へき地でのクリニカル・クラークシップ）	全員	必修	選択	実習	2～12週間	H21以前

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度
1	地域医療実習	地域枠学生	なし	4日	地域医療に取り組む県外病院を見学し、他県の取り組みを学習する。	H22
2～5	地域医療を学ぶためのPBLチュートリアル	全員	なし	8回程度	小グループ内での討論を通して、地域医療に関する課題を自ら見出し、自己主導型学習を身につける。	H22
1～6	離島医療体験事業	全員	あり	3日間	離島・へき地の医療を支える診療所及び中核病院にて実習を行うことにより地域医療に対する認識を深めさせる。	R1
5～6	離島医療体験事業（強化型）	全員	あり	5日間	臨床実習生が離島・へき地の診療所及び中核病院にて参加型診療実習を行うことにより将来地域医療に従事する医師としての役割と責任を自覚させる。	R1

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和８年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

２．都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額　（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
沖縄県		新入生	100,000	10,380,000	大学を卒業し、医師法（昭和23年法律第201号）第16条の２第１項で規定する病院のうちから規則で定める病院において同項に規定する臨床研修（以下「初期臨床研修」という。）を修了し、引き続き医師の専門性に関する研修（以下「専門研修」という。）を規則で定める期間修了した後、直ちに指定医療機関の医師として勤務した場合において、その引き続く勤務期間が当該資金の貸与を受けた期間に相当する期間の範囲内で規則で定める期間に達したとき	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	×	○	地域の医療ニーズ等を考慮し、内科、小児科、外科、産婦人科、救急科及び総合診療を推奨診療科とするとともに、臨床検査、形成外科及びリハビリテーション科については、専門研修の診療科として選択できないこととしている。	学費：年間530,000
沖縄県		新入生	50,000	6,780,000	同上	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	×	○	同上	学費：年間530,000

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
新入生オリエンテーション	地域枠学生として医学部6 年間の生活・学習における思考や行動についての動機づけを行なう。	H27
地域枠学生　副知事表敬	毎年8月に副知事を表敬し、地域医療に対する思いを表明し、激励を受けることで、地域枠学生としての自覚と地域医療に携わる使命感を再認識してもらう。	H27
キャリア形成プログラム改正の紹介	地域枠キャリア形成プログラムが変更になった場合に、地域枠学生へ説明を行い、キャリア支援につなげる。	H27
マッチング説明会	M5学生に対して、臨床研修マッチングの説明を行い、研修先決定のサポートを行う。	R1
地域枠制度説明会	キャリア形成プログラムの趣旨や改正点を説明し、制度への理解を深める。	R1
学生による地域医療に関する能動的学修支援	年度当初に地域医療に関する学修課題・目標及び計画を学生が自ら設定し、必要に応じて教員によるフィードバック等を通じ1年間で学びを深め、年度末に成果レポートを提出する。	R5
与那国町診療所の赴任医師の調整	沖縄県、与那国町、指定管理者と地域医療支援センターで、与那国町診療所への医師赴任の調整（視察、環境整備等）を行った	R8
地域枠関連担当者定例ミーティング	沖縄県医療政策課、病院事業局、地域医療支援センターの関係者が一堂に会して、地域枠制度、キャリア形成プログラム、医師派遣調整の課題の共有、解決に向けた協議を行うミーティングを行っている	R8

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

３．在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
定期面談・随時面談	地域枠学生に対し、センター専任医師が定期的に面談を行い、学修およびキャリア形成のサポートを行っている。問題を抱える学生に対しては、随時面談を行い相談に乗っている。	H27
意向調査	地域枠学生に対し、年1回、将来どの診療科に進みたいか、どの病院で研修を行いたいかを調査し、それをもとにキャリアサポートを行う。	H27
新入生歓迎会・意見交換会・交流会	地域学学生の新入生へのオリエンテーション後に、先輩学生および診療科医師と交流の場を設け、上下の連携につなげている。 学生・医師との交流会を設け、研修医との連携にもつながている	H28
アンケート調査	地域枠学生の要望、不安に関するアンケート調査を行い、フィードバックする。	R7
全学年対象マッチング説明会	地域枠学生の臨床研修病院マッチングのための説明会を地域枠学生に対して開催	R8

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

４．その他

<u>１～３に記入したもの以外で、</u>その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

令和8(2026)年度

学　生　募　集　要　項

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

人文社会学部	国際法政学科
	人間社会学科
	琉球アジア文化学科
教育学部	学校教育教員養成課程　小学校教育コース
	学校教育専攻
	学校教育教員養成課程　特別支援教育コース
理学部	物質地球科学科
	海洋自然科学科
医学部	医学科
	保健学科
工学部	工学科

令和　７　年　９　月

琉球大学

願書提出期限　令和７年１１月６日（木）１７：００必着

実施方法等に変更が生じた際には，本学ホームページにて速やかにお知らせします。

問い合わせ先一覧

事　　項	問い合わせ先	電 話 番 号
大学入学共通テストに関すること	大学入試センター事業第一課	03－3465－8600
インターネット出願サイトに関すること	志願受付操作サポート窓口	0120－752－257
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	098－895－8141 098－895－8142
	人文社会学部学務係	098－895－9056
	教育学部学務係	098－895－9030
	理学部学務係	098－895－8595
	【医学部】西普天間キャンパス 事務部学務課入試・学事係	098－894－5513
	工学部学務係	098－895－8583
入学料，授業料の納入に関すること	財務部経理課収入・支出係	098－895－8058
入学料，授業料の免除に関すること	学生部学生支援課学生援護係	098－895－8135
奨学金に関すること	学生部学生支援課学生援護係 （奨学金担当）	098－895－8136
障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮等に関すること	障がい学生支援室	098－895－8750
学生寮（千原寮）に関すること	学寮事務室	098－895－8101 098－895－8133

※お問い合わせは，原則として志願者本人が行ってください。
※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く）　９：００～１７：００

※各名称について，以下のとおり略記することがあります。

大学入学共通テスト：「共通テスト」

学校推薦型選抜Ⅱ：「推薦Ⅱ」

目次

○令和８年度琉球大学医学部医学科入学定員について …… 1

１．琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） …… 2

２．試験日程等 …… 3

３．募集人員及び推薦人員 …… 4

４．出願要件・選抜方法等 …… 6

５．実施教科・科目等及び配点 …… １８

６．試験日時及び試験場 …… ２５

７．出願手続 …… ２７

８．受験票 …… ３１

９．入学検定料の支払い ……３２

１０．災害等による入学検定料の特例措置 ……３３

１１．障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等） ……３４

１２．受験に関する注意事項 ……３５

１３．入学手続 ……３８

１４．個人情報の利用等 ……３９

１５．入試情報開示に関する事項 ……４０

○参考情報 ……４５
ノートパソコン等の必携化について ……４５
学生寮（千原寮）への入寮申し込みについて ……４５
琉球大学生活協同組合（消費生活協同組合法に基づく団体）によるお知らせ ……４５

○出願書類等一覧
出願書類等の記入上の注意

令和8年度琉球大学医学部医学科入学定員について

国立大学法人　琉球大学

医学部医学科の入学定員について，「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成３０年６月１５日閣議決定）等に基づく暫定的な医学部入学定員の増加措置が令和６年度で終了したため，現時点では，一般選抜（前期日程・後期日程）９５名，学校推薦型選抜Ⅱ５名の計１００名となっております。
しかし，文部科学省及び厚生労働省から，令和８年度入学者についても，暫定的に臨時定員を維持する方針が示されたため，入学定員の増員を申請します。

本申請が文部科学省で認可された場合（９月以降予定），本学ホームページ等で公表します。

申請が認可されない場合

学部・学科	募集人員
医学部 医学科 １００名	学校推薦型選抜Ⅱ ・６名
	前期日程 ７０名
	後期日程 ２４名

申請が認可された場合

学部・学科	募集人員
医学部 医学科 １１１名	学校推薦型選抜Ⅱ ・地域枠１４名程度 ・離島北部枠３名程度
	前期日程 ７０名
	後期日程 ２４名

※臨時定員増が削減あるいは廃止となった場合、学校推薦型選抜Ⅱの募集定員を調整する場合があります。

1. 琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

［ 平成２９年２月９日
制　　定 ］

琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は，「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下，「普遍的価値を身につけた２１世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の４つを目指し人材を育成します。

①豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
②優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
③外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
④地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

①高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
②異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
③自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な選抜方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部･学科等の入学者受入れの方針（アドミッション･ポリシー）

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については，各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）（https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/policy/faculty_admission-policy/）をご覧ください。

入学者受入れの方針
＜二次元コード＞

2. 試験日程等

インターネット 出願登録期間	令和７年１０月２３日（木）～１１月６日（木）１７：００
入学願書受付期間 （出願書類提出期間）	令和７年１１月１日（土）～　１１月６日（木）１７：００必着
試　験　日	令和７年１２月３日（水）
共通テスト	令和８年１月１７日（土）～１月１８日（日）
合 格 発 表	令和８年２月１０日（火）　１５：００頃
入 学 手 続	令和８年２月１２日（木）～２月１８日（水）

【合格者の発表】

合格者の発表は，本人宛てに合格通知書と「入学手続案内」を郵送するとともに，高等学校等の長あてにも選考結果を通知します。

また，本学ホームページ（https://www.u-ryukyu.ac.jp/adomissions/successfulapplicants/）にも掲載します。なお，電話による合否の問合せには一切応じません。

【入学手続案内】（「１３．入学手続」参照）

入学手続書類は，合格通知書に同封して郵送します。

3. 募集人員及び推薦人員

<table>
<tr><th>学部名</th><th colspan="4">学　科　等</th><th>募集人員</th><th>推薦人員</th></tr>
<tr><td rowspan="8">人文社会学部</td><td colspan="2" rowspan="2">国際法政学科</td><td colspan="2">法学プログラム</td><td>１０名</td><td>１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">政治・国際関係学プログラム</td><td>１０名</td><td>１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">人間社会学科</td><td colspan="2">哲学プログラム</td><td>５名</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">心理学プログラム</td><td>８名</td><td>１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む）につき５名以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会学プログラム</td><td>８名</td><td>１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内</td></tr>
<tr><td colspan="3">琉球アジア文化学科</td><td>９名</td><td>１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>５０名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">教育学部</td><td rowspan="3">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="2">小学校教育コース</td><td colspan="2" rowspan="2">学校教育専攻</td><td rowspan="2">１０名
①沖縄県内地域指定推薦２名
②一般推薦８名</td><td>①１高等学校等(定時制の課程を含む)の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td>②１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">※①沖縄県内地域指定推薦と②一般推薦の両方に同一人物を推薦することはできません。</td></tr>
<tr><td>特別支援教育コース</td><td>特別支援教育専攻</td><td>特別支援教育専修</td><td>２名</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>１２名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">理学部</td><td colspan="2" rowspan="2">物質地球科学科</td><td>物理系</td><td>５名</td><td rowspan="4">１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td>地球環境系</td><td>３名</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">海洋自然科学科</td><td>化学系</td><td>１４名
うち専門高校卒業生枠３名程度</td></tr>
<tr><td>生物系</td><td>１名
水産に関する学科のみ</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>２３名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">医学部</td><td colspan="3">医学科</td><td>６名（注）</td><td>１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内</td></tr>
<tr><td colspan="3">保健学科</td><td>９名
うち専門高校・総合学科卒業生枠１名</td><td>１高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内</td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td>１５名</td><td></td></tr>
</table>

学部名	学科等		募集人員	推薦人員
工学部	工学科	機械工学コース	11名 一般枠　5名 専門高校卒業生枠　2名 女子枠　4名	1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。
		エネルギー機械工学コース	7名 一般枠　3名 専門高校卒業生枠　2名 女子枠　2名	
		電気システム工学コース	9名 うち専門高校卒業生枠1名	
		電子情報通信コース	7名 うち専門高校卒業生枠1名	
		社会基盤デザインコース	10名 一般枠　4名 専門高校卒業生枠　2名 女子枠　4名	
		建築学コース	10名 うち専門高校卒業生枠1名	
		知能情報コース	14名 うち専門高校卒業生枠3名	
	計		68名	
合計			168名	

注：医学部医学科の募集人員については，1ページを参照してください。

4. 出願要件・選抜方法等

<table>
<tr><td>実施学部・学科等</td><td>人文社会学部　国際法政学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">募集人員</td><td>法学プログラム　　１０名</td></tr>
<tr><td>政治・国際関係学プログラム　　１０名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
なお，学習成績概評がＡに属する者
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。
ただし，政治・国際関係学プログラムでは，共通テストの合計点が５０％に満たない場合は不合格とします。

○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目）
<table><tr><td>教科</td><td>科目名等</td></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td rowspan="2">『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１
『公，倫』，『公，政・経』から１
から２※</td></tr><tr><td>公民</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数Ａ』，『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』から１
※地歴，公民，数学から２科目選択する。</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』『独』『仏』『中』『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>
○個別学力検査等
・小論文
・面接
・調査書</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td>人文社会学部　人間社会学科</td></tr>
<tr><td rowspan="3">募集人員</td><td>哲学プログラム　５名</td></tr>
<tr><td>心理学プログラム　８名</td></tr>
<tr><td>社会学プログラム　８名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
なお，学習成績概評がＡに属する者
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。
ただし，共通テストの合計点が５０％に満たない場合は不合格とします。

○共通テスト利用教科・科目（６教科７科目又は７教科７科目）
<table><tr><td>教科</td><td>科目名等</td></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td>『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から２　①※</td></tr><tr><td>公民</td><td>『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１
『公，倫』，『公，政・経』から１　②※
※地歴・公民は，①②のいずれかを選択する。</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数Ａ』，『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』から１</td></tr><tr><td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』『独』『仏』『中』『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

○個別学力検査等
・小論文
・面接
・調査書</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・学科等</td><td>人文社会学部　琉球アジア文化学科</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>９　名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
なお，学習成績概評がＡに属する者
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

○共通テスト利用教科・科目（７教科７科目）
<table><tr><td>教科</td><td>科目名等</td></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td>『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１</td></tr><tr><td>公民</td><td>『公，倫』，『公，政・経』から１</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数Ａ』，『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』から１</td></tr><tr><td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』『独』『仏』『中』『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

○個別学力検査等
・小論文
・面接
・調査書</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td colspan="2">教育学部　学校教育教員養成課程
小学校教育コース　学校教育専攻</td></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>沖縄県内地域指定推薦　２　名</td><td>一般推薦　８　名</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td colspan="2">いずれの推薦枠も，高等学校等の長が次の件について人物および能力等に責任を持って推薦できる者とする。
（１）学習成績が優秀で，小学校教員として活躍する強い意欲およびそれにふさわしい資質を持つ者
（２）児童の育成に熱意をもってあたり，地域の教育の担い手として活躍できる者として認めることができる者

次の（１）～（５）又は（６）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）沖縄県北部地域（大宜味村，今帰仁村，本部町，名護市，宜野座村）ならびに沖縄県内離島地域（宮古島市，石垣市，久米島町）に所在する高等学校卒業見込みの者
（３）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で,全体の学習成績の状況が４．３以上のもの
（４）将来沖縄本島北部地域ならびに離島地域における小学校教育活動に貢献する強い意志がある者
（５）合格した場合には，入学することを確約できる者
（６）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において，個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td><td>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で，全体の学習成績の状況が４．３以上のもの
（３）将来小学校教育活動に貢献する強い意志がある者
（４）合格した場合には，入学することを確約できる者
（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において，個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td colspan="2">高等学校等の長の推薦に基づき，個別学力検査等の成績を総合して選考します。
ただし，共通テストの合計点が５０％に満たない場合は不合格とします。

○共通テスト利用教科・科目（６教科６科目）
<table><tr><th>教科</th><th>科目</th></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴
公民</td><td>『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』
『地総／歴総／公共』（注１）
『公，倫』，『公，政・経』
から１</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』『数Ⅱ，数B，数C』から１</td></tr><tr><td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』『物理』『化学』『生物』『地学』から１（注２）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』『独』『仏』『中』『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。
（注２）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。
○個別学力検査等
・小論文
・面接</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td>教育学部　学校教育教員養成課程
特別支援教育コース　特別支援教育専攻　特別支援教育専修</td></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>２　名</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の学習成績の状況が４．０以上のもの
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約で約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

〇共通テスト利用教科・科目（７教科８科目）
<table><tr><td>教科</td><td>科目名等</td></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td>『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１</td></tr><tr><td>公民</td><td>『公，倫』，『公，政・経』から１</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

〇個別学力検査等
・面接</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td>理学部
物質地球科学科　物理系</td></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>５　名</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td>次の（１）～（５）又は（６）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の学習成績の状況が３．５以上のもの
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）特に，物理の分野に強い関心と勉学意欲がある者
（５）物理及び数学Ⅲを履修又は履修中の者
（６）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目）
<table><tr><th>教科</th><th>科目等</th></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td>『地総，地探』『歴総，日探』『歴総，世探』
『地総／歴総／公共』（注１）　から1</td></tr><tr><td>公民</td><td>『公，倫』『公，政・経』</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数Ａ』『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物理』<必須>
『物基／化基／生基／地基』，『化学』，『生物』，
『地学』から１（注２）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注１）　地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。
（注２）　理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。また，『物理』が必須のため，「物理基礎」の選択は認めません。

○個別学力検査等
・面接</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td>理学部
物質地球科学科　地球環境系</td></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>３　名</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td>次の（１）～（５）又は（６）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の学習成績の状況が４．０以上のもの
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）特に，地学の分野に強い関心と勉学意欲がある者
（５）物理，化学，生物，または地学（理数科においては，理数物理，理数化学，理数生物，理数地学）の中から２科目以上履修した者，若しくは現在履修している者
（６）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目）
<table><tr><td>教科</td><td>科目等</td></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td>『地総，地探』『歴総，日探』『歴総，世探』
『地総／歴総／公共』（注１）</td></tr><tr><td>公民</td><td>『公，倫』『公，政・経』</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，
『生物』，『地学』から２（注２）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（地歴・公民から1）
（注１）　地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。
（注２）　理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。また，同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」）

○個別学力検査等
・面接</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td>理学部
海洋自然科学科　化学系</td></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>１４　名（うち専門高校卒業生枠３名程度）</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
専門高校卒業生枠にあっては工業高等学校および農業高等学校を令和８年３月に卒業見込みの者
（２）特に化学の分野に強い関心と勉学意欲がある者
（３）高等学校等での全体の学習成績の状況が３．５以上で，かつ出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
（４）合格した場合は，入学することを確約できる者
（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

○共通テスト利用教科・科目（４教科６科目）
<table><tr><td>教科</td><td>科目等</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>『化学』<必須>
『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『生物』，
『地学』から１（注）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注）　理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。また，『化学』が必須のため，「化学基礎」の選択は認めません。

○個別学力検査等
・面接
・調査書</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td>理学部
海洋自然科学科　生物系</td></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>１　名（水産に関する学科のみ）</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者
（１）高等学校等（＊）の水産に関する学科を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校（水産に関する学科）を卒業又は卒業見込みの者
なお，水産高等学校専攻科在学中又は令和８年３月卒業見込みの者も対象とする
（２）特に生物学に強い関心と学習意欲を持ち，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
なお，学習成績概評がＡに属する者のうち，人物，学力ともに特に優秀なもの
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目）
<table><tr><th>教科</th><th>科目等</th></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td>『地総，地探』『歴総，日探』『歴総，世探』</td></tr><tr><td>公民</td><td>『公，倫』『公，政・経』</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数Ａ』『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から２</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>から1

○個別学力検査等
・面接
・調査書
・志願理由書</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td colspan="2">医学部　医学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">募 集 人 員</td><td>【申請が認可されない場合】</td><td>６名</td></tr>
<tr><td>【申請が認められた場合】</td><td>地域枠　１４名程度（※出願要件（２）除く）
離島・北部枠　３名程度</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td colspan="2">次の（１）～（６）に該当する者
（１）沖縄県の高等学校等（＊）在学中に沖縄県に居住し，令和６年４月１日以降に沖縄県の高等学校等を卒業した者及び令和８年３月に卒業見込みの者で出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
（２）沖縄県内離島地域（石垣市，宮古島市，久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村，今帰仁村，本部町，名護市，宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者
（３）沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり，かつ沖縄県が貸与する地域医療従事医師確保修学資金の受給を確約できる者
（４）人物，学力ともに優れ，高等学校等における全体の学習成績の状況が４．３以上の者
（５）合格した場合は，入学することを確約できる者
（６）入学後は，沖縄県(地域枠)キャリア形成卒前プランの適用を受け，医師免許取得後は，沖縄県地域枠キャリア形成プログラムに従うことを確約できる者

※地域医療従事医師確保修学資金の概要
本選抜での入学者全員に対し，沖縄県が学費，生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。入学者は，卒業までの６年間修学資金を受給する必要があります。大学卒業後は，沖縄県地域枠キャリア形成プログラムのもとで原則として琉球大学病院にて臨床研修医として勤務し，その後は沖縄県知事が指定する医療機関に医師として一定期間勤務していただきます。専攻する診療科によって異なりますが，臨床研修を合せて９～１４年間勤務していただきます（うち離島・北部の医療機関に４年間）。この場合，修学資金貸与額の全額の返還が免除されます。

（参考）
沖縄県地域枠キャリア形成プログラム
（http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2024/04/69b6a963be84ead2a8fb3e9f0d9e91b1.pdf）
沖縄県(地域枠)キャリア形成卒前プラン
（http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2024/01/b3599274a739942fb2f4e1ec3adfc0e2.pdf）
沖縄県医師修学資金貸与規則
（http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2024/01/a445a791c3dd55298073c9b86c694cf6.pdf）</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td colspan="2">高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。
〇共通テスト利用教科・科目（６教科８科目）
<table><tr><th>教科</th><th>新教育課程による出題科目</th></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td rowspan="2">『地総，地探』『歴総，日探』『歴総，世探』『地総／歴総／公共』（注）
『公，倫』『公，政・経』から１</td></tr><tr><td>公民</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物理』『化学』『生物』から２</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注）地歴・公民の科目『地総/歴総/公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。
〇個別学力検査等
・小論文　・面接</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。
（注）「経済財政運営と改革の基本方針２０１８」及び「令和８年度の医学部臨時的定員の暫定的な維持について（通知）」による増員申請が認められた場合，申請の結果について，本学ホームページ等で公表します。（１ページ参照）

<table>
<tr><td>実施学部・
学科等</td><td>医学部　保健学科</td></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>９　名（うち専門高校・総合学科卒業生枠１名）</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
なお，全体の学習成績の状況が４．３以上の者
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）専門高校・総合学科卒業生枠にあっては，高等学校の総合学科を令和７年３月卒業見込みの者で福祉及び看護関係科目を２０単位以上履修した者又は履修見込みの者又は看護関係学科を令和８年３月卒業見込みの者
（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

〇共通テスト利用教科・科目（６教科８科目）
<table><tr><th>教科</th><th>科目等</th></tr><tr><td>国</td><td>「国」</td></tr><tr><td>地歴</td><td>「地総，地探」「歴総，日探」「歴総，世探」
「地総／歴総／公共」（注）　から１</td></tr><tr><td>公民</td><td>「公，倫」「公，政・経」</td></tr><tr><td>数</td><td>「数Ⅰ，数A」「数Ⅱ，数B，数C」</td></tr><tr><td>理</td><td>「物理」「化学」「生物」から２</td></tr><tr><td>外</td><td>「英」</td></tr><tr><td>情</td><td>「情報Ⅰ」</td></tr></table>（注）地歴・公民の科目『地総/歴総/公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

〇個別学力検査等
・面接
・調査書</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><th>実施学部・
学科等</th><th>工学部　工学科</th></tr>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>機械工学コース　１１名（うち一般枠　５名，専門高校卒業生枠　２名，女子枠　４名）
エネルギー機械工学コース　７名（うち一般枠　３名，専門高校卒業生枠　２名，女子枠　２名）
電気システム工学コース　９名（うち一般枠　８名，専門高校卒業生枠　１名）
電子情報通信コース　７名（うち一般枠　６名，専門高校卒業生枠　１名）
社会基盤デザインコース　１０名（うち一般枠　４名，専門高校卒業生枠　２名，女子枠　４名）
建築学コース　１０名（うち一般枠　９名，専門高校卒業生枠　１名）
知能情報コース　１４名（うち一般枠　１１名，専門高校卒業生枠　３名）
計６８名
※女子枠を設けているコースを志願する女子志願者は，一般枠と女子枠から１つを選択し，出願してください。併願はできません。
※専門高校生及び卒業生は，専門高校卒業生枠を選択し，出願することができます。併願はできません。</td></tr>
<tr><td>出 願 要 件</td><td>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者
（１）高等学校等（＊）を令和８年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和７年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の学習成績の状況が３．５以上のもの
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者
（４）専門高校卒業生枠にあっては，工業高等学校，水産高等学校及び商工農高等学校等を令和８年３月卒業見込みの者又は卒業後１年以内のもの
（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和８年３月３１日までに１８歳に達するもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。
出願を希望する者は，第１志望コースのみ出願することができます。自分の適性や将来に向けて学びたい専門性を考慮し記入してください。

○共通テスト利用教科・科目（４教科６科目）
<table><tr><th>教科</th><th>新教育課程による出題科目</th></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>社会基盤デザインコース：
『物理』，『化学』から１＜必須＞
『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』のうち，＜必須＞で選択した科目を除いた中から１（注）

その他のコース：
『物理』＜必須＞
『物基／化基／生基／地基』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』『独』『仏』『中』『韓』から１</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注）理科の『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）から２つを選択解答し，１科目とします。また，同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」）

○個別学力検査等
・面接　・調査書　・志願理由書

求める学生像や評価基準等については下記ＵＲＬよりご確認ください。
（https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/policy/faculty_admission-policy/）</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

5. 実施教科・科目等及び配点

1．共通テストの利用教科・科目について

（1）地理歴史・公民及び理科の試験時間において２科目を受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とします。

（2）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

（3）本学が指定している教科，科目以外を「第１解答科目」としている場合は，その科目を利用できなくなり，受験資格がなくなります。

（4）理科の「基礎を付した科目」とは『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指し，いずれか２つを選択解答して１科目とします。
また，「基礎を付していない科目」とは『物理』，『化学』，『生物』，『地学』を指します。
同一名称を付した科目，すなわち物理基礎と物理，化学基礎と化学，生物基礎と生物，地学基礎と地学を選択することは認めません。

（5）『英語』は，リーディングとリスニングが一体型となります。

2．共通テストの利用教科・科目の得点の採用について

<table>
<tr><th>本学が指定する共通テストの利用教科・科目数</th><th>本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い</th></tr>
<tr><td>地理歴史・公民から１科目を選択する。</td><td>地理歴史・公民から２科目を受験した場合は，受験した科目のうち「第１解答科目」の得点を採用します。</td></tr>
<tr><td>数学から１科目を選択する。</td><td>数学から２科目を受験した場合は，受験した科目のうち，高得点の１科目を採用します。</td></tr>
<tr><td>理科の「基礎を付していない科目」から１科目を選択する。</td><td rowspan="2">理科の「基礎を付していない科目」から２科目を受験した場合は，受験した科目のうち「第１解答科目」の得点を採用します。</td></tr>
<tr><td>理科の「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」から１科目を選択する。</td></tr>
<tr><td>地理歴史・公民及び数学から２科目を選択する。
＊人文社会学部 国際法政学科</td><td>地理歴史・公民及び数学から３科目以上受験した場合は，地理歴史・公民の「第１ 解答科目」の得点を採用後，地理歴史・公民の「第２解答科目」の得点もしくは数学の得点のうち，高得点の１ 科目の得点を採用します。</td></tr>
</table>

3．外国語「英語」の配点比率について

（1）共通テストにおける外国語（英語）の【リーディング】と【リスニング】の配点比率については，原則として全学部「１：１」とし，その得点合計を各学部等の定める外国語の配点に換算して利用します。

（2）【リスニング】を受験しなかった場合の取扱いについては，【リスニング】は０点扱いとし，【リーディング】の得点のみを利用します。

（3）受験上の配慮によって【リスニング】受験を免除された者については【リーディング】の得点を利用して換算します。

【前年度の大学入学共通テストの成績利用について】
本学では，令和８年度入学者選抜において，前年度の共通テストの成績は利用しません。

令和８年度入学者選抜における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱ

人文社会学部

学科等名	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
	教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
国際法政学科	国	『国』	200	その他	小論文	350	
	地歴	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１	から２		面接	250	
	公民	『公，倫』，『公，政・経』から１	200		調査書	50	
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』から１					
		※地歴，公民，数学から2科目選択する。					
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	200				
	情	『情報Ⅰ』	100				
		共通テストの合計点（700点満点）に1/2を乗じ， 共通テストの合計点（350点満点）とする。					
	配点合計		**350**	配点合計		**650**	**1,000**
人間社会学科	国	『国』	200	その他	小論文	200	
	地歴	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から２　①※			面接	300	
		『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１　②※	200		調査書	200	
	公民	『公，倫』，『公，政・経』から１					
		※地歴・公民は，①②のいずれかを選択する。					
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』から１	100				
	理	『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注）	100				
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	200				
	情	『情報Ⅰ』	100				
		共通テストの合計点（900点満点）に1/3を乗じ， 共通テストの合計点（300点満点）とする。					
	配点合計		**300**	配点合計		**700**	**1,000**
琉球アジア文化学科	国	『国』	100	その他	小論文	300	
	地歴	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１	50		面接	300	
	公民	『公，倫』，『公，政・経』から１	50		調査書	100	
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』から１	50				
	理	『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注）	50				
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	100				
	情	『情報Ⅰ』	50				
	配点合計		**450**	配点合計		**700**	**1,150**

（注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

令和８年度入学者選抜における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱ

教育学部

学科等名	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
	教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻	国	『国』	100	その他	小論文	100	**共通テストは資格審査（合計点が50%に満たない場合は不合格）として用いるので、配点には影響しません。**
	地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公，倫』，『公，政・経』 から１	100		面接	100	
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』から１	100				
	理	『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注２）	100				
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	100				
	情	『情報Ⅰ』	50				
	配点合計		(550)	配点合計		200	200

（注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

（注２）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

令和８年度入学者選抜における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱ

教育学部

学科等名	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
	教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
	国	『国』	200	その他	面接	400	
学校教育教員	地歴	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』から１	50				
養成課程	公民	『公，倫』，『公，政・経』から１	50				
特別支援教育	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200				
コース	理	『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注２）	100				
特別支援教育	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	200				
専攻	情	『情報Ⅰ』	100				
特別支援教育	配点合計		**900**	配点合計		**400**	**1,300**
専修							

（注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

（注２）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

令和８年度入学者選抜における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱ

理学部

学科等名	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
	教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
物質地球科学科 物理系	国	『国』	200	その他	面接	400	
	地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公，倫』，『公，政・経』	100 から１				
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200				
	理	『物理』<必須>	200				
		『物基／化基／生基／地基』，『化学』，『生物』，『地学』から１（注２）					
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	200				
	情	『情報Ⅰ』	50				
	配点合計		**950**	配点合計		**400**	**1,350**
物質地球科学科 地球環境系	国	『国』	200	その他	面接	200	
	地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公，倫』，『公，政・経』	100 から１				
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	400				
	理	『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から２（注２）	400				
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	200				
	情	『情報Ⅰ』	100				
	配点合計		**1,400**	配点合計		**200**	**1,600**
海洋自然科学科 化学系	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	300	その他	面接	400	
	理	『化学』<必須>	300		調査書	50	
		『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『生物』，『地学』から１（注２）					
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	300				
	情	『情報Ⅰ』	50				
	配点合計		**950**	配点合計		**450**	**1,400**
海洋自然科学科 生物系	国	『国』	200	その他	面接	200	
	地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『公，倫』，『公，政・経』	100 から１		調査書 志願理由書	100 100	
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200				
	理	『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から２	200				
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	200				
	情	『情報Ⅰ』	50				
		共通テストの合計点（950点満点）に400/950を乗じ，共通テストの合計点（400点満点）とする。					
	配点合計		**400**	配点合計		**400**	**800**

（注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

（注２）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。また，同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」）

令和８年度入学者選抜における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱ

医学部

学科等名	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
	教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
医学科	国	『国』	200	その他	小論文	200	
	地歴	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』			面接	300	
		『地総／歴総／公共』（注１）	100				
	公民	『公，倫』，『公，政・経』					
		（地歴・公民から１）					
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200				
	理	『物理』，『化学』，『生物』から２	200				
	外	『英』	300				
	情	『情報Ⅰ』	100				
	配点合計		**1,100**	配点合計		**500**	**1,600**
保健学科	国	『国』	150	その他	面接	250	
	地歴	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』			調査書	300	
		『地総／歴総／公共』（注１）	50				
	公民	『公，倫』，『公，政・経』					
		（地歴・公民から１）					
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	100				
	理	『物理』，『化学』，『生物』から２	100				
	外	『英』	150				
	情	『情報Ⅰ』	50				
	配点合計		**600**	配点合計		**550**	**1,150**

（注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

令和８年度入学者選抜における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱ

工学部

学科等名	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
	教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200	その他	面接	200	
					調査書	150	
工学科	理	社会基盤デザインコース：			志願理由書	50	
		『物理』，『化学』から1<必須>	100				
		『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』のうち，<必須>で選択した科目を除いた中から1（注）	100				
		その他のコース：					
		『物理』<必須>	100				
		『物基／化基／生基／地基』，『化学』，『生物』，『地学』から1（注）	100				
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	200				
	情	『情報Ⅰ』	50				
	配点合計		**650**	配点合計		**400**	**1,050**

（注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合，出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。また，同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」）

6. 試験日時及び試験場

（１）試験日　令和７年１２月３日（水）

※試験開始時刻の３０分前までに，面接は集合時刻までに各試験場へ到着してください。
※試験開始時刻（面接は，集合時刻）から３０分を超えて遅刻した者は，受験することができません。
※受験者全員が集合次第，面接を開始する場合があります。また，受験者数により，面接の集合時刻と開始時刻を変更することがあります。その場合は，別途各受験者へお知らせします。

<table>
<tr><th rowspan="2">学部名</th><th colspan="4" rowspan="2">学　　科　　等</th><th rowspan="2">試験場</th><th>小論文等</th><th colspan="2">面　接</th></tr>
<tr><th>試験時刻</th><th>集合時刻</th><th>開始時刻</th></tr>
<tr><td rowspan="6">人文社会学部</td><td colspan="3">国際法政学科</td><td rowspan="6">千原キャンパス
人文社会学部試験場</td><td rowspan="6">１０：００～
１２：００</td><td>１３：００</td><td>１３：１０</td></tr>
<tr><td rowspan="3">人間社会学科</td><td>哲学プログラム</td><td>１３：００</td><td>１３：１０</td></tr>
<tr><td>心理学プログラム</td><td>１３：００</td><td>１３：１０</td></tr>
<tr><td>社会学プログラム</td><td>１３：００</td><td>１３：１０</td></tr>
<tr><td colspan="3">琉球アジア文化学科</td><td>１３：００</td><td>１３：１０</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学部</td><td rowspan="2">学校教育教員養成課程</td><td>小学校教育コース</td><td colspan="2">学校教育専攻</td><td rowspan="2">千原キャンパス
教育学部試験場</td><td>１０：００～
１２：００</td><td>１３：００</td><td>１３：３０</td></tr>
<tr><td>特別支援教育コース</td><td>特別支援教育専攻</td><td>特別支援教育専修</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td rowspan="4">理学部</td><td colspan="2" rowspan="2">物質地球科学科</td><td>物理系</td><td rowspan="4">千原キャンパス
理学部試験場</td><td rowspan="4"></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>地球環境系</td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">海洋自然科学科</td><td>化学系</td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>生物系</td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td rowspan="2">医学部</td><td colspan="3">医学科</td><td rowspan="2">西普天間キャンパス
医学部試験場</td><td>１０：００～
１２：００</td><td>１２：４０</td><td>１３：００</td></tr>
<tr><td colspan="3">保健学科</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td rowspan="7">工学部</td><td colspan="2" rowspan="7">工学科</td><td>機械工学コース</td><td rowspan="7">千原キャンパス
工学部試験場</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>エネルギー機械工学コース</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>電気システム工学コース</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>電子情報通信コース</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>社会基盤デザインコース</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>建築学コース</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
<tr><td>知能情報コース</td><td></td><td>９：３０</td><td>１０：００</td></tr>
</table>

（２）集合場所

学部	場所
人文社会学部	文系講義棟（各試験室）
教 育 学 部	教育学部本館棟玄関前
理　　学　　部	理学部本館の玄関前
医　　学　　部	西普天間キャンパス教育棟
工　　学　　部	工学部当該コースの試験場前（工学部１～４号館）

【試験場配置図】https://www.u-ryukyu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/R8haichizu-suisen2.pdf
試験配置図は必ず事前に確認し，集合時刻までに集合場所に集まってください。
試験当日は十分な時間的余裕をもって試験場に向かってください。
試験開始時刻の３０分前までに上記集合場所へ集合してください。面接（実技を含む）は集合時刻までに集合してください。

（３）試験場下見　令和７年１２月２日（火）１５：００～１８：００頃
各試験場の建物入口に受験者に対する連絡，注意事項及び試験室配置図を掲示しますので，
試験室等の確認を行ってください。試験室内への立入はできません。

7. 出願手続

（１）出願手順

①出願登録のためのＥメールアドレスの準備

Ｅメールアドレスは，スマートフォン・携帯電話やフリーメールも利用可能ですが，本学からのメール（no-reply@52school.com）を確実に受信できるよう設定を確認してください。登録されたＥメールアドレス宛に，出願情報登録完了等の確認メールを送信します。

②インターネット出願サイトへの登録

琉球大学ホームページ「入試情報」より，インターネット出願サイトにアクセスし，出願情報の登録を行います。

自宅にパソコンやスマートフォン等インターネット環境がない場合は，自宅以外（学校等）のパソコン等（インターネット環境）を利用していただいても構いません。

③入学検定料の支払い

詳細は「入学検定料の支払い」「災害等による入学検定料の特例措置」を参照してください。

④出願書類等の提出

インターネット出願

インターネット出願サイトで登録後，入学検定料を支払い，出願書類等を本学へ郵送・受理することで出願完了となりますので，ご注意ください。

出願書類を郵送する際は，郵便の事情等による郵便物の遅配が予想されますので，十分な時間的余裕をもって発送してください（消印有効ではありません）。



インターネット出願サイト URL https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/
登録期間以外は，登録できません。
操作に関するお問い合わせ ：志願受付操作サポート窓口
0120－752－257（受付時間：9:00～20:00）（土日祝日利用可能）

（２）受付期間

インターネット 出願登録期間	令和７年１０月２３日（木）９：００～１１月６日（木）１７：００まで ※インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。 入学願書受付期間内に出願書類等を提出（郵送）することが必要です。
入学願書受付期間 （出願書類提出期間）	令和７年１１月１日（土）～１１月６日（木） 最終日１７：００必着（消印有効ではありません。）
入学検定料支払期間	令和７年１０月２３日（木）９：００～１１月６日（木）１７：００まで

（３）大学入学共通テスト申込番号の登録及び成績請求登録について(Web 方式)

令和８年度より共通テストの出願手続きが電子化することに伴い，共通テストを課す選抜については共通テストの「申込番号」等を本学インターネット出願サイトに入力し，情報を連携させる必要があります。

ただし，学校推薦型選抜Ⅱについては，共通テスト成績請求情報の連携期間前に本学の出願が始まるため，本学の出願時点では情報の連携が行えません。そのため，出願時に共通テスト申込番号の登録を行ったのち，連携可能期間内に再度ログインし共通テスト成績請求登録手続を行ってください。

<table>
<tr><td>出願時
【全員】</td><td>インターネット出願サイトでの出願時に，「大学入学共通テスト申込番号」の入力欄に，自身の共通テスト申込番号を入力してください。
※入力がない場合は先へ進めません。
【手続の流れ】
①共通テスト出願サイトから「申込番号」を確認
大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容確認」から共通テストの「申込番号」を確認。
※本学のインターネット出願サイトとは異なります。
⇒
②本学インターネット出願サイトでの入力
本学のインターネット出願サイト上で共通テストの「申込番号」等の情報を入力。</td></tr>
<tr><td>出願後
【全員】</td><td>以下の連携期間内に本学のインターネット出願サイトにログインし，「申し込み一覧」の画面から大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続きを行ってください。

【登録期間】
令和７年１２月１０日（水）１０：００～令和８年1月１６日（金）１７：００
※登録期間以外は，登録できません。
【手続の流れ】
①本学インターネット出願サイトにログイン
申し込み一覧画面で「共通テスト成績請求登録」ボタンをクリック。
⇒
②本学インターネット出願サイトでの成績請求登録
成績請求チケット登録画面で，出願時に登録した内容に齟齬が無いかを確認し，登録ボタンをクリック。
⇒
連携完了
本学のインターネット出願サイトと共通テスト出願サイトとの間で連携が行われます。</td></tr>
</table>

※本学はWeb方式を使用しているため，インターネット出願サイトで正しい申込番号を入力・登録することで作業が完了します。成績請求チケットの印刷・本学への送付は必要ありません。
※本学のインターネット出願サイトと大学入学共通テスト出願サイトは異なるシステムのため，それぞれのサイトの ID・パスワード等を必ず保管してください。

【共通テスト申込番号登録　イメージ図】

※イメージ図のため，画面の記載・レイアウト等は変更になることがあります。

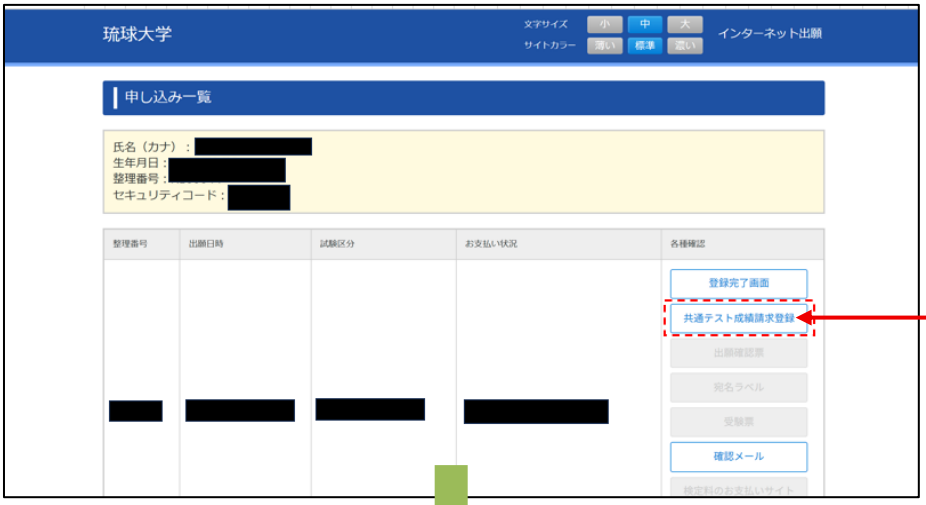
①出願時　申込番号入力画面



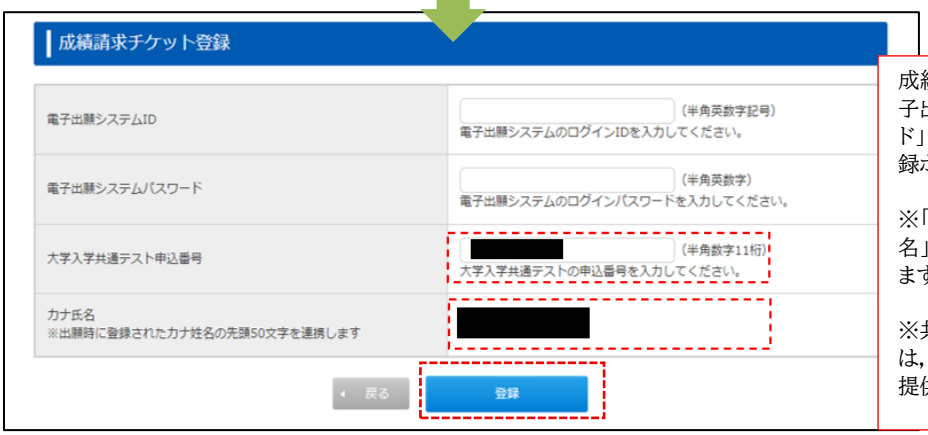
自身の共通テスト申込番号を入力してください。
入力がない場合は先へ進めません。

---

②出願後　成績請求登録



申し込み一覧画面で「共通テスト成績請求登録」ボタンを押してください。



成績請求チケット登録画面で，共通テストの「電子出願システム ID」「電子出願システムパスワード」「大学入学共通テスト申込番号」を入力し，登録ボタンを押してください。

※「大学入学共通テスト申込番号」及び「カナ氏名」欄は出願時に入力した情報が反映されていますので，内容に齟齬が無いかご確認ください。

※共通テストの電子出願システム ID・パスワードは，連携のための認証のみに使用され，本学には提供されません。



正しく連携出来た場合，共通テスト成績請求登録完了画面に遷移し，「大学入学共通テスト成績請求番号」が表示されます。

（４）出願書類等

高等学校等から取り寄せる書類

出願書類等	事　　項
１．調査書 【全員】 （※１）（※２）	高等学校等の長が作成し，厳封したものを提出してください。 なお，被災等の事情により調査書を提出できない者は卒業証明書又は卒業見込み証明書及び成績証明書を提出してください。 ※調査書又はそれに代わる証明書等を提出できない者は，入試課までご相談ください。

本学様式指定の書類

本学ホームページ（https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/suisen2/）からダウンロードし印刷してください。

出願書類等	事　　項
２．推薦書（※２） （Ａ４サイズ） 【全員】	高等学校等の長が作成し，厳封したものを提出してください。
３．志願理由書 （Ａ４サイズ） 【全員】	志願者本人の直筆で，黒のボールペン（消せるボールペンは不可）により作成してください。Wordで作成する場合は，体裁・様式の変更は行わないでください。

（※１）文部科学省所定の様式に従い高等学校等の長が作成した調査書により，入学志願者の高等学校在学中の学習成績，特別活動等について審査します。

（※２）新型コロナウイルス等の感染症対策の一環として，高等学校で臨時休業等が実施され，各種のスポーツ・文化関係の行事，大会及び資格・検定試験等が中止，延期又は規模縮小等されている場合は，努力のプロセス等を記載しても構いません。

インターネット出願サイトから印刷する書類

出願書類等	事　　項
４．出願確認票 （Ａ４サイズ） 【全員】	インターネット出願登録後，同サイト内の申し込み確認ページより印刷してください。 ※印字されている内容に誤りがないか，確認してください。修正する場合は，該当部分を二重線で消し，赤のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。ただし，志願内容に関する変更はできません。
５．宛名ラベル （Ａ４サイズ） 【全員】	インターネット出願登録後，同サイト内の申し込み確認ページより印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※印字されている内容に誤りがないか，確認してください。修正する場合は，該当部分を二重線で消し，赤のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。また，提出書類等について確認の上，チェックしてください。

※印刷方法について

カラー選択：モノクロ，カラーどちらでもかまいません。

印 刷 用 紙：普通紙でかまいません。

ホッチキスは使用しないこと。出願書類が２ページ以上ある場合は，両面印刷で印刷してください。

（５）提出方法・提出先

前項（３）の出願書類等は，インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼った市販の角形２号封筒（２４０mm×３３２mmでＡ４サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）に入れ，「書留郵便」で郵送してください。１１月１日（土）よりも早く本学に到着しても問題ありません。ただし，書類の確認は１１月１日（土）から行います。入学願書受付期間終了後に到着した場合には受理できませんので，ご注意ください。

※入学願書の受付は，原則として郵送に限ります。

【提出先】 琉球大学学生部入試課	〒９０３－０２１３ 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地 全保連ステーション （大学会館）１階　（電話：098－895－8141）

（６）出願に関する注意事項

国公立大学の学校推薦型選抜は，共通テストを課すもの及び課さないものを含めて，１つの大学・学部しか出願できません。よって，本学の学校推薦型選抜Ⅰ，Ⅱを併願することはできません。

また，本学の学校推薦型選抜と他の国公立大学の学校推薦型選抜を併願することもできませんのでご注意ください。

（７）学校推薦型選抜志願者が国公立大学・学部の一般選抜を志願する場合の取扱い

学校推薦型選抜志願者も，不合格となった場合に備えて，本学又は他の国公立大学・学部の一般選抜の「前期日程」から１つ，「後期日程」から１つ，並びに公立大学中期日程から１つの合計３つの大学・学部に出願することができます。ただし，出願に際しては，志望する大学・学部・学科等が指定する令和８年度共通テストの教科・科目を受験していること及び入学検定料を新たに納入することが必要です。

（８）提出書類の注意事項

・出願書類の志願者の氏名は，通称・略字等は使用せず，正確かつ丁寧に記入してください。
また，インターネット出願登録の際に氏名の漢字が正しく表記されない場合や，文字数制限のため氏名の入力ができない場合は氏名の一部を入力のうえ，印刷した出願確認票の該当部分を二重線で消し，赤のボールペン（消せるボールペンは不可）で正しい氏名を記入してください。
・工学部志願者は，推薦書，志願理由書の該当する番号（出願枠）に○印を付してください
・専門高校・総合学科卒業生枠による志願者は，推薦書，志願理由書の所定の欄に○印を付してください。ただし，理学部海洋自然科学科生物系については，出願要件が専門高校卒業生枠のみのため，○印を付さないでください。
・出願書類に記入もれ，その他不備のある場合は受理しません。
・出願書類の受付後は，出願書類の返却及び記載事項の変更は認めません。
・出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は，入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
・出願書類提出後，「出願確認票」で届け出た志願者住所，不在時の連絡先が変更になった場合は，直ちに本学学生部入試課（電話098－895－8141）に連絡してください。

8. 受験票

令和７年１１月１４日（金）以降，インターネット出願サイトからダウンロードが可能となります。
受験票は印刷し，試験当日に必ず持参してください。

9. 入学検定料の支払い

（１）入学検定料　１７，０００円

①入学検定料の他に，別途必要なインターネット出願サイトサービス利用料（９００円）及び入学検定料支払いに係る手数料は志願者負担となります。

※試験成績開示を希望する場合は，入学検定料に開示手数料（６５０円）を併せて徴収します。

②災害等により被災された方については，入学検定料免除の特例措置を行っております。条件や手続きの詳細については，「１０．災害等による入学検定料の特例措置」を参照してください。

（２）入学検定料支払期間

令和７年１０月２３日（木）９：００　～　１１月６日（木）１７：００まで

（３）支払い方法（インターネット出願サイトで選択できます。）

コンビニエンスストア，Pay-easyでの支払い（銀行ATM，ゆうちょ銀行ATM，ネットバンキング），クレジットカード（VISA，Master Card，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

①銀行窓口での支払いはできません。

②コンビニエンスストアに設置されているＡＴＭでの支払いはできません。

③コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

（４）入学検定料の返還について

支払済の入学検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

ア．入学検定料を支払ったものの，出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま入学願書受付期間が終了，又は書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

イ．誤って入学検定料を二重に支払った場合

ウ．災害等により被災した特例措置対象者が入学検定料を支払った場合

※いずれの場合でも，インターネット出願サイトサービス利用料（９００円）及び入学検定料支払いに係る手数料は返還しません。

※成績開示請求の希望登録をしていた場合は，その手数料６５０円も返還します。

◆上記「ア」から「ウ」に該当する場合（返還手続き）

返還手続きは WEB 上での登録となります。以下の二次元コード，URL から申請を行ってください。

検定料払戻請求受付 URL：https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc

検定料払戻請求受付
＜二次元コード＞

申請期限：令和８年３月３１日（火）

※返還には請求情報登録後，１ヶ月程度かかります。

お問い合わせ先

琉球大学財務部経理課 収入・支出係	〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地 電話：０９８－８９５－８０５８ メール：krsyusi@acs.u-ryukyu.ac.jp

10. 災害等による入学検定料の特例措置

本学では，令和８年度の全ての入学者選抜に関して，文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減し受験機会を確保するため，特例措置を実施し，次に該当する入学志願者の入学検定料を免除します。※申請する場合は「入学検定料」を払い込まないでください。

（１）措置内容

入学検定料の免除　１７，０００円

（２）免除の対象者及び必要書類

対　象　者	必要書類（写し）
①災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア　主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ　主たる家計支持者が死亡，又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
②居住地が福島第一原子力発電所事故により，帰還困難区域，居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

・東日本大震災関連情報：文部科学省ＨＰ（https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/）

・熊本県熊本地方を震源とする地震について：
文部科学省　ＨＰ（https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm）

・その他の災害：文部科学省ＨＰ（https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm）

（３）申請の方法

インターネット出願システムでの出願登録前に，申請方法や事前に必要となる内容等についてご確認ください。

①学生部入試課へ連絡の上，該当の可否及び必要書類等について確認してください。
②本学ホームページ（https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/suisen2/）より所定の様式「検定料免除申請書」をダウンロードしてください。
③「検定料免除申請書」をＡ４サイズで印刷の上，必要事項の記入，被災状況を選択をしてください。
④学生部入試課へ必要資料をＦＡＸ又はＥメールで送付してください。
⑤必要書類を添えて，出願書類とともに「検定料免除申請書」の原本を提出してください。

（４）入学検定料を誤って納入した場合

本特例措置に該当するにも関わらず，誤って納入した入学検定料の返還を希望する場合は，WEB 上での登録に加え，罹災証明書等（写し）を学生部入試課へ提出してください。申請内容確認後，入学検定料を返還します（払戻の理由は「災害等による特例措置」を選択してください）。

検定料払戻請求受付 URL:https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc

検定料払戻請求受付
＜二次元コード＞

申請期限：令和８年３月３１日（火）
※返還には請求情報登録後，１ヶ月程度かかります。

【返還手続きお問い合わせ先】

琉球大学財務部経理課 収入・支出係	〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地 電話:098-895-8058 メール：krsyusi@acs.u-ryukyu.ac.jp

【罹災証明書等（写し）提出先】

琉球大学学生部入試課	〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地 電話:098-895-8141　　FAX:098-895-8129 メール：nsnsdl@acs.u-ryukyu.ac.jp

11. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者，疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は，あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については，本学において検討し，その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は，記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また，上記手続きには２～３週間を要します。合理的配慮の内容によっては，対応にさらなる時間を要する場合があります。

なお，相談の内容によっては，本学の試験までに対応できず，配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので，可能な限り早めに相談してください。事前相談は随時受け付けております。

（１）申請期限　　令和７年１０月１７日（金）（消印有効）

※申請期限後の書類については，受理しませんのでご注意ください。

※共通テストで受験上の配慮申請が認められた場合でも，本学の障がい学生支援室へ申請が必要です。なお，期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により，障がいを有することとなった場合は，その時点で速やかに相談してください。

（２）申請方法

以下の書類を，障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）

②「医師からの意見書」（本学指定の様式）

③その他相談する際に必要な参考資料

※上記①及び②の本学指定の様式は，本学障がい学生支援室ホームページ（https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp）「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて，追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は，本学において志願者，保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

【問い合わせ先】 琉球大学障がい学生支援室	〒９０３－０２１３ 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地 全保連ステーション（大学会館）２階 電話：０９８－８９５－８７５０ ＦＡＸ：０９８－８９５－８７９１ Ｅ－ｍａｉｌ：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

12. 受験に関する注意事項

受験上の注意事項

（１）個別学力検査等の日程・試験場は，学部・学科等により異なるので，注意してください。

（２）試験場は，学部ごとに散在していますので，事前に下見をしておくことをお奨めします。各試験場の試験室配置図（面接集合場所を含む）及び注意事項は，「７．試験日時及び試験場」欄を確認してください。

（３）試験当日は，試験開始時刻の３０分前までに，面接（口頭試問を含む）においては集合時刻までに各試験場へ到着してください。なお，試験室への入室は監督者の指示に従ってください。

（４）試験室へ入室し，座席についたとき，琉球大学受験票の「受験番号」と机に貼ってある「受験番号」が同じであることを確認してください。

（５）試験開始時刻（面接（口頭試問を含む）において集合時刻）から３０分を超えて遅刻した者は，受験することができません。

（６）試験室には，必ず本学の受験票を携帯し，監督者の指示に従い所定の場所に置いてください。万一忘れた場合は，当該試験場に設置している試験場本部に申し出てください

（７）ア　受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，次のとおりです。

・黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可。），鉛筆キャップ
・シャープペンシル（黒い芯に限る。）
・プラスチック製の消しゴム
・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
・時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
・眼鏡，ハンカチ，目薬，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には，解答を一時中断させて，試験終了まで預かることがあります。

なお，座布団，クッション，タオル，ひざ掛け，手袋（多汗症用を含む。）の使用を希望する場合は，試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

イ　試験時間中に，次のものを使用してはいけません。

・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具
・携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。），タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず，身につけていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

なお，イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。

※試験時間中，病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は，受験時における合理的配慮申請が必要です。

ウ　試験時間中に使用してはいけない電子機器類は，受験する教科・科目の試験室への受験者入室終了時刻までに，必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に，監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。

エ　耳栓は，監督者の指示が聞こえない場合がありますので，使用できません。

※試験時間中，病気・負傷や障がい等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は，受験時における合理的配慮申請が必要です。

（８）問題冊子は，試験開始の合図があるまで絶対に開かないでください。

（９）解答用紙には，受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は，無効とすることがあります。

（１０）試験時間中は，試験室からの退席は認めません。ただし，用便，身体の不調又は質問等がある場合は，挙手をして監督者の指示に従ってください。

（１１）解答用紙を試験室外に持ち出した場合は，無効となります。

（１２）解答用紙は，解答の如何にかかわらず必ず提出してください。
（１３）試験当日は，各試験場内への自動車，オートバイ等の乗り入れを原則禁止します。
（１４）悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は，十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。
（１５）学校保健安全法施行規則第１８条に定める感染症（インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス等）に罹患し，試験当日までに治癒していないか出席停止期間等が終了していない受験者は，他の受験者への感染のおそれがあるため，受験できませんのでご注意ください。ただし，病状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めたときはこの限りではありません。なお，上記により受験できなかった場合の追試験等の措置及び検定料の返還は行いません。
（１６）マスクの着用は，原則として個人の判断に委ねることとします。ただし，咳などの症状のある方にはマスクの着用をお願いすることがあります。

※本人確認等のため，試験開始後でも試験監督者が声をかけることがあります。
※実施方法等に変更が生じた際には，本学ホームページにて速やかにお知らせします。

不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，既に受験した個別学力検査等の成績も無効になります。

なお，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

①出願確認票，受験票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（インターネット出願登録時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入する等）をすること。
②カンニング（試験の教科・科目等に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること。
③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
④配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
⑤解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑥「解答はじめ。」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。
⑦試験時間中（面接（口頭試問，実技を含む）時間及び面接（口頭試問，実技を含む）待機時間を含む。）に，携帯電話やスマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。），タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。（緊急の連絡が必要な場合は，試験監督者等に申し出ること）
※イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中，病気･負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は，受験時における合理的配慮申請が必要です）
⑧試験時間中に，使用を認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること。
⑨「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

上記以外にも，次のことをすると不正行為になることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，上記と同様です。

①試験時間中に使用を認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具や携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。），タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類，教科書，参考書，辞書等の書籍類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。
②試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。
③試験に関することについて，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
④試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤試験場において監督者等の指示に従わないこと。
⑥その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

13. 入学手続

入学手続の詳細（手順，提出書類等）については，合格者に発送する「入学手続案内」をご確認ください。

（１）入学手続期間

令和８年２月１２日（木）～１８日（水）　９：００～１７：００　（土日・祝日を除く）

※入学手続書類等は，原則「書留郵便」で郵送してください。

（２）入学料及び授業料

入学料	２８２，０００円
授業料	（前期分）２６７，９００円 （年　額）５３５，８００円

※上記については令和７年度入学者の金額であり，入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

※授業料の納入については，本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も併せて納入することができます。

※日本学生支援機構（JASSO）の給付型奨学金及び大学独自の授業料免除制度等については，合格者に送付する「入学手続案内」または下記の本学ホームページをご確認ください。

【学生生活支援情報ホームページ】https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/

（３）留意事項

①本選抜による合格者が，本学の定める期間内に入学手続を行わないときは，本学に入学する権利を消失するので十分に注意してください。

②本選抜による合格者で入学手続きを完了した者は，本学及び他の国公立大学・学部を受験しても，その大学・学部の合格者とはなりません。

③出願後に生じた特別の事情により入学を辞退する場合には，当該者の推薦を行った高等学校等の長を経由して令和８年２月１８日（水）１７：００までに「推薦入学辞退願」を合格学部に提出し，その許可を得た場合に限り，その入学辞退を認めます。

④上記③による入学辞退許可を受けずに入学辞退したり，入学手続を行わない場合には，翌年度以降，当該高等学校等の長からの推薦を受理しませんので，注意してください。
また，その場合，本年度に出願済の他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）を受験しても入学許可は得られません。
※公立大学協会ホームページ https://www.kodaikyo.org 参照

⑤入学手続時に入学料免除・徴収猶予の申請をした者で，入学手続後に入学を辞退する場合は，合格した学部学務係に必ず電話連絡の上，令和８年３月３１日（火）１７：００までに入学料の全額を納入してください。

⑥国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，氏名及び共通テストの受験番号に限って，合格及び入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達しますので，ご了承ください。

14. 個人情報の利用等

（１）本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は，次のとおり利用又は提供しますので，あらかじめご了承ください。

①入学者選抜，合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。

②入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき，学生支援関係業務（健康診断，入学料免除，入学料徴収猶予，授業料免除，奨学生採用，就職支援，入寮手続等），教務関係業務（学籍管理，修学指導，成績管理等），納入金関係業務（授業料徴収等）で利用します。

③入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお，統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は，個人が特定できないよう配慮します。

④国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

⑤本学の関連団体である琉球大学同窓会，琉球大学後援財団，各学部・学科同窓会，各学部・学科後援会及び琉球大学生活協同組合に，氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。

（２）上記（１）の各種業務での利用にあたっては，本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）に，必要な限度において当該個人情報を提供する場合があります。この場合，受託業者に対し，当該個人情報について，その利用の目的若しくは方法の制限その他必要な制限を付し，かつその漏えい防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずることを求めます。

（３）出願書類の不備等がある場合，その訂正・補完を速やかに行っていただくため，本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを，保護者又は高等学校等に通知する場合があります。

（４）本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は，上記及び個人情報の保護に関する法律第１８条，第２７条及び第２８条に規定されている場合を除き，本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

15. 入試情報開示に関する事項

（１）個別学力検査等の採点・評価基準

①人文社会学部

国際法政学科	小　論　文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面　　接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	調　査　書	○総合的な学習を含む学業成績を評価します。
	推　薦　書	○受験者の人物，学校生活状況，学業成績，課外活動・特技・資格等を評価します。面接の評価に含めます。
	志願理由書	○進学の目的，将来の計画及び長所・特技等を評価します。面接の評価に含めます。
人間社会学科	小　論　文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，構成力等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面　　接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	調　査　書	○学業成績を評点化するほか，特別活動の記録や総合的な学習の時間の内容・評価，部活動やボランティア活動，取得資格，検定等など，調査書の他の記載事項も本学部のアドミッション・ポリシーに照らして確認し，面接の参考資料とします。
	推　薦　書	○学業，人物，課外活動等について，面接の基礎資料とし，面接の評価に含みます。
	志願理由書	○目的意識，意欲，志望に至った経緯，記述力等について面接の基礎資料とし，面接の評価に含みます。
琉球アジア文化学科	小　論　文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面　　接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	調　査　書	○「全体の学習成績の状況」を点数化します。
	推　薦　書	○学業，課外活動及び特技等を考慮して総合的に評価し，面接の評価にも含みます。
	志願理由書	○志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・アピール点等を総合的に評価し，面接の評価に含みます。

②教育学部

学校教育教員養成課程

小学校教育コース	学校教育専攻	小　論　文	○教育や子どもに関する知識・理解をみます。 ○小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力をみます。 ○小学校教育に対する意欲・関心をみます。
		面　　接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。
		調　査　書	○面接時の参考にします。
		推　薦　書	○面接時の参考にします。
		志願理由書	○面接時の参考にします。

特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	面　　接	○志望理由，特別支援教育に関する学習及び研究意欲，将来の進路計画，社会貢献への意識などについて評価します。
			調　査　書	○面接時の参考にします。
			推　薦　書	○面接時の参考にします。
			志願理由書	○面接時の参考にします。

③理学部

物質地球科学科 物理系	面　　接	○動機，意欲，長所，将来計画，物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む），適性等を総合的に評価します。その際に，調査書，推薦書，志願理由書の記載内容も含めて評価します。
	調　査　書 推　薦　書 志願理由書	○面接の際に活用します。
物質地球科学科 地球環境系	面　　接	○志望理由，学習への意欲，適性等を評価し，調査書，推薦書，志願理由書の記載内容も含めて総合的に評価します。
	調　査　書	○中等教育での学習成果および学習に対する主体性を評価します。
	推　薦　書	○中等教育での地学分野（天文分野を含む）への取組，活動実績を中心として評価します。
	志願理由書	○志望理由，地学の専門分野に対する学習への意欲，適性等を評価します。
海洋自然科学科 化学系	面　　接	○自然科学に対する学習意欲，化学に必要な論理的思考力・判断力・表現力，志望動機等を総合的に評価します。
	調　査　書	○主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度，および指導上参考となる諸事項等を総合的に評価します。
	推　薦　書 志願理由書	○面接の際に活用します。
海洋自然科学科 生物系	面　　接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性等を総合的に評価します。
	調　査　書	○生物学に関する活動や資格，指導上参考となる諸事項，特記事項等を評価します。
	推　薦　書	○面接の際に活用します。
	志願理由書	○生物学に関する関心の程度や，学習意欲，文章力や論理性等を総合的に評価します。

④医学部

医　学　科	小　論　文	○思考力，独創性，発想力，表現力等を総合的に評価します。
	面　　接	○適性，意欲，表現力等を総合的に評価します。
	調　査　書	○面接の参考にします。
	推　薦　書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
保健学科	面　　接	○動機，意欲，適性，表現力等を総合的に評価します。
	調　査　書	○学力，リーダーシップ，課外活動，表彰等を総合的に評価します。
	推　薦　書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。

⑤工学部

工　学　科 （全コース共通）	面　　接	○志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化します。
	志願理由書	○志望動機，将来計画，長所・特技，自己アピール等を総合的に評価し，点数化します。
	調　査　書	○全体の学習成績の状況を点数化します。
	推　薦　書	○面接の際の参考とします。

（２）合否判定基準

①全学部の基本的な基準

○共通テストの成績と個別学力検査等の成績等，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。（ただし，人文社会学部国際法政学科政治・国際関係学プログラム，人間社会学科，教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻を除く）
○共通テスト及び個別学力検査等のいずれか１科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

②学部ごとの基準

１）人文社会学部

国　際　法　政　学　科	○共通テストの成績，小論文，面接及び出願書類を総合的に判定します。 ○政治・国際関係学プログラムは，共通テストの合計点が５０％に満たない場合は不合格とします。
人　間　社　会　学　科	○共通テストの成績，小論文，面接及び出願書類を総合的に判定します。 ○共通テストの合計点が５０％に満たない場合は不合格とします。
琉球アジア文化学科	○共通テストの成績，小論文，面接及び出願書類を総合的に判定します。

2）教育学部（学校教育教員養成課程）

<table>
<tr><td colspan="3">学　部　共　通</td><td>○共通テストの成績（学校教育専攻は資格審査のみ），個別学力試験等の成績を総合して選考します。</td></tr>
<tr><td>小学校教育
コ　ー　ス</td><td colspan="2">学校教育専攻</td><td>○小論文と面接の成績を総合して判定します。
共通テストは資格審査として用いるので，配点には影響しません。</td></tr>
<tr><td>特別支援
教育コース</td><td>特別支援
教育専攻</td><td>特別支援教育専修</td><td>○共通テストと面接の成績を総合して判定します。</td></tr>
</table>

3）理学部

物質地球科学科 物理系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。
物質地球科学科 地球環境系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。
海洋自然科学科 化学系	○共通テスト，面接及び調査書の総合点により判定します。
海洋自然科学科 生物系	○共通テスト，面接，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考します。

4）医学部

医学科	○合格ラインに同点者がいる場合には，次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①面接の高得点者　②小論文の高得点者　③共通テストの外国語の高得点者 ④共通テストの数学の高得点者　⑤共通テストの理科の高得点者
保健学科	○共通テスト６００点，調査書３００点，面接２５０点の配点とし，総合点１１５０点満点で上位者から合格者とします。

5）工学部（工学科全コース共通）

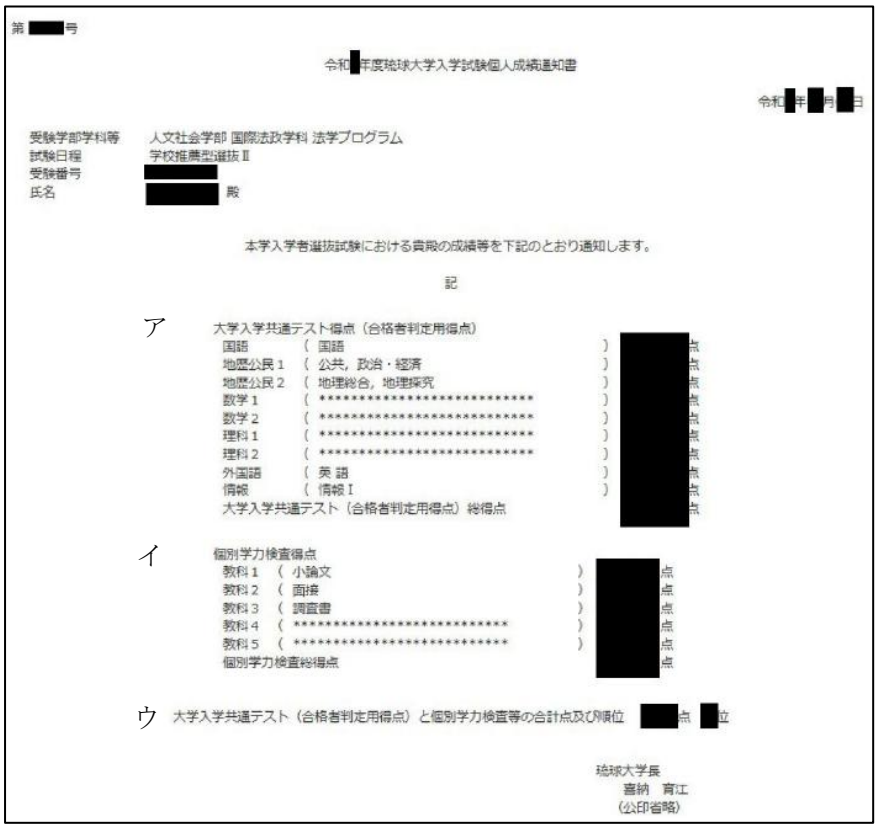
工学科 （全コース共通）	○共通テスト，調査書，志願理由書，面接を点数化し，総合得点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い，合否を判定します。

（３）試験成績開示

令和８年度学校推薦型選抜Ⅱの個人成績を，インターネット出願サイトで試験成績開示を希望した方に開示します。申請方法，開示内容及び開示方法は以下のとおりです。出願期間後に開示請求登録を行うことはできませんので，ご注意ください。

①　開示請求者	成績開示希望者（受験者本人）。代理人請求は認めません。
②　開示内容	ア　大学入学共通テストの科目ごとの得点 （本学が判定に使用した教科・科目の配点換算後の得点） イ　個別学力検査等の得点 ウ　アとイの総合得点及び順位
③　申請方法 出願手続き時に同時申請	インターネット出願時に個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。
④　開示期間	令和８年５月１日（金）１０：００～６月３０日（火）１７：００ ※開示期間外は閲覧できません。
⑤　開示手数料	１選抜ごとに６５０円を徴収します。 入学検定料と併せてお支払いください。
⑥　開示方法	・本学ホームページ（入試情報サイト）個人成績開示サイトより開示します。「氏名」，「受験番号」，インターネット出願時の「セキュリティコード」を入力のうえ閲覧できます。 ※成績開示までの間，「受験番号」，インターネット出願時の「セキュリティコード」の管理にはご注意ください。 ※郵送はしません。

個人成績開示サイト開示イメージ



第 [redacted] 号

令和[redacted]年度琉球大学入学試験個人成績通知書

令和[redacted]年[redacted]月[redacted]日

受験学部学科等　人文社会学部 国際法政学科 法学プログラム
試験日程　学校推薦型選抜Ⅱ
受験番号　[redacted]
氏名　[redacted] 殿

本学入学者選抜試験における貴殿の成績等を下記のとおり通知します。

記

ア　大学入学共通テスト得点（合格者判定用得点）

国語	（ 国語 ）	[redacted]点
地歴公民１	（ 公共，政治・経済 ）	[redacted]点
地歴公民２	（ 地理総合，地理探究 ）	[redacted]点
数学１	（ ********** ）	[redacted]点
数学２	（ ********** ）	[redacted]点
理科１	（ ********** ）	[redacted]点
理科２	（ ********** ）	[redacted]点
外国語	（ 英 語 ）	[redacted]点
情報	（ 情報Ⅰ ）	[redacted]点
大学入学共通テスト（合格者判定用得点）総得点		[redacted]点

イ　個別学力検査得点

教科１	（ 小論文 ）	[redacted]点
教科２	（ 面接 ）	[redacted]点
教科３	（ 調査書 ）	[redacted]点
教科４	（ ********** ）	[redacted]点
教科５	（ ********** ）	[redacted]点
個別学力検査総得点		[redacted]点

ウ　大学入学共通テスト（合格者判定用得点）と個別学力検査等の合計点及び順位　[redacted]点　[redacted]位

琉球大学長
喜納　育江
（公印省略）

【開示内容】
ア．大学入学共通テストの科目ごとの得点

イ．個別学力検査等の得点

ウ．アとイの総合得点及び順位

○参考情報

ノートパソコン等の必携化について

本学では，高度情報化社会において情報通信技術の活用能力を有する人材を育成すること，情報通信技術を活用し様々な授業方法やメディアを利用した教育を実践すること，各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として，令和４年度入学生から，ノートパソコン等を必携としております。ノートパソコン等の性能などについては，本学ホームページに掲載しておりますので，必ずご確認ください。

なお，条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は，新たに購入する必要はありません。

【ＵＲＬ】https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/curriculum/pc-hikkei/

また，推奨するスペックを満たすパソコンは琉球大学生活協同組合でも販売・サポートしています。

【琉球大学生活協同組合ＵＲＬ】https://coop.kyushu-bauc.or.jp/ryudai-coop/newlife/

学生寮（千原寮）への入寮申し込みについて

学生寮（千原寮）への入寮を希望する方は，「令和８年度琉球大学千原（せんばる）寮入寮者募集案内」（以下「入寮者募集案内」という。）を次の要領で請求し，所定の入寮申請期間内に申請書類等を提出してください。（詳細については，「入寮者募集案内」をご覧ください。）

（１）「入寮者募集案内（令和８年１月初旬発行予定）」の請求方法

①寮務係（学寮事務室）で直接受け取ることができます。

②本学の学生生活支援情報ホームページの「学生寮」（https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/）から募集案内と各種用紙をダウンロードできます。

③郵便による送付をご希望の場合は，返信用レターパック（請求者の郵便番号，住所，氏名を明記したもの）を同封して請求してください。

【請求先】 琉球大学　学生部　学生支援課 寮務係（学寮事務室）	〒９０３－０１２９ 沖縄県中頭郡西原町字千原５９番地 電話：０９８－８９５－８１０１・８１３３

（２）入寮申請期間

令和８年２月１３日（金）～２月２４日（火）（必着）

※希望者は，期日指定郵便を活用するなど，申請・提出を忘れないようにしてください。

※申請は，上記（１）③「学寮事務室宛」の住所へ送付ください。

※選抜区分によっては，入学手続の直後や出願時期(受験前)に入寮申請を行う必要があります。出願期間，入学手続期間，入寮申請期間を必ずご確認ください。

琉球大学生活協同組合(消費生活協同組合法に基づく団体)によるお知らせ

琉球大学生協では，入学試験及び入学準備に伴う各種支援（教科書教材，パソコン等の学習教材，食生活，アパートマンション等の紹介）を行っており，生協の資料を希望する入学志願者には，各種資料を送付しております。各種資料に関する請求は以下の方法により申請してください。

（１）本学のインターネット出願時に資料請求する

インターネット出願時に「個人情報入力」の「大学生協への情報提供確認」において「資料送付を希望します」を選択してください。

（２）琉球大学生協のホームページから資料請求する　下記ＵＲＬ，二次元コードより資料請求が可能です。ホームページでは資料請求以外にも生協の加入手続き方法，パソコン等の学習教材についてもご紹介しております。

【ＵＲＬ】　https://coop.kyushu-bauc.or.jp/ryudai-coop/newlife/

大学生協ホームページ
＜二次元コード＞

（３）電話で資料請求する（下記までお問い合わせください）。

琉球大学生活協同組合　本部　電話　098－895－2620

（９：００～１７：００）　土日・祝日を除く

出　願　書　類　等　一　覧

高等学校等から取り寄せる書類		
1	調査書 高等学校等の長が作成し，厳封したものを提出してください。	全員
本学様式指定の書類		
2	推薦書（Ａ４サイズ）	全員
3	志願理由書（Ａ４サイズ）	全員
インターネット出願サイトから印刷する書類		
4	出願確認票（Ａ４サイズ）	全員
5	宛名ラベル（Ａ４サイズ） 出願書類等提出用封筒角形２号に貼り付けること。	全員

【出願書類等の記入上の注意】

記入に当たっては，本募集要項を熟読し，以下の事項に注意して記入してください。

1．記入は黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用してください。Wordで作成する場合は，体裁・様式の変更は行わないでください。
2．通称・略字等は使用せず，漢字は楷書で，数字は算用数字で正確かつ丁寧に記入してください。
3．「※印の欄」（受験番号欄，出欠欄等）は記入しないでください。
4．記入不備がある場合は，受理できませんので注意してください。
5．インターネット出願登録を行い，入学検定料を支払いした後の記載内容の変更は認めません。
6．インターネット出願登録を行い，入学検定料を支払いした後に，本人及び保護者の連絡先，住所を変更した場合は，直ちに本学学生部入試課（電話098－895－8141）に連絡してください。

令和９（２０２７）年度

入学者選抜要項

令和８年６月

琉球大学

※実施方法等に変更が生じた場合には本学ホームページにて速やかにお知らせします。

問 い 合 わ せ 先 一 覧

事　　項	問い合わせ先	電　話　番　号
大学入学共通テストに関すること	大学入試センター事業第一課	０３－３４６５－８６００
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	０９８－８９５－８１４１ ０９８－８９５－８１４２
	人文社会学部学務係	０９８－８９５－９０５６
	国際地域創造学部学務係	０９８－８９５－８１８４
	教育学部学務係	０９８－８９５－８３１７
	理学部学務係	０９８－８９５－８５９５
	【医学部】 西普天間キャンパス事務部 学務課入試・学事係	０９８－８９４－５５１３
	工学部学務係	０９８－８９５－８５８３
	農学部学務係	０９８－８９５－８７３８
入学者選抜に関する統計資料 ・志願者数及び志願倍率等 ・合格者の最高点，最低点，平均点 ・過去の試験問題	本学ホームページ https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/	
入学料，授業料の納　入に関すること	財務部経理課収入・支出係	０９８－８９５－８０５８
入学料，授業料の免　除に関すること	学生部学生支援課学生援護係	０９８－８９５－８１３５
奨学金に関すること	学生部学生支援課学生援護係 （奨学金担当）	０９８－８９５－８１３６
学生寮（千原寮）に関すること	学寮事務室	０９８－８９５－８１０１ ０９８－８９５－８１３３
障がい等のある入学志願者（受験時の合理的配慮等）に関すること	障がい学生支援室	０９８－８９５－８７５０

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く）　９：００～１７：００

※お問い合わせは，原則として志願者本人が行ってください。

目　　次

〇琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）…… 1
〇入試カレンダー…… 2
〇令和９（２０２７）年度 琉球大学入学者選抜の主な変更点 …… 4
〇令和９（２０２７）年度 琉球大学医学部医学科入学定員について …… 5
【1】令和９年度琉球大学入学者選抜日程の概要…… 6
【2】募集人員…… 8
【3】出願資格…… １０
【4】入学者選抜の概要…… １０
【5】令和９年度入学者選抜方法等…… １３
（1）入学者選抜方法等
（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜)…… １３
（2）特別選抜の概要…… １５
【6】学校推薦型選抜の推薦人員…… １７
【7】令和９年度入学者選抜の実施教科・科目等…… １８
【8】障がい等のある入学志願者（受験時の合理的配慮等）…… ２０
【9】入試情報開示に関する事項…… ２０
（1）入学試験問題及び解答例又は出題意図等…… ２０
（2）志願状況，合格者の成績（合格者の最高点，最低点，平均点）…… ２０
（3）試験成績開示…… ２０
【１０】学生募集要項の発表時期等について…… ２１
【１１】出願方法について…… ２１
【１２】「大学案内」の請求について …… ２２
《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）…… ２２
《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）…… ２３
【１３】全学部の基本的な合否判定基準…… ２４
【１４】各学部の入学者選抜について
人文社会学部…… ２５
１．一般選抜（前期日程・後期日程）…… ２６
２．学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…… ２７
３．帰国生徒特別選抜…… ３０
４．私費外国人留学生特別選抜…… ３０
５．個別学力検査等の採点・評価基準…… ３１
６．合否判定基準…… ３３
７．募集人員の留意事項…… ３３
８．人文社会学部のプログラムの配属等について…… ３４
国際地域創造学部…… ３５
１．一般選抜（前期日程・後期日程）…… ３６
２．学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…… ３８
３．社会人特別選抜（夜間主コースのみ）…… ３９
４．帰国生徒特別選抜…… ４０
５．私費外国人留学生特別選抜…… ４１
６．個別学力検査等の採点・評価基準…… ４１
７．合否判定基準…… ４２
８．募集人員の留意事項…… ４２
９．国際地域創造学部のプログラムの配属等について…… ４３
教育学部…… ４５
１．一般選抜（前期日程）…… ４６
２．総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…… ４９
３．学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…… ５１
４．学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」…… ５２
５．学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…… ５３
６．実技検査等実施方法…… ５５
７．個別学力検査等の採点・評価基準…… ５７
８．合否判定基準…… ６０
９．募集人員の留意事項…… ６０
１０．教育学部の専修の決定方法等について…… ６１

理学部…… **６３**
１．一般選抜（前期日程・後期日程）……６４
２．学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）……６７
３．帰国生徒特別選抜……７１
４．私費外国人留学生特別選抜……７２
５．出願に関する第２志望の取扱い（数理科学科，物質地球科学科，海洋自然科学科化学系）……７２
６．個別学力検査等の採点・評価基準……７３
７．合否判定基準……７５
８．募集人員の留意事項……７６
医学部…… **７７**
１．一般選抜（前期日程・後期日程）……７８
２．学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）……７９
３．帰国生徒特別選抜……８１
４．私費外国人留学生特別選抜……８２
５．個別学力検査等の採点・評価基準……８２
６．合否判定基準……８３
７．２段階選抜（医学科）……８４
８．募集人員の留意事項……８４
工学部…… **８５**
１．一般選抜（前期日程・後期日程）……８６
２．総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）……８７
３．学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）……８９
４．社会人特別選抜……９１
５．私費外国人留学生特別選抜……９１
６．個別学力検査等の採点・評価基準……９２
７．合否判定基準……９３
８．工学部の選抜方法等について……９３
９．募集人員の留意事項……９３
農学部…… **９５**
１．一般選抜（前期日程・後期日程）……９６
２．総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）……９８
３．学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）……１００
４．帰国生徒特別選抜……１０１
５．私費外国人留学生特別選抜……１０１
６．個別学力検査等の採点・評価基準……１０２
７．合否判定基準……１０３
８．募集人員の留意事項……１０４

【１５】私費外国人留学生特別選抜……１０６
別表１ 日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査等 ……１０７

【１６】合格者を対象とした入学前教育の実施について……１０９
【◎参考情報】ノートパソコン等の必携化について……１０９

〇琉球大学案内図（千原キャンパス・西普天間キャンパス）案内図……１１０

各選抜区分について，以下のとおり略記することがあります。
大学入学共通テスト⇒「共通テスト」
総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）⇒「総合Ⅰ」
総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）⇒「総合Ⅱ」
学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）⇒「推薦Ⅰ」
学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）⇒「推薦Ⅱ」
一般選抜⇒「一般」
社会人特別選抜⇒「社会人」
帰国生徒特別選抜⇒「帰国」
私費外国人留学生特別選抜⇒「私費」

琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〔平成２９年２月９日
制　　定〕

１．琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は，「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下，「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の４つを目指し人材を育成します。

（１）豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
（２）優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
（３）外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
（４）地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

２．求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

（１）高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
（２）異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
（３）自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

３．入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な選抜方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション･ポリシー）については，本学ホームページの「各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/policy/faculty_admission-policy/

をご覧ください。

入試カレンダー　詳細は各募集要項を確認してください。

入試制度		対象学部	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
一般選抜	前期日程	全学部					共通テスト → 出願期間 １月２５日～２月３日	試験日 2月２５日，２６日	★合格発表 ３月６日
一般選抜	後期日程	教育学部を除く全学部							試験日 ３月１２日　★合格発表 ３月２０日
特別選抜	総合型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)	教育学部	→ 出願期間 ９月１日～９月３日 ★合格発表 第１次選考９月１６日　試験日 第１次選考　９月　８日 第２次選考　９月２９日		★合格発表 第２次選考１１月１日				
特別選抜	総合型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)	工学部	→ 出願期間 ９月１日~ ９月３日 ★合格発表 第１次選考９月１６日　試験日 第１次選考　書類 第２次選考　９月２９日		★合格発表 第２次選考１１月１日				
特別選抜	総合型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	農学部	→ 出願期間 ９月１日～９月３日	試験日 第１次選考　１０月１０日	★合格発表 第１次選考１１月１日		共通テスト	★合格発表 ２月９日	
特別選抜	学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) (英語重視を含む)	国際地域創造学部 教育学部 農学部			→ 出願期間 １１月１日～ １１月６日	試験日 １２月２日 ★合格発表 １２月１１日	共通テスト		
特別選抜	学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	人文社会学部･教育学部･ 理学部・医学部・工学部				試験日 １２月２日 ★合格発表 １２月１１日		★合格発表 ２月９日	
特別選抜	社会人特別選抜	国際地域創造学部							
特別選抜		工学部					→ 出願期間 １月１８日～ １月２２日	試験日 ２月２６日	★合格発表 ３月６日
特別選抜	帰国生徒特別選抜	人文社会学部・理学部 医学部・農学部			→ 出願期間 １１月１日～ １１月６日	試験日 １２月２日 ★合格発表 １２月１１日			
特別選抜		国際地域創造学部					→ 出願期間 １月１８日～ １月２２日	試験日 ２月２５日	★合格発表 ３月６日
特別選抜	私費外国人留学生 特別選抜	教育学部を除く全学部			→ 出願期間 １１月１日～ １１月６日	試験日 １２月２日 ★合格発表 １２月１１日			

令和９（２０２７）年度 琉球大学入学者選抜の主な変更点

学部・学科等	入学試験の名称	令和９（２０２７）年度	令和８（２０２６）年度
教育学部　学校教育教員養成課程 中学校教育コース　教科教育専攻 美術教育専修	帰国生徒特別選抜	帰国生徒特別選抜を廃止する。	帰国生徒特別選抜を実施する。

令和９（２０２７）年度琉球大学医学部医学科入学定員について

国立大学法人　琉球大学

本学医学部医学科の入学定員には，文部科学省及び厚生労働省が認可する臨時的な増員措置による定員数を含んでいましたが，この措置は令和８（２０２６）年度をもって終了したため，現時点では「一般選抜（前期日程７０名・後期日程２３名)」及び「学校推薦型選抜Ⅱ７名」の計１００名を令和９（２０２７）年度の入学定員としています。

しかし，文部科学省及び厚生労働省において地域における医師確保等の観点から新たな方針が示され，令和９（２０２７）年度入学者についても，臨時的な増員措置への請願が可能とされましたので，本学は入学定員の増員を申請いたします。

なお，臨時的な増員措置の具体的な内容は未だ公表されておらず，また，増員申請の審査結果によっては上記にお示しした入学定員を変更する場合もあり得ます。

令和９（２０２７）年度の本学医学部医学科「一般選抜」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」の入学定員の詳細につきましては，確定次第，速やかに本学ホームページ等で公表しますので，志願を検討されている方はご留意ください。

本学ホームページ（ホーム ＞ 入試情報）

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/

※実施方法等に変更が生じた場合には本学ホームページにて情報を速やかにお知らせします。

【１】令和９年度琉球大学入学者選抜日程の概要

以下の各入試区分の出願期間は，インターネット出願登録後，実際に出願書類を提出する期間です。

○一般選抜

日程	対象学部	共通テスト	インターネット出願登録期間	出願期間	個別学力検査等	合格発表	入学手続き	追加合格
前期日程	全学部	（令和9年） 1月16日(土) 1月17日(日)	1月22日(金) ～ 2月3日(水)	1月25日(月) ～ 2月3日(水)	2月25日(木) 2月26日(金) ※①	3月6日(土)	3月8日(月) ～ 3月15日(月)	3月28日(日) ～ 3月31日(水) ※②
後期日程	全学部 （教育学部を除く）				3月12日(金) ※①	3月20日(土)	3月23日(火) ～ 3月27日(土)	

※①日程については，学部学科等によって異なります。一般選抜の詳細については，令和８年１２月中旬発表の「学生募集要項（一般選抜）」を必ず確認してください。

※②追加合格者数によっては，欠員補充第２次募集を行うことがあります。

○特別選抜

選抜区分	対象学部	共通テスト	インターネット出願登録期間	出願期間	個別学力検査等	合格発表	入学手続き
総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	教育学部	—	８月25日(火) ～ ９月３日(木)	９月１日(火) ～ ９月３日(木)	第１次選考 ９月８日(火) 第２次選考 ９月29日(火) ※注	第１次選考 ９月16日(水) 第２次選考 11月１日(日)	11月５日(木) ～ 11月13日(金)
	工学部				第１次選考 書類審査 第２次選考 ９月29日(火) ※注		
総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	農学部	（令和９年） １月16日(土) １月17日(日)			第１次選考 10月10日(土) ※注	第１次選考 11月１日(日) 第２次選考 （令和９年） ２月９日(火)	２月12日(金) ～ ２月17日(水)

※注　総合型選抜Ⅰ・Ⅱの個別学力検査については，台風等による予備日を設定しています。予備日については，各学部の「学生募集要項（総合型選抜Ⅰ・Ⅱ）」を必ず確認してください。

<table>
<tr><th>選抜区分</th><th>対象学部</th><th>共通テスト</th><th>インターネット
出願登録期間</th><th>出願期間</th><th>個別学力
検査等</th><th>合格発表</th><th>入学手続き</th></tr>
<tr><td>学校推薦型選抜Ⅰ
(共通テストを課さない)
(英語重視を含む)</td><td>国際地域創造学部
教育学部
農学部</td><td>―</td><td rowspan="3">10月23日(金)
～
11月6日(金)</td><td rowspan="3">11月1日(日)
～
11月6日(金)</td><td rowspan="3">12月2日(水)</td><td>12月11日(金)</td><td>12月14日(月)
～
12月25日(金)</td></tr>
<tr><td>学校推薦型選抜Ⅱ
(共通テストを課す)</td><td>人文社会学部
教育学部
理学部
医学部
工学部</td><td>(令和9年)
1月16日(土)
1月17日(日)</td><td>(令和9年)
2月9日(火)</td><td>(令和9年)
2月12日(金)
～
2月17日(水)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会人特別選抜</td><td>国際地域創造学部</td><td>―</td><td>12月11日(金)</td><td>12月14日(月)
～
12月25日(金)</td></tr>
<tr><td>工学部</td><td>―</td><td>(令和9年)
1月12日(火)
～
1月22日(金)</td><td>(令和9年)
1月18日(月)
～
1月22日(金)</td><td>(令和9年)
2月26日(金)</td><td>(令和9年)
3月6日(土)</td><td>(令和9年)
3月8日(月)
～
3月15日(月)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">帰国生徒特別選抜</td><td>人文社会学部
理学部
医学部
農学部</td><td>―</td><td>10月23日(金)
～
11月6日(金)</td><td>11月1日(日)
～
11月6日(金)</td><td>12月2日(水)</td><td>12月11日(金)</td><td>12月14日(月)
～
12月25日(金)</td></tr>
<tr><td>国際地域創造学部</td><td>―</td><td>(令和9年)
1月12日(火)
～
1月22日(金)</td><td>(令和9年)
1月18日(月)
～
1月22日(金)</td><td>(令和9年)
2月25日(木)</td><td>(令和9年)
3月6日(土)</td><td>(令和9年)
3月8日(月)
～
3月15日(月)</td></tr>
<tr><td>私費外国人留学生特別選抜</td><td>全学部
(教育学部を除く)</td><td>―</td><td>10月16日(金)
～
11月6日(金)</td><td>11月1日(日)
～
11月6日(金)</td><td>12月2日(水)</td><td>12月11日(金)</td><td>12月14日(月)
～
12月25日(金)</td></tr>
</table>

※特別選抜の詳細については，下記学生募集要項（本学ホームページ掲載）を必ず確認してください。

◇「学生募集要項（総合型選抜Ⅰ・Ⅱ）」　令和８年６月下旬発表予定

◇　上記以外の学生募集要項　　令和８年９月下旬発表予定

【2】募集人員

学部	学科・課程・(選抜方式)等			入学定員(名)	募集人員(名)								
					一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人
					分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
					前期日程	後期日程							
人文社会学部	国際法政学科	法学プログラム		80	50	10				10		若干名	若干名
		政治・国際関係学プログラム								10			
	人間社会学科	哲学プログラム		80	41	18				5		若干名	若干名
		心理学プログラム								8			
		社会学プログラム								8			
	琉球アジア文化学科			40	25	6				9		若干名	若干名
	計			200	116	34				50			
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	265	60	15			50			若干名	若干名
			(論理的思考系)		90	20							
			(数学的思考系)		30								
	夜間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	80	20	5			13		10		
			(論理的思考系)		24	8							
	計			345	224	48			63		10		
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻	140	35		5			10			
		小学校教育コース・中学校教育コース	教科教育専攻 国語教育専修		8(小4/中4)		小10						
			社会科教育専修		7(小4/中3)								
			数学教育専修		9(小4/中5)								
			理科教育専修		9(小4/中5)								
			音楽教育専修		6(小3/中3)								
			美術教育専修		6(小3/中3)								
			保健体育専修		7(小4/中3)								
			技術教育専修		3(小2/中1)				中2				
			生活科学教育専修		6(小3/中3)								
			英語教育専修		6(小4/中2)				中1英語重視				
		特別支援教育コース	特別支援教育専攻 特別支援教育専修		7					3			
	計			140	109		15		3	13			
理学部	数理科学科			40	30	10							若干名
	物質地球科学科	物理系		65	28	7				5		若干名	若干名
		地球環境系			19	3				3		若干名	若干名
	海洋自然科学科	化学系		95	28	5				14		若干名	若干名
		生物系			37	10				1		若干名	若干名
	計			200	142	35				23			
医学部	医学科			100	70	23				7			
	保健学科			60	41	10				9		若干名	若干名
	計			160	111	33				16			

学部	学科・課程・(選抜方式) 等		入学定員(名)	募集人員(名)								
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人
				分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
				前期日程	後期日程							
工学部	工学科	機械工学コース	350	209	37	6			11	若干名		若干名
		エネルギー機械工学コース				10			7	若干名		若干名
		電気システム工学コース				2			9	若干名		若干名
		電子情報通信コース				4			7	若干名		若干名
		環境都市工学コース				5			10	若干名		若干名
		建築学コース				2			10	若干名		若干名
		知能情報コース				7			14	若干名		若干名
	計		350	209	37	36			68			
農学部	亜熱帯地域農学科		35	22	5		3	5			若干名	若干名
	亜熱帯農林環境科学科		35	22	5		3	5			若干名	若干名
	地域農業工学科		25	16	2		2	5			若干名	若干名
	亜熱帯生物資源科学科		45	23	4		2	6			若干名	若干名
		健康栄養科学コース		8			2					
	計		140	91	16		12	21				
合計			1,535	1,002	203	51	12	87	170	10		

○医学部医学科の学校推薦型選抜（共通テストを課す）の募集人員の取扱いについては，５ページを参照してください。

○令和９年４月１日から，工学部工学科の社会基盤デザインコースは「環境都市工学コース」へ名称変更します。

【３】出願資格

本学に入学を志願できる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ令和９年度共通テストで本学の各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者です。１つでも受験していない教科・科目があると，受験資格はありません。

共通テストの利用教科・科目の得点の採用については１９ページを，特別選抜（総合型，学校推薦型・社会人・帰国生徒）についてはそれぞれの学部のページを，私費外国人留学生特別選抜については１０６～１０８ページを必ず確認してください。

（１）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和９年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者
（３）学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和９年３月３１日までにこれに該当する見込みの者
（詳細については，大学入試センターから６月頃公表される「令和９年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験案内」の出願の項を参照してください。）
（４）本学において，入学資格認定書の交付を受けた者

〇上記（４）の入学資格審査を希望する者は，琉球大学入学資格審査申請要項を確認の上，令和８年８月３１日（月）までにあらかじめ本学入試課へ相談してください。総合型選抜は７月２４日（金）までに入試課へ相談してください。

入学資格審査申請要項及び入学資格認定交付申請書：
https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/infomation/nyugakushikakushinsa/
【入学資格審査申請関係書類の提出期限：令和８年９月７日（月）（総合型選抜Ⅰ・Ⅱは７月３１日（金））】

【４】入学者選抜の概要

（１）一般選抜（前期日程・後期日程）

共通テストの成績，個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合判定して，入学者を選抜します（それぞれの学部の「１．一般選抜（前期日程・後期日程）令和９年度入学者選抜の実施教科・科目等」を参照）。

（２）特別選抜

①　総合型選抜

ア　総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

学部名	学科等名
教育学部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻，教科教育専攻（国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，保健体育専修，技術教育専修，生活科学教育専修，英語教育専修）
工学部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース，電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）

イ　総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

学部名	学科等名
農学部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科

上記ア・イともに，入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を総合判定して入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

② 学校推薦型選抜

※国公立大学の学校推薦型選抜は，共通テストを課すもの及び課さないものを含め，1つの大学・学部にしか出願できません。

ア－１ 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

学部名	学科等名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース・夜間主コース）
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
農学部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

ア－２ 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」

学部名	学科等名
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修

上記ア－１・２の学部・学科等において，高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストを免除し，個別学力検査等の成績を総合判定して入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

イ 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

学部名	学科等名
人文社会学部	国際法政学科（法学プログラム，政治・国際関係学プログラム），人間社会学科（哲学プログラム，心理学プログラム，社会学プログラム），琉球アジア文化学科
教育学部	学校教育教員養成課程　小学校教育コース　学校教育専攻，特別支援教育コース 特別支援教育専攻　特別支援教育専修
理学部	物質地球科学科（物理系・地球環境系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医学部	医学科，保健学科
工学部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース， 電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）

上記イの学部・学科等において，高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，各学部が定める個別学力検査等の成績を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

③ 社会人特別選抜

学部名	学科等名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（夜間主コース）
工学部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース， 電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）

上記③の学部・学科等においては，共通テストを免除し，各学部が定める個別学力検査等の成績，志願理由書を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

④　帰国生徒特別選抜

学　部　名	学　　科　　等　　名
人 文 社 会 学 部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース）
理　　学　　部	物質地球科学科（物理系・地球環境系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医　　学　　部	保健学科
農　　学　　部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

上記④の学部・学科等においては，共通テストを免除し，各学部が定める個別学力検査等の成績，成績証明書（調査書）を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照)。

⑤　私費外国人留学生特別選抜

学　部　名	学　　科　　等　　名
人 文 社 会 学 部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース）
理　　学　　部	数理科学科，物質地球科学科（物理系・地球環境系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医　　学　　部	保健学科
工　　学　　部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース， 電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）
農　　学　　部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

上記⑤の学部・学科等においては，共通テストを免除し，独立行政法人日本学生支援機構が令和７年６月・１１月及び，令和８年６月に実施した「日本留学試験」のいずれかの成績及び個別学力検査等の成績等を総合判定して，入学者を選抜します（１０６～１０８ページを参照)。

【5】令和９年度入学者選抜方法等

（１）入学者選抜方法等（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜）

学部・学科等 ＼ 選抜方法等						個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生選抜						個別学力検査等の日程	備考
						個別学力検査を課す	実技検査等				２段階選抜		個別学力検査を課す	実技検査等				募集人員		欠員の補充の方法等
							実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	共通テストの成績により第１次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第１次段階の選抜による合格者の定員に対する倍率		実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す		
人文社会学部	国際法政学科				前期	○	×	×	×	×	実施しない		実施しない						2月25日	追加合格を実施して，なお欠員がある場合には，欠員補充第２次募集を行うことがある
					後期	×	×	×	○	×									3月12日	
	人間社会学科				前期	×	×	×	○	×									2月25日	
					後期	×	×	○	×	×									3月12日	
	琉球アジア文化学科				前期	×	×	○	○	×									2月25日 2月26日	
					後期	×	×	○	×	×									3月12日	
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)		前期	○	×	×	×	×	実施しない		実施しない						2月25日	
					後期	×	×	×	○	×									3月12日	
			(論理的思考系)		前期	×	×	×	○	×									2月25日	
					後期	×	×	×	○	×									3月12日	
			(数学的思考系)		前期	○	×	×	×	×									2月25日	
	夜間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)		前期	○	×	×	×	×									2月25日	
					後期	×	×	×	○	×									3月12日	
			(論理的思考系)		前期	×	×	×	○	×									2月25日	
					後期	×	×	×	○	×									3月12日	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻		前期	×	×	○	○	×	実施しない		実施しない						2月25日 2月26日 注3，4，6参照	
		小学校教育コース・中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	前期	○	×	○	×	×										
				社会科教育専修	前期	×	×	○	○	×										
				数学教育専修	前期	○	×	○	×	×										
				理科教育専修	前期	○	×	○	×	×										
				音楽教育専修	前期	○	○	○	×	×										
				美術教育専修	前期	○	○	○	×	×										
				保健体育専修	前期	×	○	○	×	×										
				技術教育専修	前期	○	×	○	×	×										
				生活科学教育専修	前期	×	×	○	○	×										
				英語教育専修	前期	○	×	○	×	×										
		特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	前期	×	×	○	×	×										

学部・学科等 ＼ 選抜方法等			個別学力検査等								専門高校・総合学科卒業生選抜						個別学力検査等の日程	備考
			個別学力検査を課す	実技検査等				２段階選抜			個別学力検査を課す	実技検査等				募集人員		欠員の補充の方法等
				実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	共通テストの成績により第１次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第１次段階の選抜による合格者 定員に対する倍率	その他		実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す			
理学部	数理科学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない			実施しない						2月25日	追加合格を実施して，なお欠員がある場合には，欠員補充第２次募集を行うことがある
		後期	○	×	×	×	×										3月12日	
	物質地球科学科	前期	○	×	×	×	×										2月25日	
		後期 物理系	×	×	×	×	×										注5参照	
		後期 地球環境系	×	×	×	○	×										3月12日	
	海洋自然科学科	前期	○	×	×	×	×										2月25日	
		後期 化学系	×	×	×	×	×										注5参照	
		後期 生物系	×	×	×	○	×										3月12日	
医学部	医学科	前期	○	×	○	×	×	○	約5倍	×	実施しない						2月25日 2月26日	
		後期	×	×	○	○	×	○	約10倍	×							3月12日	
	保健学科	前期	○	×	○	×	×	実施しない									2月25日 2月26日	
		後期	×	×	○	○	×										3月12日	
工学部	工学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない			実施しない						2月25日	
		後期	×	×	×	×	×										注5参照	
農学部	亜熱帯地域農学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない			実施しない						2月25日	
		後期	×	×	○	×	×										3月12日	
	亜熱帯農林環境科学科	前期	○	×	×	×	×										2月25日	
		後期	×	×	○	×	×										3月12日	
	地域農業工学科	前期	○	×	×	×	×										2月25日	
		後期	×	×	○	×	×										3月12日	
	亜熱帯生物資源科学科	前期	○	×	×	×	×										2月25日	
		後期	×	×	○	×	×										3月12日	
	健康栄養科学コース	前期	○	×	×	×	×										2月25日	

注：

1．○印は実施する，×印は実施しないことを表します。
2．後期日程の人文社会学部琉球アジア文化学科の個別学力検査は，「口頭試問」を行います。
3．前期日程の教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース・中学校教科教育コース教科教育専攻（音楽教育専修・美術教育専修・保健体育専修）の試験実施方法は，「８．実技検査等実施方法（教育学部）」（５５～５６ページ）を参照すること。
4．教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース・中学校教科教育コース教科教育専攻（英語教育専修）の面接は，一部英語による面接試験を行います。
5．後期日程の選抜で個別学力検査及び実技検査等を課さない場合は，共通テストの成績及び調査書の内容を総合して判定します。
6．教育学部の個別学力検査等の日程については，一部予備日を含みますので一般選抜学生募集要項を確認してください。

（2）特別選抜の概要

学部・学科等 ＼ 選抜方法等				学校推薦型選抜							総合型選抜		帰国生徒・社会人・私費外国人留学生のための特別選抜			備考
				入学定員の一部について，出身高校等の長の推薦に基づき，学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。												
				推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実技検査等				募集人員	Ⅰ	Ⅱ				
				個別学力検査及び共通テストを免除する	個別学力検査を免除し共通テストを課す	実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す		共通テストを課さない	共通テストを課す	帰国生徒	社会人	私費外国人留学生	
人文社会学部	国際法政学科		法学プログラム	×	○	×	○	○	×	10名	×	×	○	×	○	
			政治・国際関係学プログラム	×	○	×	○	○	×	10名	×	×	○	×	○	
	人間社会学科		哲学プログラム	×	○	×	○	○	×	5名	×	×	○	×	○	
			心理学プログラム	×	○	×	○	○	×	8名	×	×	○	×	○	
			社会学プログラム	×	○	×	○	○	×	8名	×	×	○	×	○	
	琉球アジア文化学科			×	○	×	○	○	×	9名	×	×	○	×	○	
国際地域創造学部	昼間主コース		国際地域創造学科	○	×	×	○	○	×	50名	×	×	○	×	○	
	夜間主コース		国際地域創造学科	○	×	×	○	○	×	13名	×	×	×	○	×	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻	×	○	×	○	○	×	※1 10名	○	×	×	×	×	
		中学校教育コース 教科教育専攻	国語教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			社会科教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			数学教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			理科教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			音楽教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			美術教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			保健体育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			技術教育専修	○	×	×	○	×	×	2名	×	×	×	×	×	
			生活科学教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			英語教育専修	○	×	×	○	×	×	1名	×	×	×	×	×	
		特別支援教育コース 特別支援教育専攻	特別支援教育専修	×	○	×	○	×	×	3名	×	×	×	×	×	
理学部	数理科学科			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	物質地球科学科		物理系	×	○	×	○	×	×	5名	×	×	○	×	○	
			地球環境系	×	○	×	○	×	×	3名	×	×	○	×	○	
	海洋自然科学科		化学系	×	○	×	○	×	×	14名	×	×	○	×	○	
			生物系	×	○	×	○	×	×	1名	×	×	○	×	○	
医学部	医学科			×	○	×	○	○	×	※2 7名	×	×	×	×	×	
	保健学科			×	○	×	○	×	×	9名	×	×	○	×	○	

学部・学科等 ＼ 選抜方法等			学校推薦型選抜							総合型選抜		帰国生徒・社会人・私費外国人留学生のための特別選抜			備考
			入学定員の一部について，出身高校等の長の推薦に基づき，学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。												
			推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実技検査等				募集人員	Ⅰ	Ⅱ				
			個別学力検査及び共通テストを免除する	個別学力検査を免除し共通テストを課す	実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す		共通テストを課さない	共通テストを課す	帰国生徒	社会人	私費外国人留学生	
工学部	工学科	機械工学コース	×	○	×	○	×	×	11名	○	×	×	○	○	
		エネルギー機械工学コース	×	○	×	○	×	×	7名	○	×	×	○	○	
		電気システム工学コース	×	○	×	○	×	×	9名	○	×	×	○	○	
		電子情報通信コース	×	○	×	○	×	×	7名	○	×	×	○	○	
		環境都市工学コース	×	○	×	○	×	×	10名	○	×	×	○	○	
		建築学コース	×	○	×	○	×	×	10名	○	×	×	○	○	
		知能情報コース	×	○	×	○	×	×	14名	○	×	×	○	○	
農学部	亜熱帯地域農学科		○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○	
	亜熱帯農林環境科学科		○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○	
	地域農業工学科		○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○	
	亜熱帯生物資源科学科		○	×	×	○	○	×	6名	×	○	○	×	○	
		健康栄養科学コース	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	

※1　沖縄県内地域指定推薦２名，一般推薦８名。
※2　募集人員の詳細については，５ページ参照。

【6】学校推薦型選抜の推薦人員

<table>
<tr><th>学部</th><th colspan="5">学科等</th><th colspan="2">推薦人員</th></tr>
<tr><td rowspan="8">人文社会学部</td><td colspan="2" rowspan="2">国際法政学科</td><td>法学プログラム</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内。</td></tr>
<tr><td>政治･国際関係学プログラム</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">人間社会学科</td><td>哲学プログラム</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内。</td></tr>
<tr><td>心理学プログラム</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき５名以内。</td></tr>
<tr><td>社会学プログラム</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内。</td></tr>
<tr><td colspan="3">琉球アジア文化学科</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">国際地域創造学部</td><td>昼間主コース</td><td colspan="2">国際地域創造学科</td><td colspan="3" rowspan="2">各高等学校等の長が推薦できる人数は，１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき昼間主は６名，夜間主は３名以内とします。ただし，専門高校卒業生枠については，昼間主は２名，夜間主は２名以内とし，専門高校卒業生枠は内数とします。</td></tr>
<tr><td>夜間主コース</td><td colspan="2">国際地域創造学科</td></tr>
<tr><td rowspan="4">教育学部</td><td rowspan="4">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="2">小学校教育コース</td><td colspan="2" rowspan="2">学校教育専攻</td><td>①沖縄県内地域指定推薦</td><td>１高等学校等（定時制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td>②一般推薦</td><td>１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中学校教育コース</td><td rowspan="2">教科教育専攻</td><td>技術教育専修</td><td colspan="2" rowspan="3">各専修とも１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td>英語教育専修</td></tr>
<tr><td>特別支援教育コース</td><td>特別支援教育専攻</td><td>特別支援教育専修</td></tr>
<tr><td rowspan="4">理学部</td><td colspan="2" rowspan="2">物質地球科学科</td><td>物理系</td><td colspan="3" rowspan="4">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td>地球環境系</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">海洋自然科学科</td><td>化学系</td></tr>
<tr><td>生物系</td></tr>
<tr><td>医学部</td><td colspan="4">医学科</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内。</td></tr>
<tr><td>医学部</td><td colspan="4">保健学科</td><td colspan="3">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">工学部</td><td colspan="3" rowspan="8">工学科</td><td>機械工学コース</td><td colspan="3" rowspan="8">１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。</td></tr>
<tr><td>エネルギー機械工学コース</td></tr>
<tr><td>電気システム工学コース</td></tr>
<tr><td>電子情報通信コース</td></tr>
<tr><td>環境都市工学コース</td></tr>
<tr><td>建築学コース</td></tr>
<tr><td>知能情報コース</td></tr>
<tr><td rowspan="4">農学部</td><td colspan="4">亜熱帯地域農学科</td><td colspan="3" rowspan="4">各学科とも１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内。ただし，１高等学校等から農学部に推薦可能な人数は５名以内とします。</td></tr>
<tr><td colspan="4">亜熱帯農林環境科学科</td></tr>
<tr><td colspan="4">地域農業工学科</td></tr>
<tr><td colspan="4">亜熱帯生物資源科学科(健康栄養科学コースを除く)</td></tr>
</table>

【7】令和９年度入学者選抜の実施教科・科目等

○「１. 一般選抜（前期日程・後期日程）令和９年度入学者選抜の実施教科・科目等」の読み方・留意事項

【共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名の略記について】

共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名は，以下のとおり略記しています。

大学入学共通テスト

教　　科	新教育課程による出題科目
国語→国	『国語』→『国』
地理歴史→地歴	『地理総合，地理探究』→『地総，地探』，『歴史総合，日本史探究』→『歴総，日探』， 『歴史総合，世界史探究』→『歴総，世探』， 『地理総合／歴史総合／公共』→『地総／歴総／公共』 『公共，倫理』→『公，倫』，『公共，政治・経済』→『公，政・経』
公民→公民	
数学→数	『数学Ⅰ，数学A』→『数Ⅰ，数A』，『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』， 『数学Ⅱ，数学B，数学C』→『数Ⅱ，数B，数C』
理科→理	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→『物基／化基／生基／地基』 『物理』→『物理』，『化学』→『化学』，『生物』→『生物』，『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』，『ドイツ語』→『独』， 『フランス語』→『仏』，『中国語』→『中』， 『韓国語』→『韓』
情報→情	『情報Ⅰ』→『情報Ⅰ』

個別学力検査

教　　科	科　　目
国語→国	『国語』→「国」
数学→数	『数学（甲)』→「数（甲)」，『数学（乙)』→「数（乙)」，『数学』→「数」
理科→理	『物理基礎』→「物基」,『化学基礎』→「化基」,『生物基礎』→「生基」,『地学基礎』→「地基」 『物理』→「物理」，『化学』→「化学」，『生物』→「生物」，『地学』→「地学」
外国語→外	『英語』→「英」

１．各学部・学科等共通

（１）地理歴史・公民及び理科の試験時間において２科目を受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とします。

（２）地歴･公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

（３）**本学が指定している教科，科目以外を「第１解答科目」としている場合は，その科目を利用できなくなり，受験資格がなくなります。**

（４）理科の「基礎を付した科目」とは『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指し，いずれか２つを選択解答して１科目とします。

また，「基礎を付していない科目」とは『物理』，『化学』，『生物』，『地学』を指します。

同一名称を付した科目，すなわち物理基礎と物理，化学基礎と化学，生物基礎と生物，地学基礎と地学を選択することは認めません。

（５）『英語』は，リーディングとリスニングが一体型となります。

2．共通テストの利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する共通テストの利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
地理歴史・公民から１科目を選択する。	**地理歴史・公民から２科目**を受験した場合は，受験した科目のうち「第１解答科目」の得点を採用します。
数学から１科目を選択する。	**数学から２科目**を受験した場合は，受験した科目のうち，高得点の１科目を採用します。
理科の「基礎を付していない科目」から１科目を選択する。 理科の「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」から１科目を選択する。	理科から２科目を受験した場合は，受験した科目のうち「第１解答科目」の得点を採用します。
地理歴史・公民及び数学から２科目を選択する。 ＊人文社会学部　国際法政学科　後期日程 ＊人文社会学部　国際法政学科　学校推薦型選抜Ⅱ ＊国際地域創造学部（夜間主コース） 国際地域創造学科　後期日程	**地理歴史・公民及び数学から３科目以上**受験した場合は，**地理歴史・公民の「第１解答科目」の得点を採用後**，地理歴史・公民の「第２解答科目」の得点若しくは数学の得点のうち，高得点の１科目を採用します。

【「個別学力検査等」欄について】

教科・科目	出題範囲
国語	現代の国語，言語文化
数学(甲)	**数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C** 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａは全範囲 数学Ｂは「数列」 数学Ｃは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。 ※理学部数理科学科が後期日程において課す「数学」の出題範囲は，数学（甲）の出題範囲と同一とします。
数学(乙)	**数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ** 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａは全範囲 数学Ｂは「数列」 数学Ｃは「ベクトル」を出題範囲とします。
物理基礎・物理	物理基礎と物理をあわせた範囲から出題します。
化学基礎・化学	化学基礎と化学をあわせた範囲から出題します。
生物基礎・生物	生物基礎と生物をあわせた範囲から出題します。
地学基礎・地学	地学基礎と地学をあわせた範囲から出題します。
英語	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ

【「共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄について】

1．「配点に＊印を付してある教科」は選択教科を表します。

2．外国語『英語』の配点比率について

（1）共通テストにおける外国語（英語）の【リーディング】と【リスニング】の配点比率については，原則として全学部１：１とし（教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース・中学校教育コース教科教育専攻社会科教育専修のみ３：１），その合計得点を各学部等の定める外国語の配点に換算して利用します。

（2）【リスニング】を受験しなかった場合の取扱いについては，【リスニング】は０点扱いとし，リーディングの得点のみを利用します。

（3）受験上の配慮によって【リスニング】受験を免除された者については【リーディング】の得点を利用して換算します。

【前年度の共通テストの成績利用について】

本学では，令和９年度入学者選抜において，前年度の共通テストの成績は利用しません。

【８】障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者，疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は，あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項について，本学において検討し，その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は，記載事項を確認のうえ，同封の書類をご返送ください。

また，上記手続きには２～３週間を要します。合理的配慮の内容によっては対応にさらなる時間を要する場合があります。

なお，相談の内容によっては，本学の試験までに対応できず，配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので，可能な限り早めに相談してください。事前相談は随時受け付けております。

（１）申請期限

選抜区分	期限（消印有効）
総合型選抜	令和８年　７月２４日（金）
学校推薦型選抜，社会人特別選抜（令和８年１２月試験実施）， 帰国生徒特別選抜（令和８年１２月試験実施），私費外国人留学生特別選抜	令和８年１０月１６日（金）
一般選抜，社会人特別選抜（令和９年２月試験実施）， 帰国生徒特別選抜（令和９年２月試験実施）	令和８年１２月１８日（金）

※申請期限後の書類については受理しませんのでご注意ください。

※共通テストで受験上の配慮申請が認められた場合でも，本学の障がい学生支援室へ申請が必要です。

なお，期限後に本学を志望することになった場合及び不慮の事故等により，障がいを有することとなった場合は，その時点で速やかに相談してください。

（２）申請方法

以下の書類を障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）

②「医師からの意見書」（本学指定の様式）

③ その他相談する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は，本学障がい学生支援室ホームページ（https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/）「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※共通テストで受けた配慮が分かる資料（配慮決定通知文の写し等）があれば提出してください。

※必要に応じて，追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は，本学において志願者，保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：琉球大学障がい学生支援室
〒９０３－０２１３　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
電話 ０９８－８９５－８７５０　　ＦＡＸ ０９８－８９５－８７９１
E-mail g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

【９】入試情報開示に関する事項

（１）入学試験問題及び解答例又は出題意図等

本学個別学力検査等の試験問題については，当該試験終了後，報道機関に提供します。

また，著作権法に抵触しない試験問題等については，令和９年５月頃に本学ホームページ（[入試情報]→[入試データ・過去問]）に掲載します。

著作権法に抵触する試験問題については，令和９年６月以降に，大学にて閲覧することができます。閲覧方法の詳細については，入試課にお問い合わせください。

（２）志願状況，合格者の成績（合格者の最高点，最低点，平均点）

各選抜における志願状況や，合格者の成績（大学入学共通テストと個別学力検査の総合点の最高点，最低点，平均点）を令和９年５月頃に本学ホームページ（[入試情報]→[入試データ・過去問]）に掲載します。

ただし，合格者が少人数の学科等については，公表しない場合があります。

（３）試験成績開示

令和９年度入学者選抜に係る個人成績を，本学ホームページ（入試情報）個人成績開示サイトで，出願時に試験成績開示を希望した方に開示します。詳細については，各学生募集要項に掲載します。

【１０】学生募集要項の発表時期について

学生募集要項の発表時期

出願手続，出願書類，個別学力検査等の実施日時及び試験場等を記載した「学生募集要項」を以下のとおり発表する予定です。

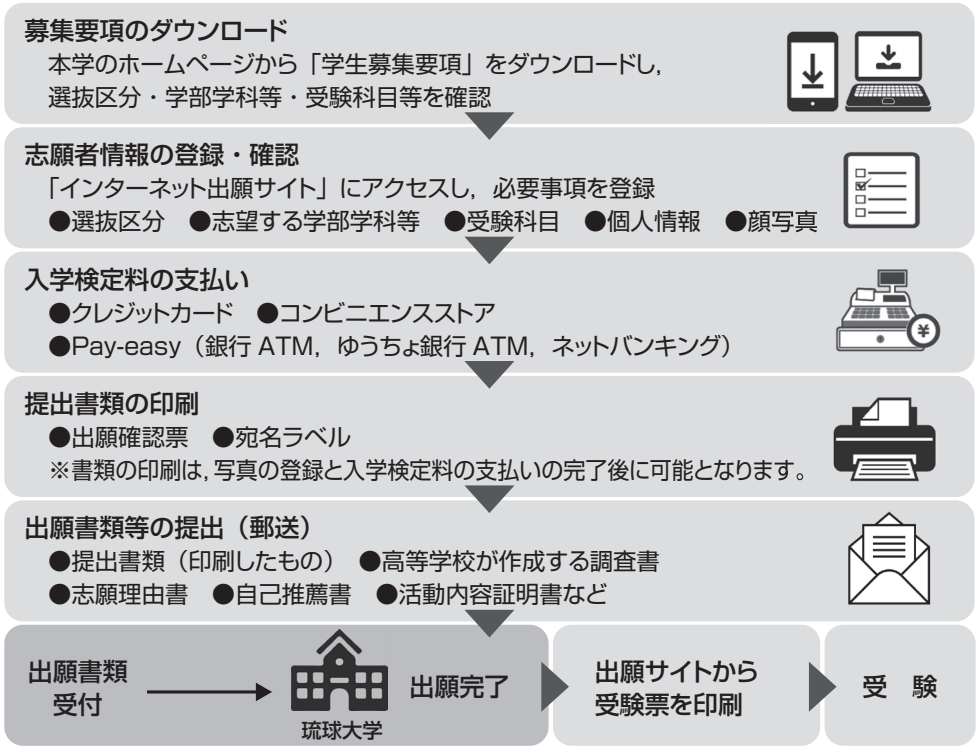
※本学ホームページ→[入試情報]で発表します。受験する選抜の学生募集要項を必ず確認してください。

学生募集要項	発表時期
総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）学生募集要項	令和８年　６月下旬
総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）学生募集要項	
学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）学生募集要項	令和８年　９月下旬
学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）学生募集要項	
社会人特別選抜学生募集要項	
帰国生徒特別選抜学生募集要項	
私費外国人留学生特別選抜学生募集要項	
一般選抜学生募集要項	令和８年１２月上旬

【１１】出願方法について

琉球大学では，インターネット出願を実施しています。インターネット出願とは，インターネット出願サイトで志願者情報の登録を行って入学検定料を支払い，印刷した出願書類等を本学へ郵送することをいいます。インターネット出願サイトで志願者情報を登録するだけでは出願となりませんのでご注意ください。なお，各選抜区分の学生募集要項を本学ホームページに掲載します。インターネット出願サイトでの志願者情報登録前に各学生募集要項を必ず確認してください。

【出願の流れ】



《インターネット出願サイト》
https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/
琉球大学入試情報ページ内「インターネット出願サイト」からアクセスできます。

インターネット出願サイトで登録できる期間は，次のページに記載しています。
＊登録期間以外は，登録できません。

《インターネット出願登録方法ガイド》
出願登録前に，本ガイドを必ずご参照ください。
https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/how/

【出願の注意点】

インターネット出願サイトで登録後，入学検定料を支払い，出願書類等を本学へ郵送・受理されることで出願完了となりますので，ご注意ください。郵送した出願書類等の受付処理後，**本学が指定する期日に受験票を出願サイトに掲載します。受験票は自身でプリントアウトし，試験当日に必ず持参してください。受験票がダウンロード可能となる日付は，それぞれの選抜区分の「学生募集要項」で確認してください。**

※受験票の郵送はありません。

【１２】「大学案内」の請求について

令和８年５月に発行された大学案内は，以下の方法で請求できます。

《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）

①　本学ホームページから請求する場合

本学ホームページから テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。
詳しくは，本学ホームページ（https://www.u-ryukyu.ac.jp →［入試情報 リンク集］）をご覧ください。

②　インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）で請求する場合

インターネット （パソコン・スマートフォン携帯電話）	**https://telemail.jp** パソコン・携帯電話とも共通アドレス	携帯電話でバーコードを読み取り，アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

③　テレメールでの請求方法に関する注意事項

〇発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり，発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は，発送開始日の翌日から３日程で資料が届きます。

〇発送開始日以降に請求された資料は請求してから２～３日程で届きます。ただし，受付日時や地域，配達事情によっては，４日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお，**５日以上経っても届かない場合は，次頁テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。**

〇送料はお届けする資料に同封されている支払方法に従い，表示料金をお支払いください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒のお支払い）」がご利用になれます。なお，支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので，あらかじめご了承ください。

〇請求時期によっては資料がなくなり，早期終了する場合がありますのであらかじめご了承ください。

テレメールでの請求方法についてのお問い合わせ先：

テレメールカスタマーセンター　IP電話　０５０－８６０１－０１０２（９：３０～１８：００）

《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）

① 本学のホームページから請求する場合

本学ホームページからモバっちょを利用して大学案内及び選抜要項等の資料が請求できます。詳しくは，本学ホームページ（[入試情報リンク集]）をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）で請求する場合

https://djc-mb.jp/u-ryukyu3/

パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレス

※携帯電話の機種等によっては，利用できない場合があります。

※支払い方法は，携帯電話の場合は通話料金と一緒のお支払い，パソコンの場合はクレジットカード決済のみとなります。

モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせ先：

モバっちょカスタマーセンター　０５０－３５４０－５００５（平日１０：００～１８：００）

【１３】全学部の基本的な合否判定基準

※受験を希望する学部の合否判定基準については，各学部のページを確認してください。

一般選抜

○共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点により，上位から順次合格者とします。
○共通テスト及び個別学力検査等のいずれか１科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

○個別学力検査等の成績の総合得点により，上位から順次合格者とします。
○個別学力検査等のいずれか１科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

○共通テスト及び個別学力検査等のいずれか１科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

○個別学力検査等の成績の総合得点により，上位から順次合格者とします。
○個別学力検査等のいずれか１科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

○共通テストの成績と個別学力検査等の成績等，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。（ただし，人文社会学部国際法政学科政治・国際関係学プログラム，人間社会学科，教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻を除く）
○共通テスト及び個別学力検査等のいずれか１科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

社会人特別選抜

○個別学力検査等の成績の総合得点により，上位から順次合格者とします。
○個別学力検査等（実技検査，小論文，面接等を含む）のいずれか１科目でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

帰国生徒特別選抜

○個別学力検査等の成績の総合得点により，上位から順次合格者とします。
○個別学力検査等（実技検査，小論文，面接等を含む）のいずれか１科目でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

私費外国人留学生特別選抜

○日本留学試験及び個別学力検査等の成績の総合得点により，上位から順次合格者とします。
○日本留学試験及び個別学力検査等（実技検査，小論文，面接等を含む）のいずれか１科目でも欠席又は０点の者については，不合格とします。

【１４】各学部の入学者選抜について

医　学　部

医学部では，次の入学者選抜方法を実施します。

医学科

（１）一般選抜（前期日程・後期日程）

（２）学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

保健学科

（１）一般選抜（前期日程・後期日程）

（２）学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

（３）帰国生徒特別選抜

（４）私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・（選抜方式）等	入学定員（名）	募集人員（名）								
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人
			分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
			前期日程	後期日程							
医学部	医学科	100	70	23				7			
	保健学科	60	41	10				9		若干名	若干名
	計	160	111	33				16			

注：医学部医学科の学校推薦型選抜（共通テストを課す）の募集人員については，５ページを参照してください。

１．一般選抜（前期日程・後期日程）…… ７８ページ
２．学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…… ７９～８０ページ
３．帰国生徒特別選抜…… ８１ページ
４．私費外国人留学生特別選抜…… ８２ページ
５．個別学力検査等の採点・評価基準…… ８２～８３ページ
６．合否判定基準…… ８３ページ
７．２段階選抜（医学部医学科）…… ８４ページ
８．募集人員の留意事項…… ８４ページ

各選抜の出願手続，出願書類，個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については，「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（２１ページ参照）

1．一般選抜（前期日程・後期日程）

令和９年度入学者選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査区分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
医学科	前期	国	『国』	200	外	英	200	
		地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『地総／歴総／公共』**(注)** 『公，倫』，『公，政・経』	100 から１	数	数（甲）	200	
		数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200	理	[物基・物理]，[化基・化学]，[生基・生物]から２	200	
		理	『物理』，『化学』，『生物』から２	200				
		外	『英』	200	その他	面接	200	
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計		1,000	配点合計		800	1,800
	後期	国	『国』	200	その他	小論文	100	
		地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『地総／歴総／公共』**(注)** 『公，倫』，『公，政・経』	100 から１		面接	200	
		数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200				
		理	『物理』，『化学』，『生物』から２	200				
		外	『英』	300				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計		1,100	配点合計		300	1,400
保健学科	前期	国	『国』	300	数	数（甲）	100	
		地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『地総／歴総／公共』**(注)** 『公，倫』，『公，政・経』	100 から１	理	[物基・物理]，[化基・化学]，[生基・生物]から１	200	
		数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200	その他	面接	100	
		理	『物理』，『化学』，『生物』から２	200				
		外	『英』	300				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計		1,200	配点合計		400	1,600
	後期	国	『国』	300	その他	小論文	100	
		地歴 公民	『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』 『地総／歴総／公共』**(注)** 『公，倫』，『公，政・経』	100 から１		面接	200	
		数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	200				
		理	『物理』，『化学』，『生物』から２	200				
		外	『英』	300				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計		1,200	配点合計		300	1,500

(注) 地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

2．学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は，共通テストを課すもの及び課さないものを含め，１つの大学・学部にしか出願できません。
※入学定員の増加が認められた場合，詳細について，本学ホームページ等で公表します。（5ページ参照）

実施学部・学科等	医学部　医学科
募集人員	７　名
出願要件	次の（１）～（６）に該当する者 （１）沖縄県の高等学校等(＊)在学中に沖縄県に居住し，令和７年４月１日以降に沖縄県の高等学校等を卒業した者及び令和９年３月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けた者 （２）沖縄県内離島地域（石垣市，宮古島市，久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村，今帰仁村，本部町，名護市，宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者 （３）沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり，かつ沖縄県が貸与する地域医療従事医師確保修学資金の受給を確約できる者 （４）人物，学力ともに優れ，高等学校における全体の学習成績の状況が４．３以上の者 （５）合格した場合は，入学することを確約できる者 （６）入学後は，沖縄県(地域枠)キャリア形成卒前プランの適用を受け，医師免許取得後は，沖縄県地域枠キャリア形成プログラムに従うことを確約できる者 ※地域医療従事医師確保修学資金の概要 本選抜での入学者全員に対し，沖縄県が学費，生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。 入学者は，卒業までの６年間修学資金を受給する必要があります。 大学卒業後は，沖縄県地域枠キャリア形成プログラムのもとで原則として琉球大学病院にて臨床研修医として勤務し，その後は沖縄県知事が指定する医療機関に医師として一定期間勤務していただきます。専攻する診療科によって異なりますが，臨床研修を合せて９～１４年間勤務していただきます（うち離島・北部の医療機関に４年間）。この場合，修学資金貸与額の全額の返還が免除されます。 (参考) 沖縄県地域枠キャリア形成プログラム (https://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2026/04/eeb5cf760fbf81eae273549413a1d0f9.pdf) 沖縄県(地域枠)キャリア形成卒前プラン (http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2024/01/b3599274a739942fb2f4e1ec3adfc0e2.pdf) 沖縄県医師修学資金貸与規則 (https://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2025/10/654eb8d337ac44c03cfd58dce11e3f51.pdf)
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。 **○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目）** 教科：科目等 国：『国』 地歴：『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』，『地総／歴総／公共』**（注１）** 公民：『公，倫』，『公，政・経』から１ 数：『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』 理：『物理』，『化学』，『生物』から２ 外：『英』 情：『情報Ⅰ』 **（注１）**地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。 **○個別学力検査等** ・小論文 ・面接
出願期間	令和８年１１月　１日（日）～１１月　６日（金）
選抜期日	令和８年１２月　２日（水）
合格発表	令和９年　２月　９日（火）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は，１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき３名以内

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

<table>
<tr><td>実施学部・学科等</td><td>医学部　保健学科</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>9　名（うち専門高校・総合学科卒業生枠１名）</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td>次の（1）～（4）に該当する者
（1）高等学校等(*)を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者
（2）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
なお，全体の学習成績の状況が４．３以上の者
（3）合格した場合は，入学することを確約できる者
（4）専門高校・総合学科卒業生枠にあっては，高等学校の総合学科を令和９年３月卒業見込みの者で福祉及び看護関係科目を２０単位以上履修した者又は履修見込みの者又は看護関係学科を令和９年３月卒業見込みのもの</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td>高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。

○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目）
<table><tr><th>教科</th><th>科目等</th></tr><tr><td>国</td><td>『国』</td></tr><tr><td>地歴
公民</td><td>『地総，地探』，『歴総，日探』，『歴総，世探』，『地総／歴総／公共』（注１）
『公，倫』，『公，政・経』から１</td></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物理』，『化学』，『生物』から2</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>（注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか２つを選択解答し，１科目とします。

○個別学力検査等
・面接
・調査書</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>令和８年１１月　１日（日）～１１月　６日（金）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td>令和８年１２月　２日（水）</td></tr>
<tr><td>合格発表</td><td>令和９年　２月　９日（火）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>各高等学校等の長が推薦できる人数は，１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名内</td></tr>
</table>

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

３．帰国生徒特別選抜

実施学部・学科等	医学部　保健学科
募集人員	若干名
出願要件	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で，保護者の海外勤務等の事情により外国に２年以上滞在しており，次のいずれかに該当するもの。ただし，令和７年３月３１日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は，出願を認めない。 （１）学校教育における１２年の課程を修了した者又は令和９年３月３１日までに修了見込みの者で，原則として，外国において最終学年を含め，２年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし，外国に設置されたものであっても，日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は，「２年以上」という期間には算入しない。）もしくは外国において当該国における１２年の課程修了相当の学力認定試験に合格し，令和９年３月３１日までに１８歳に達する者 （２）外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者，フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を取得した者 （３）本学において，個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（３）に該当する志願者は，１０ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し，成績証明書（調査書），小論文及び面接を総合して行います。
出願期間	令和８年１１月　１日（日）～１１月　６日（金）
選抜期日	令和８年１２月　２日（水）
合格発表	令和９年　２月　９日（火）
その他	１．出願書類 （１）出願確認票，卒業（修了）証明書又は同見込み証明書，成績証明書，身上記録，保護者の在外勤務などに関する証明書等 （２）国際バカロレア資格を取得した者は，その証明書の写しと最終試験６科目の成績評価証明書 （３）アビトゥア資格を取得した者は，一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し （４）バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は，その証明書の写し （５）ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は，成績評価証明書 ※　外国の学校又は機関が作成する書類について，日本語以外の場合は，日本語訳を添付すること。 ※　表彰を受けた者は，関係書類の写しを添付すること。 ２．本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。

4．私費外国人留学生特別選抜

医学部保健学科では，私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は１０６～１０８ページを参照してください。

5．個別学力検査等の採点・評価基準

①　教科・科目

外国語	○読解問題では，情報や概念などを理解する力，概要や要点を捉える力，文章の論理的な構成を理解する力を語彙，文法，論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では，場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語，英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では，内容，文章構成力，表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり，解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
数　学	○記述式の問題を出題することにより，数学の基本的な知識・技能，論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合，途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物　理	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化　学	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生　物	○生物の基礎的知識に加え，設問の内容を的確に判断し，論理的に記述・表現する力を，総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地　学	○設問の趣旨をよく理解しているか，また，自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などが備わっているかを，総合的に判断，評価します。 ○解答（記述，計算）が完全には正しくない場合でも，理解の度合いに応じた部分点を与えます。

②　教科・科目以外の科目

※「帰国」は帰国生徒特別選抜，「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

ア）医学科

一般選抜	小論文（後期日程）	○思考力，独創性，発想力，表現力等を総合的に評価します。
	面　接	○適性，意欲，表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
学校推薦型選抜Ⅱ	小論文	○思考力，独創性，発想力，表現力等を総合的に評価します。
	面　接	○適性，意欲，表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。

イ）保健学科

一般選抜	小論文（後期日程）	○課題に対する理解力及び文章表現力（論理性，独創性，表現力等）を総合的に評価します。
	面接	○動機，意欲，適性，表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
学校推薦型選抜Ⅱ	面接	○動機，意欲，適性，表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○学力，リーダーシップ，課外活動，表彰等を総合的に評価します。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
帰国	小論文	○課題に対する理解力及び文章表現力（論理性，独創性，表現力等）を総合的に評価します。
	面接	○動機，意欲，適性，表現力等を総合的に評価します。
	成績証明書等（調査書）	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
私費	面接	○動機，意欲，適性，表現力等を総合的に評価します。
	志願理由書	○面接の参考にします。

6．合否判定基準

全学部の基本的な合否判定基準（２４ページ）も併せて参照してください。

ア）医学科

一般選抜	○合格ラインに同点者がいる場合には，次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①個別学力検査等の高得点者 ②共通テストの英語の高得点者 ③共通テストの数学の高得点者 ④共通テストの理科の高得点者 ⑤面接の高得点者
学校推薦型選抜Ⅱ	○合格ラインに同点者がいる場合には，次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①面接の高得点者 ②小論文の高得点者 ③共通テストの外国語の高得点者 ④共通テストの数学の高得点者 ⑤共通テストの理科の高得点者

イ）保健学科

一般選抜	○合格ライン上に同点者がいる場合は，次の順序に従って合格者を決めます。 ①個別学力検査等の高得点者 ②共通テストの英語の高得点者
学校推薦型選抜Ⅱ	○共通テスト，調査書，面接の総合点により判定します。
帰国	○小論文，面接等の評価に基づいて総合的に判定します。
私費	○日本留学試験，面接の評価に基づいて総合的に判定します。

７．２段階選抜（医学部医学科）

医学部医学科（一般選抜（前期日程・後期日程））において，入学志願者が前期日程は募集人員の約５倍，後期日程は募集人員の約１０倍を超えた場合には，共通テストの成績（「令和９年度入学者選抜の実施教科・科目等」（７８ページ参照）の配点による成績）による第１段階選抜を行い，その合格者について個別学力検査等による第２段階選抜を行うことがあります。実施の有無は，本学ホームページ［入試情報］でお知らせします。

８．募集人員の留意事項

（１）定員補充について

①医学科及び保健学科では，学校推薦型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は，満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。

学　科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員を加える選抜区分
医　学　科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）
保 健 学 科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）

②保健学科の前期日程の募集人員には，帰国生徒特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

学　科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
保 健 学 科	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）
	私費外国人留学生特別選抜	

（２）医学科では，入学後，一般コースと地域医療コースの２コースに分かれます。原則として，一般選抜（前期日程・後期日程）により入学した者は一般コース，学校推薦型選抜Ⅱにより入学した者は地域医療コースとなります。２つのコース間では入学者が受講する科目の一部が異なります。各コースの特徴は次の通りです。

一 般 コ ー ス：従来のカリキュラムをベースに，アクティブラーニング科目を受講する。

地域医療コース：従来のカリキュラムを基本としつつ，低学年次からプライマリ・ケアの能力を身に付けるための科目を受講する。

（３）保健学科では，入学後，看護学コース・検査技術学コースの２つのコースに分かれます。なお，看護学コースの学生は，２年次以降に，保健師（１５名程度），または助産師（６名程度）もしくは養護教諭（１０名程度）の免許取得のためのカリキュラムをいずれか１つ選択することができます。選抜にあたっては，入学後の成績等を考慮します。

（４）欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に，追加合格を実施してなお欠員がある場合は，欠員補充第２次募集を行うことがあります。

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医104				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	後学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502170001	医学概論 B		1	
担当教員[ローマ字表記]				
大野　真治, 屋良　さとみ				

授業の形態

講義、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

医師になるための必要な素養は医学知識だけではありません。人間や社会を理解できる、また、科学的にものごとを考えることができるなどは、医師になるための第一歩とも言えます。アメリカでは、生物系、心理系などの学部を卒業後の学生が、医学部に入学し、そして医師になるための勉強を始めます。日本では、最初から医学部に入りますので、最初の1年次の間に教養的な科目として様々な内容を学ぶことになります。この講義では、身体の仕組みや病気など、医学に関する一般的な内容を広く知ってもらうことで、医学を学ぶ気持ちをさらに高め、医学の面白さを知り、医学について幅広く理解してもらうため、医師としての生涯学習への準備としてもらうために開講されています。またさらに、医師は知識や技能等を修め、それを生涯にわたって中断することなく発展させ社会に還元することが求められており、将来のキャリア形成に結び付き参考となるキャリア教育と、医師にとって重要な生命倫理の内容も盛り込まれます。本科目では各担当教員が、その科目に関する実務経験を有しています。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、専門性

達成目標

①人間や社会の中で医療の果たす役割を説明できる。
[U.社会性]『C I. プロフェッショナリズム』
②医学知識を科学的に説明できるような情報を集めることができる。
[U.専門性]『CII.医学知識』
③医学の面白さを知り、医師としての生涯学習への目標が説明できる。
[U.自律性]『C I. プロフェッショナリズム』

⑤様々なキャリアを知ることにより、自らの将来のキャリア形成を具体的に説明できる。
[U.自律性] 『C I. プロフェッショナリズム』
⑥医師に必要な（生命）倫理に関して説明できる。
[U.自律性・社会性] 『C I. プロフェッショナリズム』

評価基準と評価方法

・講義への出席・意見提示：50%（担当者によってはレポート、ミニテスト、アンケート）
・講義受講態度：50%（アンプロフェッショナルな態度の有無を含む）

成績不服申立期間は、成績発表後1週間とする。

履修条件

特になし。

授業計画

時間：1年次 後期：火曜日 7時限目（16：20～17：20）[第8回のみ11/30（月）の7限目]（2026年10月6日～2027年1月19日）

場所：教育棟6階　602講義室

	所属	テーマ	担当者
1	10月 6日	胸部心臓血管外科学講座	医師という仕事～心臓血管外科医の立場から～　古川　浩二郎
2	10月13日	麻酔学講座	麻酔とは　垣花　学
3	10月20日	放射線診断治療学講座	画像でわかるもの　西江　昭弘
4	10月27日	腎泌尿器外科学講座	泌尿器科って何を診る？-排泄・生殖・がんと人間の尊厳　猪口　淳一
5	11月10日	消化器・腫瘍外科学講座	臓器移植について　高槻　光寿
6	11月17日	病院長	医の道のはじまりに立つ君たちへ　鈴木　幹男
7	11月24日	救急医学講座	地球を守る救急医療　梅村　武寛
8	11月30日(月)	医学部長	臨床試験はどうして必要か　中西　浩一
9	12月 1日	地域医療支援センター	それぞれの立場で考える地域医療への関わり方　原永　修作
10	12月 8日	循環器・腎臓・神経内科学講座	医療とAI　楠瀬　賢也
11	12月15日	精神病態医学講座	こどもの心と睡眠　高江洲　義和
12	12月22日	地域・国際医療部	生命倫理　金城　隆展
13	1月 5日	脳神経外科学講座	解剖・生理学は身を助く　浜崎　禎
14	1月12日	感染症・呼吸器・内科学講座	医師とグローバリズム　山本　和子
15	1月19日	女性・生殖医学講座	次世代医師が創る、ジェンダーを超えて力を発揮できる医療組織　銘苅　桂子

※ 1月26日 予備日

事前学習

15回の講義内容に関する内容を各々調べ事前学習する。

事後学習

15回の講義内容に関する内容を復習し、理解を深める。

教科書にかかわる情報

教科書	書名	特に既定のものはなし。			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

教科書全体備考

特になし。

参考書にかかわる情報

参考書	書名	女性医師としての生き方 医師としてのキャリアと人生設計を模索して			ISBN		備考	
	著者名	片井みゆき						
	出版社	じほう	出版年		NCID			

参考書全体備考

特になし。

使用言語

日本語

メッセージ

コアカリキュラムでの位置づけ
A医師として求められる基本的な資質・能力－1 プロフェッショナリズム-１）医の倫理と生命倫理

-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢-1）生涯学習への準備
B 社会と医学・医療－1集団に対する医療-6) 社会・環境と健康、－7）地域医療・地域保健、
－3医学研究と倫理

オフィスアワー

医学教育企画室　屋良さとみ
オフィス・アワー：月・水曜日10～17時
E-mail：f040621@cs.u-ryukyu.ac.jp
Tel：098-894-5542

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医101				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	通年	その他	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502168001	外来患者付添い実習		1	
担当教員[ローマ字表記]				
大野　真治, 屋良　さとみ				

授業の形態

実習

アクティブラーニング

フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ

授業内容と方法

【1年次】
　各科の外来診療に早期学年にて参加し接し、各科の診療を見学し、さらに患者さんやそのご家族の心を察することにより、良医になるためのモチベーションを維持し、より高めるために、医師に紹介頂いた外来患者さんと病院内で終始共に行動し、コミュニケーションを図る。
　本科目では学生が実習により実務に触れることができる。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、コミュニケーション・スキル、専門性

達成目標

①患者さんやご家族の心を察することができる。[U.社会性] 『C IV.コミュニケーション能力』
②医学臨床に関する一般的な内容を知ることができる。[U.専門性] 『CII.医学知識』
③人間や社会の中で医療の果たす役割を説明できる。
[U.社会性] 『C I.プロフェッショナリズム』
④医学の面白さを知り、医師としての生涯学習への準備とすることができる。
[U.自律性] 『C I.プロフェッショナリズム』

評価基準と評価方法

・実習への出席・意見交換（30%）（達成目標 ①②）
・実習レポート（40%）（達成目標 ③④）
・実習の態度（アンプロフェッショナルな態度の有無を含む）（20%）（達成目標 ①③）
・患者さんからのアンケート（10%）

※実習終了後、実習レポートをWebClassにて提出すること
■レポート様式：A４用紙 １枚程度（Word）
※WebClassの使用方法については、「情報基盤統括センター」ホームページ内の
マニュアルを参考にしてください。http://www.cnc.u-ryukyu.ac.jp/
成績不服申立期間は、成績発表後1週間とする。

履修条件

「M1シミュレーション演習」を履修していることが望ましい。

授業計画

実習形式
場所：各科　外来
日時：夏季休暇　2025年8月13日（木）～9月11日（金）の間の１日を選択して行う。

※ 6月3日（水）16：30から実習に関する説明会を行う。（場所：教育棟）

事前学習

・患者さんを案内出来るように、琉球大学病院の外来フロアを（見取り図等にて）把握しておく。（ネット検索等）

事後学習

※実習終了後、実習レポートをWebClassにて提出すること
■レポート様式：A４用紙 １枚程度（Word）
※WebClassの使用方法については、「情報基盤統括センター」ホームページ内の
マニュアルを参考にしてください。http://www.cnc.u-ryukyu.ac.jp/

教科書にかかわる情報

教科書	書名	特に既定のものはなし。			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

教科書全体備考

特になし。

参考書にかかわる情報

参考書	書名	特に既定のものはなし。			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

参考書全体備考

特になし。

使用言語

日本語

メッセージ

・入学時に提示された各種ウイルス抗体価が「陽性」ではない場合、実習説明会までにワクチン接種をしておくこと。

オフィスアワー

医学教育企画室　屋良さとみ
オフィス・アワー：月・水曜日10～17時
E-mail ：　f040621@cs.u-ryukyu.ac.jp
Tel：098-894-5542

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医112				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	後学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502172002	プライマリ・ケア演習 I		2	
担当教員[ローマ字表記]				
大野　真治, 金城　紀与史　[KINJOH]				

授業の形態

講義、演習又は実験、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

※プライマリ・ケア演習 I は「地域医療コース」の必修科目です。
　プライマリ・ケアとは、地域の健康上の問題や疾病に対して、総合的、継続的、全人的に対応する保健・医療・福祉サービスのことを意味します。小グループでのアクティブラーニングを通して、地域医療に携わるにあたり必要とされる態度や医療技術を身につけることが目標です。
　授業は対面式で行います　各回にテーマがあり、講義とグループワーク・ディスカッション、発表が中心となります
　課題も与えられ、発表します
　課題はWebClassを利用して提出します

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

モデルカリキュラム（令和４年度版）のなかの、PRプロフェッショナリズム、GE総合的に患者・生活者をみる姿勢、LL生涯にわたって共に学ぶ姿勢、RE科学的探究、PS専門知識に基づいた問題解決能力、IT情報・科学技術を活かす能力、CS患者ケアのための診療技能、IP多職種連携能力、SO社会における医療の役割の理解を網羅する内容である

とくに、
・グループワーク、チームで学ぶ形式に慣れる
・事後学習、レポート作成の仕方を学ぶ
・答えを与えられるのではなく、答えを探す学び、答えのない学びを行う態度を習得する
・プライマリ・ケア診療で必要とされる技術・態度について説明できる
・症状の背景にある生理学的な異常を説明することができる（基礎医学と臨床医学の接続）
・主要症候へのアプローチから多層的な学習態を通じて医のサイエンスとアート両面に関心を持つ

評価基準と評価方法

・届け出なしに講義を1/5以上欠席した場合には単位認定を行わない。病気、忌引きの場合には必要書類を提出すること。
・提出課題（50%）
・授業中の積極性（10%）
・レポート（40%）

履修条件

「地域医療コース」の必修科目です。該当学生は忘れずに登録してください。

授業計画

下記の1-3時限
内容が変更になる場合もあります。その時にはWebClassを通して連絡します。
10月27日　　オリエンテーション
11月10日　　主要症候　胸痛①　病歴でどこまで診断に迫れるか
11月17日　　主要症候　胸痛②　病歴でどこまで診断に迫れるか
11月24日　　島医者とは？　離島医療を考える
12月1日　　バイタルサイン　血圧①　血圧を測ってみよう
12月2日　　バイタルサイン　血圧②　栄養
12月8日　　課題発表
12月15日　　シネメデュケーション「うちげでいきたい」

授業の場所は別途連絡します

事前学習

別途提示する課題を、Webclassより提出してください

事後学習

別途提示する課題を、Webclassより提出してください
(各授業の振り返りを行う課題です)
第7回の授業は、胸痛に関連した課題を各グループで調べたことを全体発表します（発表日前にWebclassに提出）

教科書にかかわる情報

教科書	書名	病歴聴取でここまでわかる：臨床推論集中講座 胸痛			ISBN	4758303983	備考	
	著者名	山本文雄総監修；伊藤宏, 尾野恭一監修；長谷川仁志監修・編集						
	出版社	メジカルビュー社	出版年	2017	NCID			
教科書	書名	ベイツ診察法 第3版			ISBN		備考	
	著者名	有岡宏子 (監修), 井部俊子 (監修), 山内豊明 (監修)						
	出版社	メディカルサイエンスインターナショナル	出版年	2022	NCID	4815730563		
教科書	書名	世界がかわるシマ思考 離島に学ぶ、生きるすべ			ISBN	4991297133	備考	
	著者名	世界がかわるシマ思考制作委員会						
	出版社	Issue+design	出版年	2024	NCID			

教科書全体備考

参考書にかかわる情報

参考書全体備考

使用言語

日本語

メッセージ

受講生の皆さんが医師になったときに必ず必要となる、態度やスキルを実践を通して身につけてもらう科目です。グループワークに積極的に参加してください。

オフィスアワー

医学教育企画室（教育棟3階）内線5543　平日
事前にメールでアポイントを取ってください。（日時を調整します）

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

https://postcorona.skr.u-ryukyu.ac.jp/

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医270				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	後学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502199002	地域医療/プライマリ・ケア			
担当教員[ローマ字表記]				
梅村　武寛　[Takehiro Umemura], 武村　克哉				

授業の形態

講義

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

・講義を通して、地域医療の現状および課題、プライマリ・ケア領域でよく遭遇する症状や健康問題について、症例を中心に段階的に解決していくプロセスを学ぶ。またプライマリ・ケアにおける高齢者の診かた、行動変容理論に基づいた禁煙支援について学ぶ。
・離島/へき地医療・在宅医療を実践されている（された）医師による講義を通して、離島/へき地医療や在宅医療の現状および離島/へき地や在宅医療現場で求められる医師の役割を学ぶ。
・グループ討論を通して、日常診療で遭遇する倫理的問題を様々な視点から検討する方法を学ぶ。
・レポート作成を通して、地域医療の課題を考察する。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

1) 地域医療の現状および課題を概説できる。
2) 離島/へき地で勤務する医師に求められる役割を具体的に述べることができる。
3) プライマリ・ケア領域でよく遭遇する疾患や健康問題について説明することができる。
4) 在宅医療における医師の役割を具体的に述べることができる。
5) 日常診療で遭遇する倫理的問題を検討する方法を述べることができる。

評価基準と評価方法

1. 講義毎の小テスト(50%)
2. レポートの内容(50%)
これらを総合して評価する。
3. 成績不服申立期間は成績発表後１週間とする。
※レポートの課題は、「離島・へき地医療」、「プライマリ・ケア」、「在宅医療」のいずれかの項目とする。以下の作成手順に添って作成すること。
【レポートの作成手順】
(1) 自分で調べた内容
(2) 授業の内容で自分にとって新しい発見、学んだこと
(3) 今後の自分への影響
※1200～1600字程度で作成してください。
※レポートの締め切り：2027年2月9日（火）までに、WebClassで提出すること（締め切り厳守）
※質問・連絡先：武村克哉 ktakemur@cs.u-ryukyu.ac.jp

履修条件

特になし

授業計画

2027年
1月13日（水）7限　総論/プライマリ・ケア領域の健康問題へのアプローチ/プライマリ・ケアにおける高齢者の診かた/行動変容理論に基づいた禁煙支援（救急部　武村克哉）
1月18日（月）7限　プライマリ・ケアと離島医療（公益社団法人地域医療振興協会　崎原永作先生）
1月20日（水）7限　沖縄のへき地医療と医師像（県立八重山病院　藤原雅和先生）
1月27日（水）7限　在宅医療における医師の役割（きなクリニック　喜納美津男先生）
1月28日（木）4限　プライマリ・ケア医の一日（稲福内科医院　稲福徹也先生）
2月4日（木）4,5限　倫理的な問題へのアプローチ（地域・国際医療部　金城隆展先生）
2月12日（金）4限　新たな地域医療構想について～我が国の医療制度はどう変わるのか～（大屋祐輔先生）
2月12日（金）5限　地域における緩和ケアについて（中島信久先生）

事前学習

参考書参照

事後学習

レポート作成

教科書にかかわる情報

教科書全体備考

特になし

参考書にかかわる情報

参考書	書名	地域医療学入門：改訂コアカリ準拠			ISBN	978-4-7878-2668-8	備考	
	著者名	岡崎仁昭, 松本正俊責任編集						
	出版社	診断と治療社	出版年	2024	NCID			

参考書全体備考

使用言語

日本語

メッセージ

オフィスアワー

平日午前・救命救急センターカンファレンス室

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医206				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	後学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502178002	体験学習		1	
担当教員[ローマ字表記]				
大野　真治, 屋良　さとみ				

授業の形態

実習

アクティブラーニング

フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ

授業内容と方法

[療養型施設・地域医療病院の外部講師の御講演]
　早期体験学習の一環として、普段は経験しづらい、県下の老人病院・老人保健施設等の療養型診療施設、整肢養護施設、離島病院、本土の地域医療病院等の先生方（琉球大学医学科卒の諸先輩方）の御講演を頂き、急性期病院ではない施設や離島・地域の病院の患者さんやそのご家族、職員の方々の実情を学ぶことにより、療養型施設やその入院・入所患者さんの現状（寝たきり、車椅子使用の患者さんの多い現状）等を学び、今後多く関わっていく急性期病院だけでは学べない、日本の医療・社会の現状を　医師になる前に知ることにより、予防医学への関心も高め、良医になるためのモチベーションを維持し、より高めていくことを目的とする。

[沖縄愛楽園 訪問見学実習]
　全国に13施設ある国立ハンセン病療養所（沖縄県内2施設）の一つであり、本島北部に在る「国立療養所沖縄愛楽園」にも訪問させて頂き、人権問題はじめ歴史的にも様々な深い問題のあったハンセン病に関し、身近な問題として医学生として理解を深め、将来の医師としての診療姿勢に役立てることを目標とする。また沖縄愛楽園が沖縄本島北部地域に存在することと地域医療との関わりに関しても学ぶ。学生が沖縄県の離島へき地医療の一実態を体験し、関心を高めるとともに地域医療の重要性を実感してもらう。長期的には、将来の地域医療を担う医療人の育成も目指す。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、問題解決力、専門性

達成目標

[共通項目]
①医学・医療や福祉に関する一般的な内容を知ることができる。
[U.専門性]『C II.医学知識』
②人間や社会の中で医療の果たす役割を説明できる。
[U.社会性]『C I.プロフェッショナリズム・C V.地域医療への貢献』
③医師、病院スタッフ、患者さん等多くの方々との関わりの中で、社会人としての規律
を守り、プライバシーの尊重に配慮し、良好なコミュニケーションの構築に努めることができる。[U.社会性、コミュニケーションスキル]『C I.プロフェッショナリズム・C IV.コミュニケーション能力』
④患者・地域住民の心理・社会的背景を正確に理解し、全人的医療実践の基本を身に付けることができる。[U.社会性、専門性]『C I.プロフェッショナリズム・C III.医療の実践・C V.地域医療への貢献』
⑤地域医療の中での役割を理解し、積極的な自己学習の基礎・動機付けとなる態度を身に付けることができる。[U.自律性]『C III.医療の実践・C V.地域医療への貢献』
医学の多面性を知り、医師としての生涯学習への準備とすることができる。
[U.自律性]『C I.プロフェッショナリズム』

[療養型施設・地域医療病院の外部講師の御講演]
⑥療養型施設やその入院・入所患者さんの現状（寝たきり、車椅子使用の患者さんの多い現状）等を学ぶことができる。[U.社会性]『C V.地域医療への貢献』
⑦療養型施設、離島・地域病院に関わる各種問題を解決する考え方を身に付けることができる。
[U.問題解決力]『C V.地域医療への貢献』

[沖縄愛楽園 訪問見学実習]
⑧沖縄愛楽園やその入所患者さんの現状等を学ぶことができる。
[U.社会性] 『C V.地域医療への貢献』
⑨ハンセン病に関わる各種問題を解決する考え方を身に付けることができる。
[U.問題解決力] 『C II.医学知識・C III.医療の実践・C V.地域医療への貢献』
⑩ハンセン病に関わる保健・福祉・医療の役割を把握し、相互の連帯に関しての理解を深めることができる。
[U.社会性、地域性] 『C III.医療の実践・C V.地域医療への貢献』

評価基準と評価方法

・実習への出席・参加・態度（アンプロフェッショナルな態度の有無を含む）（50%）（達成目標 ①③⑤⑦⑨）
・実習レポート（50%）（達成目標 ②④⑤⑥⑧⑩⑪）

※体験学習終了後、実習レポートをWebClassにて提出すること
■レポート様式：A４用紙１枚程度（Word）
※WebClassの使用方法については、「情報基盤統括センター」HP内のマニュアルを参照。
成績不服申立期間は、成績発表後1週間とする。

履修条件

特になし。

授業計画

[療養型施設・地域医療病院の外部講師の御講演]
場所：教育棟
日時：2026年11月16日（月） 午後：斉藤聡大先生（亀田ファミリークリニック館山）
17日（火） 午前：當山潤先生 （沖縄南部療育医療センター）
18日（水） 午前：我謝道弘先生（大浜第二病院）
午後：砂川惇司先生（県立宮古病院）

[沖縄愛楽園 訪問見学実習]
場所：国立療養所沖縄愛楽園
日時：2026年10月21日（水）

事前学習

・各施設や愛楽園についての個人調べ学習

事後学習

実習レポート（達成目標 ②④⑤⑥⑧⑩⑪）
※体験学習終了後、実習レポートをWebClassにて提出する。

■レポート様式：
[療養型施設・地域医療病院の外部講師の御講演]：A４用紙１枚程度（Word）
[沖縄愛楽園 訪問見学実習]：A４用紙１枚程度（Word）

教科書にかかわる情報

教科書	書名	特になし。			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

教科書全体備考

参考書にかかわる情報

参考書	書名	特になし。			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

参考書全体備考

特になし。

使用言語

日本語

メッセージ

●入学時に提示された各種ウイルス抗体価が「陽性」ではない場合、実習説明会までにワクチン接種をしておくこと。
●インフルエンザ流行期のため、実習前までにはワクチンを接種しておくこと。

オフィスアワー

医学教育企画室：屋良さとみ
月・水曜日10～17時
E-mail：f040621@cs.u-ryukyu.ac.jp
Tel　：098-894-5542

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医212				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	後学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502181001	プライマリ・ケア演習Ⅱ		1	
担当教員[ローマ字表記]				
大野　真治, 金城　紀与史　[KINJOH]				

授業の形態

講義、演習又は実験、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

※プライマリ・ケア演習ＩＩは「地域医療コース」の必修科目です。
　プライマリ・ケアとは、地域の健康上の問題や疾病に対して、総合的、継続的、全人的に対応する保健・医療・福祉サービスのことを意味します。小グループでのアクティブラーニングを通して、地域医療に携わるにあたり必要とされる態度や医療技術を身につけることが目標です。
PBL（Problem Based Learning）方式を導入します
授業は対面式で行います　毎回テーマがあり、講義・グループワーク・ディスカッション、発表が中心となります
課題が与えられ、発表します
課題はWebclassを利用して提出します

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

モデルコアカリキュラム（令和4年度版）における、PRプロフェッショナリズム、GE総合的に患者・生活者をみる姿勢、LL生涯にわたって共に学ぶ姿勢、RE科学的探究、PS専門知識に基づいた問題解決能力、CS患者ケアのための診療技能、CMコミュニケーション能力、IP他職種連携能力、SO社会における医療の役割の理解、を取り扱います

・グループワーク、チームで学ぶ
・PBL形式を通じて答えを与えられるのではなく、答えを探す学び、答えのない学びを行う態度を習得する
・プライマリ・ケア診療で必要とされる技術・態度について説明できる
・症状の背景にある生理学的な異常を説明することができる（基礎医学と臨床医学の接続）
・主要症候へのアプローチから多層的な学習態を通じて医のサイエンスとアート両面に関心を持ち、能動的学習態度を身に付ける
・様々な医療現場があり、それぞれの特性を理解する
・医師以外の医療者の視点を学ぶ

評価基準と評価方法

・届け出なしに講義を1/5以上欠席した場合には単位認定を行わない。病気、忌引きの場合には必要書類を提出すること。
・提出課題（50%）
・授業中の積極性（10%）
・レポート（40%）

履修条件

「地域医療コース」の必修科目です。該当学生は忘れずに登録してください。

授業計画

下記の1-3時限
内容が変更になる場合もあります。その時にはWebclassを通して連絡します。
9月18日　　主要症候　腹痛①
10月9日　　主要症候　腹痛②
10月23日　PBL　医学修得の地図
11月13日　マインドフルネス
11月20日　PBL多職種連携①
11月27日　PBL多職種連携②課題発表
12月4日　　主要症候　腹痛③　腹部エコー演習
12月18日　　課題発表（腹痛PBL　学習課題）

12月11日は予備日

事前学習

別途提示する課題を、Webclassより提出してください

事後学習

別途提示する課題を、Webclassより提出してください
（各回の授業の振り返りをする内容です）

教科書にかかわる情報

教科書	書名	病歴聴取でここまでわかる：臨床推論集中講座 胸痛			ISBN	4758303983	備考	
	著者名	山本文雄総監修；伊藤宏, 尾野恭一監修；長谷川仁志監修・編集						
	出版社	メジカルビュー社	出版年	2017	NCID			
教科書	書名	ベイツ診察法 第3版			ISBN	4815730563	備考	
	著者名	有岡宏子 (監修), 井部俊子 (監修), 山内豊明 (監修)						
	出版社	メディカルサイエンスインターナショナル	出版年	2022	NCID			
教科書	書名	急性腹症の早期診断 -病歴と身体所見による診断技能をみがく- 第2版			ISBN	4895927245	備考	
	著者名	小関一英（訳）						
	出版社	メディカルサイエンスインターナショナル	出版年	2012	NCID			
教科書	書名	すぐ・よく・わかる 急性腹症のトリセツ			ISBN	978-4-260-03945-1	備考	
	著者名	高木 篤 / 真弓 俊彦 / 山中 克郎 / 岩田 充永						
	出版社	医学書院	出版年	2020	NCID			

教科書全体備考

参考書にかかわる情報

参考書全体備考

使用言語

日本語

メッセージ

受講生の皆さんが医師になったときに必ず必要となる、態度やスキルを実践を通して身につけてもらう科目です。グループワークに積極的に参加してください。

オフィスアワー

医学教育企画室（教育棟3階）内線5543
事前にメールでアポイントを取ってください。

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

https://postcorona.skr.u-ryukyu.ac.jp/

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医301				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	後学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502110002	離島地域病院実習		1	
担当教員[ローマ字表記]				
大野　真治, 屋良　さとみ				

授業の形態

実習

アクティブラーニング

フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ

授業内容と方法

１．実習期間
離島地域病院実習の期間中 (2026年11月24日（火）～2027年1月29日(金)) のうち、学年全体を下記の実習病院に班分けし、各班各々1週、約5日間、病院実習を行う。

２．実習先病院
○公立久米島病院（久米島町）
○県立宮古病院（宮古島市）
○県立北部病院（名護市）
○北部地区医師会病院（名護市）
○沖縄リハビリセンター病院（沖縄市）
○若松病院（北中城村）
○沖縄南部療育医療センター（那覇市）
○大浜第二病院（豊見城市）

３．実習方法
　下記の目標のもと、上記５つの実習先病院のいずれかにおいて、２人～６人の班に分かれ、当該病院の実習カリキュラムに沿って病院実習を行う。実習前には「実習前演習」や、各実習の前後には「班別事前・事後勉強会」も行い、より深く有意義な病院実習を行えるようにする。
本科目では学生が実習により、沖縄県の地域医療の実務に触れることができる。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

１）一般目標
①離島地域住民の疾病と生活環境との関わりを理解し[U.社会性]『C V.地域医療への貢献』、疾病に関わる問題を解決する考え方を身に付けることができる[U.問題解決力]『C II.医学知識』。
②離島地域医療の現場で必要とされる知識、情報収集、マネージメント法についての基礎を身に付けることができる[U.情報リテラシー、問題解決力]『C V.地域医療への貢献』。
③保健・福祉・医療の役割を把握し、相互の連帯について理解できる[U.社会性、地域性] 『C V.地域医療への貢献』。
④離島地域住民の心理・社会的背景を正確に理解し、全人的医療実践の基本を身に付けることができる[U.社会性、専門性]『C V.地域医療への貢献』。
⑤離島地域医療の中での役割を理解し、積極的な自己学習の基礎・動機付けとなる態度を身に付けることができる[U.自律性]『C I.プロフェッショナリズム、C V.地域医療への貢献』。
２）個別目標
⑥離島地域病院の地域完結型医療とプライマリ・ケアを中心とした診療の両方を体験し、離島地域中核病院と診療所・医院との密接な連帯について理解できる[U.地域性]『C V.地域医療への貢献』。
⑦インターネットを活用した診療支援システムを把握し、広域医療ネットワークでの離島地域医療の理解ができる [U.地域性]『C V.地域医療への貢献』。

⑧離島地域中核病院での診療・介護を通して、離島へき地医療における在宅医療・介護支援の重要性を理解できる [U.地域性]『C V.地域医療への貢献』。
⑨各病院実習において、医師、病院スタッフ、患者さん等多くの方々との関わりの中で、
社会人としての規律を守り、プライバシーの尊重に配慮し、良好なコミュニケーションの構築ができる [U.社会性、コミュニケーションスキル]『C V.地域医療への貢献、C IV.コミュニケーション能力』。

評価基準と評価方法

[全てWeb-Classにて記載・提出]
・プレアンケート　（10%）（達成目標 ②）
・「M３離島地域病院実習の記録」（様式あり）を日々記述。（30%）（達成目標 ①～⑥⑧⑨）
（出席の代用となるので、実習した全ての日程（時間まで）の記録をとる）
・「実習レポート」（A4用紙2枚程度：Word様式）以下の内容を含める。
（実習で学んだこと・自分で調べたこと・今後の自分への影響・感謝の気持ち)(30%)
(達成目標 ①④～⑧)
・ポストアンケート　（10%）（達成目標 ④～⑥⑧）
・報告会　　（20%）（達成目標 ②～⑤）

成績不服申立期間は、成績発表後1週間とする。

履修条件

・それまでの「地域医療」に関する講義。

授業計画

１．実習期間
離島地域病院実習の期間中 (2026年11月24日（火）～2027年1月29日(金)）のうち、
各病院、各班各々1週 約５日間、病院実習を行う。（一人約1週5日間）

1班　2026年 11月24日（火）～11月27日（金）
2班　2026年　11月30日（月）～12月 4日（金）
3班　2026年　12月 7日（月）～12月11日（金）
4班　2026年　12月14日（月）～12月18日（金）
5班　2027年 1月12日（火）～ 1月15日（金）
6班　2027年　1月18日（月）～ 1月22日（金）
7班　2027年　1月25日（月）～ 1月29日（金）

２．説明会：　2026年　9月 7日または 9月 14日（月） 午後予定
３．実習前演習：2026年　11月9日（月）13時～17時予定

事前学習

[Web-Classにて記載・提出]
・プレアンケート（達成目標 ②）

事後学習

・ポストアンケート（達成目標 ④～⑥⑧）[Web-Classにて記載・提出]

・報告会　　（達成目標 ②～⑤）

教科書にかかわる情報

教科書	書名	特に既定のものはなし。			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

教科書全体備考

特になし。

参考書にかかわる情報

参考書	書名	特に既定のものはなし。			ISBN		備考	
	著者名							
	出版社		出版年		NCID			

参考書全体備考

特になし。

使用言語

日本語

メッセージ

・入学時に提示された各種ウイルス抗体価が「陽性」ではない場合、実習説明会までにワクチン接種をしておくこと。未完了の場合、実習に参加できないことがある。
・実習がインフルエンザ流行期のため、実習前までにはワクチンを接種しておくこと。
　（10月下旬頃、学内にて集団接種予定。医学科後援会からの補助あり。）
・準備物：白衣、聴診器等を用意すること。

オフィスアワー

医学教育企画室　屋良さとみ：
月・水曜日10～17時
E-mail：f040621@cs.u-ryukyu.ac.jp
Tel　：098-894-5542

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医313				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	後学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502202002	プライマリ・ケア演習Ⅲ		12	
担当教員[ローマ字表記]				
大野　真治, 金城　紀与史　[KINJOH]				

授業の形態

講義、演習又は実験、実習、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

※プライマリ・ケア演習IIIは「地域医療コース」の必修科目です。
　プライマリ・ケアとは、地域の健康上の問題や疾病に対して、総合的、継続的、全人的に対応する保健・医療・福祉サービスのことを意味します。小グループでのアクティブラーニングを通して、地域医療に携わるにあたり必要とされる態度や医療技術を身につけることが目標です。
PBL（Problem Based Learning）方式を用います
授業は対面式で行います　毎回テーマがあり、講義・グループワーク・ディスカッション、発表が中心となります
医療・介護・在宅の現場での実習も取り入れます
課題が与えられ、発表します
課題はWebclassを利用して提出します

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

モデルコアカリキュラム（令和4年度版）における、PRプロフェッショナリズム、GE総合的に患者・生活者をみる姿勢、LL生涯にわたって共に学ぶ姿勢、RE科学的探究、PS専門知識に基づいた問題解決能力、CS患者ケアのための診療技能、CMコミュニケーション能力、IP他職種連携能力、SO社会における医療の役割の理解、を取り扱います

・グループワーク、チームで学ぶ
・PBL形式を通じて答えを与えられるのではなく、答えを探す学び、答えのない学びを行う態度を習得する
・プライマリ・ケア診療で必要とされる技術・態度について説明できる
・症状の背景にある生理学的な異常を説明することができる（基礎医学と臨床医学の接続）
・主要症候へのアプローチから多層的な学習態を通じて医のサイエンスとアート両面に関心を持ち、能動的学習態度を身に付ける
・様々な医療現場があり、それぞれの特性を理解する
・医師以外の医療者の視点や、患者の声から学ぶ
・卒後勤務する離島・北部地区の医療現場の特性を理解する

評価基準と評価方法

全出席を原則とする
病気、忌引きなどの場合には必要書類を提出すること
・提出課題（50%）
・授業中の積極性（10%）
・レポート（40%）

履修条件

「地域医療コース」の必修科目です。該当学生は忘れずに登録してください。

授業計画

内容が変更になる場合もあります。その時にはWebclassを通して連絡します。

11月9日離島地域病院実習バイタルサイン演習にも参加します
11月16日～20日オリエンテーション：一部医科学研究のオリエンテーション講義を受講します
11月24日～12月4日PBL　腹痛　病歴と基礎医学・臨床医学の接点　患者の言葉からお腹の中が見えるようになる
12月7日～18日PBL　糖尿病　DKA・糖尿病性神経障害の基礎・臨床医学の接点　コメディカルの力、糖尿病を療養する患者の心のうち
12月21日課題発表
（12月23日～1月12日冬季休暇）
1月4日～15日PBL　アルコール依存症　わかっちゃいるけどやめられないのはどうして？
1月18日～1月29日PBL高齢者（１）　認知症と物忘れの違い？　本人・家族・介護者の気持ち
2月1日～2月12日PBL高齢者（２）地域で支える高齢化社会
2月15日～2月19日北部地区の医療を経験する（病院実習）
2月22日そうまとめ　課題発表

テーマと関連した特別講師の講義や、総合診療・離島・地域医療を考える講義も行います

腹痛をテーマとした週には問診、身体診察、腹部エコー演習を行います
糖尿病テーマ学習期間中は、自己血糖測定・インスリン注射演習、病院での看護師や栄養士による指導の見学実習も行います
アルコール依存症テーマ学習期間中は、動機づけ面接演習、断酒経験者の講話、依存症病棟での実習を行います
高齢者のテーマ学習期間中は、介護施設見学、在宅医療（訪問看護・訪問リハビリ）随行、認知症スクリーニング演習、ユマニチュード演習などを行います
最後の1週間は、北部地区の地域医療を学ぶため病院（県立北部病院、北部地区医師会病院）で実習します

事前学習

別途提示する課題を、Webclassより提出してください

事後学習

別途提示する課題を、Webclassより提出してください
（各回の授業の振り返りをする内容です）

教科書にかかわる情報

教科書	書名	ベイツ診察法 第3版			ISBN	4815730563	備考	
	著者名	有岡宏子 (監修), 井部俊子 (監修), 山内豊明 (監修)						
	出版社	メディカルサイエンスインターナショナル	出版年	2022	NCID			
教科書	書名	腹痛の「なぜ？」がわかる本			ISBN	978-4-260-03836-2	備考	
	著者名	腹痛を「考える」会						
	出版社	医学書院	出版年	2020	NCID			
教科書	書名	急性腹症の早期診断 第2版 - 病歴と身体所見による診断技能をみがく -			ISBN	4895927245	備考	
	著者名	小関一英（訳）						
	出版社	メディカルサイエンスインターナショナル	出版年	2012	NCID			
教科書	書名	ジェネラリストのための内科外来マニュアル　第3版			ISBN	978-4-260-04266-6	備考	
	著者名	金城 光代 / 金城 紀与史 / 岸田 直樹						
	出版社	医学書院	出版年		NCID			
教科書	書名	認知症世界の歩き方 認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら?			ISBN	9784909044327	備考	
	著者名	筧裕介						
	出版社	ライツ社	出版年	2021	NCID			
教科書	書名	だから、お酒をやめました。　「死に至る病」５つの家族の物語			ISBN	4334105459	備考	
	著者名	根岸康雄						
	出版社	光文社新書	出版年	2025	NCID			

教科書	書名	動機づけ面接〈第3版〉上下			ISBN		備考	
	著者名	ウィリアム・ミラー他						
	出版社	星和書店	出版年	2019	NCID			
教科書	書名	世界がかわるシマ思考　離島に学ぶ　生きるすべ			ISBN	4991297133	備考	
	著者名	世界がかわるシマ思考政策委員会						
	出版社	Issues Design	出版年	2024	NCID			

教科書全体備考

参考書にかかわる情報

参考書	書名	すぐ・よく・わかる 急性腹症のトリセツ			ISBN	978-4-260-03945-1	備考	
	著者名	高木 篤 / 真弓 俊彦 / 山中 克郎 / 岩田 充永						
	出版社	医学書院	出版年	2020	NCID			
参考書	書名	恍惚の人			ISBN	4101132186	備考	新潮文庫, 2855, あ-5-18
	著者名	有吉佐和子著						
	出版社	新潮社	出版年	2003	NCID			
参考書	書名	長いお別れ			ISBN	4167910292	備考	文春文庫, [な-68-3]
	著者名	中島京子著						
	出版社	文藝春秋	出版年	2018	NCID			
参考書	書名	ことことこーこ			ISBN	4041116236	備考	角川文庫, 22778, [あ75-5]
	著者名	阿川佐和子 [著]						
	出版社	KADOKAWA	出版年	2021	NCID			
参考書	書名	だいじょうぶだよ：ぼくのおばあちゃん			ISBN	4907095473	備考	
	著者名	長谷川和夫さく；池田げんえいえ						
	出版社	ぱーそん書房	出版年	2018	NCID			

参考書全体備考

使用言語

日本語

メッセージ

受講生の皆さんが医師になったときに必ず必要となる、態度やスキルを実践を通して身につけてもらう科目です。グループワークに積極的に参加してください。
病院、施設などで実習がありますので、ふさわしい服装・言動・行動をとるよう留意してください
見学で見聞きしたことについては守秘義務がありますので、SNSに投稿するなどは厳につつしんでください

オフィスアワー

医学教育企画室（教育棟3階）内線5543
事前にメールでアポイントを取ってください。

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

https://postcorona.skr.u-ryukyu.ac.jp/

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
502123				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2026	前学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502123001	衛生学・公衆衛生学			
担当教員[ローマ字表記]				
中村　幸志　[Koshi Nakamura]				

授業の形態

講義、演習又は実験、実習、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

衛生学・公衆衛生学（以下、両者を包括して公衆衛生学と略）は社会医学や予防医学に位置づけられ、「組織された地域社会の努力を通して、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的機能の増進をはかる科学・技術（1949年、CEA Winslow）」と定義される。Winslowが規定する公衆衛生の内容「環境保健、疾病予防、健康教育、健康管理、衛生行政、医療制度、社会保障」によれば、公衆衛生学は疾病予防・健康増進（すなわち保健）を中心としつつも、広義には医療や福祉にも及ぶ幅広い領域で構成されている。我が国の医師法第1条に「医師は医療および保健指導をつかさどることによって公衆衛生の向上および推進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。」と規定されているように、公衆衛生学は全ての医師にとって必須の素養である。適切な公衆衛生施策の立案及び実施のための科学的な根拠を提供する一般人対象の調査研究の基礎理論が疫学であり、これは人を対象とする研究全般（患者対象の臨床研究を含む）に通じるものである。

本科目では、公衆衛生学の基礎的な知識と考え方の習得に加え、歴史的変遷及びタイムリーな話題や沖縄県の話題を取り上げて公衆衛生学が生きた学問であることの理解を深めるための公衆衛生学の総論及び各論の講義、また、公衆衛生推進に必須の手法や考え方である疫学の基礎的な知識と考え方を人対象研究全般（臨床研究を含む）にも通じるような形で習得することに加え、人対象研究から創出された根拠に基づく医療及び公衆衛生を理解するとともに、人対象研究への関心を醸成することも視野に入れた疫学の講義を実施する。加えて、講義と並行しながら本科目授業の一定の時間を割いて、グループ（約10人、予め割り振る）として、公衆衛生に関する関心あるテーマについて自主的に学びを進めて成果を発表するとともに、他のグループの発表を聞いて知識や考え方を拡充するアクティブラーニング形式の演習（社会医学演習）を実施する。さらに、第一線の総合的な保健衛生行政機関である保健所にて実習（保健所実習）を実施し、保健所の活動及び沖縄県の公衆衛生上の課題などを実地で学修する。

資料はWebClassを通じて電子媒体で配布し、授業時に紙媒体（印刷物）を配布しない。配布資料を個人の学習の範囲を超えて使用することを禁止する。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

公衆衛生学・疫学の医学の中での位置づけ及び社会における役割について基礎的用語を適切に用いて説明できる。
一般人（生活者）の生活を踏まえた健康／不健康について、その集団や環境（自然、社会）の観点も踏まえて捉え、不健康予防や健康増進の社会的方策を考案することができる。
現在の公衆衛生の諸問題を論理的に述べることができる。
関心を持って、公衆衛生や疫学研究について主体的に学びを広げるための考え方や術を修得して実践できる。
総じていえば、最終的な目標は、先述の医師法第1条の医師の任務を全うするための公衆衛生学の素養の基礎を修得することである。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）における位置づけは、同学修目標「B社会と医学・医療」の中の「B-1集団に対する医療1～9)」に対応している。
1）「統計の基礎」：①データの記述と要約（記述統計を含む）、②主要な確率分布、③正規分布の母平均の信頼区間の計算、④基本的な仮説検定の構造などについて説明できる。[U.専門性]『CII.医学知識』
2）「統計手法の適用」：①2群間の平均値の差の検定（群間の対応のあり、なしを含む）、②パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違い、③カイ二乗検定法、④一元配置分散分析の利用、⑤2変量の散布図の描記および回帰と相関の違いの説明、⑥線形重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析と交絡調整などを概説できる。[U.専門性]『CII.医学知識』
3）「根拠に基づいた医療」：①根拠に基づいた医療の5つのステップを列挙でき、②Patient, population, problem, intervention (exposur

e), comparison, outcome を用いた問題の定式化、③研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス））の概説、④データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインの検索、⑤得られた情報の批判的吟味、⑥診療ガイドラインの種類と使用上の注意の列挙、⑦診療ガイドラインの推奨の強さについての違いなどを説明できる。[U.専門性]『CII.医学知識』

4）「疫学と予防医学」：①人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・障害の分類・統計（国際疾病分類:ICDなど）、②平均寿命および健康寿命、③罹患率と発生割合の違い、④疫学とその応用（疫学の概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio)）、バイアス、交絡）、⑤予防医学（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導）などを説明できる。[U.専門性]『CII.医学知識』

5）「生活習慣とリスク」：①基本概念（国民健康づくり運動、生活習慣病とリスクファクター、健康寿命の延伸と生活の質(quality of life)向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等）、②栄養・食育・食生活、③身体活動・運動、④休養・心の健康（睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防）、⑤喫煙（状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援）、飲酒（状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援）、⑥ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）などを説明できる。 [U.専門性]『CII.医学知識』

6）「社会・環境と健康」：①健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）、②社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因(social determinant of health)）、③仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響、④各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）、⑤スポーツ医学などを説明できる。[U.専門性]『CII.医学知識』

7）「地域医療・地域保健」：①地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状、②医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想、③地域包括ケアシステムの概念、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性、④かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性、⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制などを説明できる。[U.専門性]『CII.医学知識』『CV.地域医療への貢献』

8）「保健・医療・福祉・介護の制度」：①日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）、②医療保険、介護保険及び公費医療、③高齢者福祉と高齢者医療の特徴、④産業保健（労働基準法等の労働関連法規を含む）、⑤医療の質の確保（病院機能評価、国際標準化機構(International Organization for Standardization)、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）、⑥医師法、医療法等の医療関連法規、⑦医療関連法規に定められた医師の義務、⑧医療における費用対効果分析、⑨医療資源、医療サービス、診療報酬制度、⑩医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携、⑪感染症法・食品衛生法の概要と届出義務、⑫予防接種の意義と現状、⑬障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度などを説明できる。[U.専門性]『CII.医学知識』『CV.地域医療への貢献』

9）「国際保健」：世界の保健・医療問題、国際保健・医療協力を列挙、説明できる。 [U.専門性] [U.地域・国際性]『CII.医学知識』『CVI.国際性』

「社会医学演習」「保健所実習」では、 [U.自律性] [U.社会性] [U.コミュニケーションスキル] [U.情報リテラシー] [U.問題解決力]『CI.プロフェッショナリズム』『CIV.コミュニケーション能力』『CVII.科学的探究』

評価基準と評価方法

最終評価は、試験【付記1】90%、社会医学演習（レポートを含む）【付記2】5%、保健所実習（レポートを含む）【付記3】5%の割合で重みづけした100点満点にて、60点以上を合格（単位認定）とする。

成績不服申立期間は、成績発表後の1週間以内とする。

【試験の受験資格】 以下のa,b,c)の全てを満たすことである。

a) WebClassに掲示する授業日程表の「時限」欄の数値に○が付いた講義31コマでは、出席を確認する。うち、【2分の1以上（つまり16コマ以上）の出席】を有することが必須である。

b) 社会医学演習の【グループワークに協調性をもって参画】し、【発表会に出席】し、【個人レポート（規定あり、別途で通知）を提出】することが必須である。演習オリエンテーションおよび発表会（必須）は講義と同様に出席を確認する一方、演習1～17は教員が直にグループの学生の出席と協働を確認する。やむをえない理由がある場合を除いて、演習1～17には毎回の出席を求める。これらが認められない場合、受験資格喪失がある。

c)【保健所実習に出席】し、【個人レポートを提出】することが必須である。実習先でアンプロフェッショナルな態度があった場合、受験資格喪失がある。

【付記1】一連の講義、実習及び演習の最後に、前述の受験資格を得た者に対し、1回の筆記試験（最終試験）を実施する。出題範囲は、講義などで取り上げた内容に限定せず、後述の教科書に準じる参考図書に包含される公衆衛生学全般とする。試験の形式は、医師国家試験に準拠した選択問題と記述問題で構成する。

【付記2】社会医学演習は、グループワークへの参画と協働、発表抄録提出及び発表会（グループ単位の発表及び質疑応答）出席があることを前提とし、レポート（個人単位）の「学んだ感想（自分の考え）」の記述を重視して評価する。発表に向けたグループワークに適宜AIを活用することは容認するが、「学んだ感想（自分の考え）」を求めるレポート作成にAIを活用することを禁じる。社会医学演習の進め方の詳細はWebClassにて配布する社会医学演習実施要項で提示する。

【付記3】保健所実習は、個人レポートの「学んだ感想（自分の考え）」の記述を重視して評価する。「学んだ感想（自分の考え）」を求めるレポート作成にAIを活用することを禁じる。

履修条件

特になし。

授業計画

令和8（2026）年4月14日（火）から火・木曜日の4～6時限（12時50分～13時50分、14時00分～15時00分、15時10分～16時10分）に全60時間の講義及び演習形式で行う。場所は医学部教育棟4階401である。但し、社会医学演習発表会は令和8（2026）年6月9日（火）【1～6時限】に教育棟6階602に於いて、また、試験は令和8（2026）年7月2日（木）【午前】に教育棟6階602に於いて実施する。保健所実習は、令和8（2026）年5月21日（木）【午後】または5月26日（火）【午後】のどちらかの割り振った日及び場所にて実施する。WebClassに日時や内容などの詳細を記した授業日程表を掲示して通知する。

内容構成は、公衆衛生学総論〔2〕、疫学総論〔1〕、疫学指標〔1〕、疫学研究デザイン〔2〕、臨床疫学〔1〕、疫学（統計を含む）留意事項〔2〕、実践と研究を踏まえた人対象研究の文献検索・精査〔1〕、公衆衛生アカデミアの社会貢献〔1〕、地域保健〔2〕、成人保健〔2〕、産業保健〔2〕、学校保健〔1〕、国際保健・クローバルヘルス〔2〕、感染症危機管理〔1〕、母子保健〔1〕、精神保健福祉〔2〕、食品衛生〔1〕、社会保障〔1〕、高齢者福祉〔1〕、環境保健〔2〕、歯科口腔保健〔1〕、社会医学演習（オリエンテーションを含む）〔18〕、社会医学演習発表会〔6〕、保健所実習〔3〕、自主学習（緊急の日程変更に備えた予備時間を兼ねる）〔3〕である（〔　〕内の数値は時間数を表す）。

【注意】日程などの変更がありうる。WebClassまたはWebメールにて通知する本科目に関する最新情報の把握を怠らないようにしてほしい。メールサーバーの容量超過によるメール不着がないようにしてほしい。

【備考】成人保健と精神保健福祉の一部の講義は、専門科目「行動科学」の講義を兼ねる。

事前学習

講義には、事前に配布する資料を一読して臨むことが望ましい。

社会医学演習は、授業の中で確保した時間にグループの打ち合わせができるように、メンバーで役割を分担して、協調性をもって能動的かつ計画的に進める。

保健所実習は、事前の地域保健関係の講義を踏まえて、その事後学習の一環として臨む。

事後学習

特に授業にて強調した事項や関心を持った事項について、定着させるとともに、関連する書籍・文献を使って学びを広げることが望ましい。

社会医学演習は、事前学習に準じる。発表会後は個人レポートを作成する。

保健所実習は、個人レポートを作成する。

教科書にかかわる情報

<table>
<tr><td rowspan="3">教科書</td><td>書名</td><td colspan="3">特になし。</td><td rowspan="2">ISBN</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="3">備考</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>著者名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>出版社</td><td></td><td>出版年</td><td></td><td>NCID</td><td></td></tr>
</table>

教科書全体備考

特になし。

参考書にかかわる情報

参考書	書名	社会・環境と健康 公衆衛生学2026年版		ISBN	4263701763	備考	
	著者名	柳川洋, 尾島俊之, 大木いずみ(著, 編集)					
	出版社	医歯薬出版	出版年	NCID			
参考書	書名	NEW予防医学·公衆衛生学 改訂第4版		ISBN	4524251162	備考	
	著者名	岸玲子(監修), 小泉昭夫, 馬場園明, 今中雄一, 武林亨(編集)					
	出版社	南江堂	出版年	NCID			
参考書	書名	はじめて学ぶやさしい疫学(改訂第4版): 日本疫学会標準テキスト		ISBN	4524204482	備考	
	著者名	日本疫学会(監修), 福島若葉, 関根道和, 尾島俊之(編集)					
	出版社	南江堂	出版年	NCID			
参考書	書名	基礎から学ぶ 楽しい疫学 第4版		ISBN	4260042270	備考	
	著者名	中村好一(著)					
	出版社	医学書院	出版年	NCID			

参考書全体備考

公衆衛生学に関する書籍（疫学の初級の内容を含む）は、教科書に指定しないが、大いに学修の参考にすべきものである。
疫学に関する書籍は、もう少し深く学びたい場合の初級～中級（大学院医学研究科博士課程にて疫学研究または臨床研究を始める際の基礎として修得すべきレベル）のものである。

使用言語

日本語

メッセージ

オフィスアワー

火・水・木曜日　16時30分～18時30分　研究棟2階公衆衛生学・疫学講座
上記オフィスアワーはあくまで目安であり、双方の都合が合えば随時に面会希望に対応したい。
したがって、できるだけ事前に面会の予約をお願いしたい。
公衆衛生学・疫学講座メールアドレス: epm@w3.u-ryukyu.ac.jp

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
医103				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2025	前学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502066001	救急車同乗実習		1	
担当教員[ローマ字表記]				
梅村　武寛　[Takehiro Umemura]				

授業の形態

実習

アクティブラーニング

フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ

授業内容と方法

（１） 各消防本部が行っている救急業務の実態を見学する。
（２） 救急患者受け入れ医療機関の現状を見学する。
（３） 琉球大学医学部と各消防本部との連携を深める。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、問題解決力、専門性

達成目標

各消防本部が行っている救急業務の実態を見学し、救急患者受け入れ医療機関の現状を把握することで、理解を深め関心を深めてもらう。今後主体的に思考し、行動できるようになる。

評価基準と評価方法

（１） 救急隊員の指示に従い、救急活動を体験する。
（２） レポートを消防署救急隊と担当教員に提出する。

履修条件

特になし

授業計画

場　所：那覇市消防局、宜野湾市消防本部、浦添市消防本部、糸満市消防本部、沖縄市消防本部、豊見城消防本部、うるま市消防本部、島尻消防組合消防本部、東部消防組合消防本部、中城北中城消防本部、ニライ消防本部の計１１消防本部管轄の消防署等

時　間：土日それぞれ８：３０～１７：００うち計１６時間

人　数：各消防署等１回につき１名ずつ

事前学習

学習項目参照し、自主的に考える。

事後学習

レポートを作成し、webclassにて提出

教科書にかかわる情報

教科書全体備考

参考書にかかわる情報

参考書全体備考

使用言語

日本語

メッセージ

オフィスアワー

月～土曜日、朝カンファレンス終了後（9:00過ぎ頃）から11:00、救急部カンファレンス室

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
502064				抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2025	前学期	未定	医学部医学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
502064001	臨床実習			
担当教員[ローマ字表記]				
二宮　賢司　[Kenji Ninomiya]				

授業の形態

講義、演習又は実験、実習

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

・臨床実習では4年生の後半から6年生の前半にわたり、診療チームの一員として行動します。
・臨床実習には、実習前半の必修ローテーション（ポリクリ）と、実習後半の選択ローテーション（クリクラ）の二つがあります。
・臨床実習では診療チームの一員として診療業務を分担しつつ、医師の職業的な知識・思考法・技能・態度を学びます。
・実習内容は診療科ごとに異なるので、臨床実習履修簿や各科のオリエンテーションでしっかり把握してください。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

・ここでは一般的な達成目標を掲げます（各科ごとにも達成目標があるので、詳細は臨床実習履修簿などで確認してください）。
・医師としての責任感と態度を身につけ、行動できる。
・医療チームの一員として、多職種や患者と円滑なコミュニケーションができる。
・医療面接、身体診察、基本的な臨床手技、診療録の作成を身につけ、実践できる。
・医療面接・身体診察・検査結果をもとに鑑別診断を挙げ、治療法を計画できる。
・患者の病態やおかれている状況を、基礎医学・臨床医学・社会医学・社会福祉の観点から横断的に分析し、問題の解決に向けて提案ができる。
・医療チームの一員として行動する中で、医師としての自らの将来像を形成できる。

評価基準と評価方法

・実習の1/5以上を欠席した学生は当該診療科の実習は不合格となります。その場合は、追実習が可能かどうか診療科と相談してください。
・各診療科ごとに10項目（基本的な医学知識、病歴聴取、身体診察、問題解決能力（臨床推論）、カルテ記載、症例プレゼンテーション、患者とのコミュニケーション、医療スタッフとのコミュニケーション、医療人としてのふさわしい振る舞い、その他）を5段階評価します。これらを踏まえて、総合的に5段階評価します。最低評価の場合には、その診療科の実習は不合格となります。

履修条件

・共用試験（CBT、およびOSCE）に合格していることが必須です。

授業計画

・実習内容は各診療科により異なります。臨床実習履修簿や各科オリエンテーションなどできちんと把握しておいてください。

事前学習

・各科により異なります。臨床実習履修簿を参考にしてください。
・診療科で担当する可能性のある疾患について一通り復習しておくことを推奨します。

事後学習

・診療科によってはプレゼンテーション・レポートが課せられます。臨床実習履修簿で確認するか、実習中に担当教員に確認してください。
・自身の担当した症例だけでなく、グループメンバーと情報交換を行うことで、幅広く多くの症例と接するように心がけてください。

教科書にかかわる情報

教科書全体備考

参考書にかかわる情報

参考書全体備考

使用言語

日本語

メッセージ

・実習にあたっての詳細な注意事項は臨床実習履修簿を参考にしてください。以下に一般的な注意事項を挙げていますので留意してください。
・欠席・遅刻の場合には必ず診療科の担当者へ連絡すること。
・清潔な身だしなみを心がけ、ネームプレートをきちんと着用すること。
・患者さん、他職種の方々には礼節を保った態度と言葉づかいで接すること。
・患者さんと接する時には実習への協力を感謝するとともに、プライバシーや個人情報の保護に留意すること
・患者さんに、独断で予後や治療法に関する情報を伝えないこと。
・守秘義務や個人情報の管理を常に意識すること。
・電子カルテのパスワードを適切に管理すること。

皆さんの臨床実習が実りあるものとなることを願っています。

オフィスアワー

臨床実習履修簿を参考にしてください。

メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

保　医　第　５２１　号
令和８年８月18日

厚生労働省医政局長　殿

沖縄県保健医療介護部長　諸見里 真

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和８年８月７日付け８文科高第 732 号、医政発 0807 第１号に基づき、下記のとおり、令和９年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

10 名

・琉球大学医学部における地域枠：10 名

担当　　：沖縄県保健医療介護部
北部医療ｾﾝﾀｰ・医師確保推進室 山本
電話番号：０９８-８６６-２１１１
メールアドレス：yammotod@pref.okinawa.lg.jp